

# FUJIFILM

BL00004694-101

JA

DIGITAL CAMERA

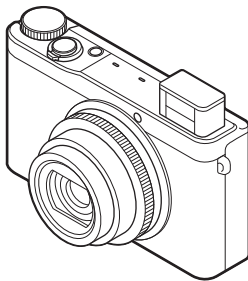
XQ2

## 使用説明書／ソフトウェア取扱ガイド

このたびは、弊社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。  
でございます。

この説明書には、フジフィルムデジタルカメラ XQ2 および付属のソフトウェアの使い方がまとめられています。

内容をご理解の上、正しくご使用ください。



本製品の関連情報はホームページをご覧ください。

<http://fujifilm.jp/personal/digitalcamera/index.html>

はじめに

撮影の準備

基本的な撮影と再生

モードを切り換えて撮影する

いろいろな撮影と再生

無線 LAN 機能

動画の撮影と再生

画像をテレビで見る

画像をパソコンに転送する

画像をプリントする

メニューを使いこなす

カメラで使えるアクセサリ

困ったときは

仕様





# はじめに

## カメラをお使いになる前に


次の手順にしたがって  
準備してください

1

箱の中の付属品が  
すべてそろっているかを  
確認してください（右記）。



2

カメラを安全に使用されるために、  
「お取り扱いにご注意ください」  
（ 169）をお読みください。



3

本書をよくお読みの上、  
カメラをお使いください。

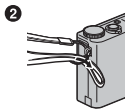
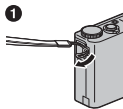
### ■ 付属品一覧

- 充電式バッテリー  
NP-48（1個）
- AC パワーアダプター  
AC-5VT（1個）
- プラグアダプター（1個）  
仕向け国によって形状が異なります。
- 専用 USB ケーブル（1本）
- CD-ROM（1枚）  
ソフトウェア（MyFinePix Studio、  
RAW FILE CONVERTER）と使用説明書  
が収録されています。
- ストラップ（1本）
- 保証書（1部）
- 使用説明書一式



### ● ストラップの取り付け方

下のようにしてストラップを取り付けてください。



## 本書について

この使用説明書の以下のページを開くと、お探しの情報が簡単に見つかるようになっています。

**目次**   5

カメラの主な機能が使用説明書のどこに記載されているかを知りたいときに参照してください。目次を見ると、使用説明書全体の流れがつかめます。

**トラブルシューティング /FAQ**   142

カメラの動作がおかしいとき、思い通りの写真が撮れないときなどの原因と対処法を紹介しています。

**警告表示**   152

画面に表示される警告の意味と原因を紹介しています。

**各撮影モードで使用できる機能について**   165

撮影モードや機能ごとに使用できるメニューなどをまとめて記載しています。

**索引**   180

用語や項目名をもとに、詳しい説明の記載ページを探せます。索引は五十音順になっています。

### 本書で使われている記号について

- ①：カメラを使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。
- ◆：カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。
- 📖：参照ページを記載しています。

### 画面のイラストについて

本書では、画面の表示を簡略化して記載しています。














































#### 使用可能なメモリーカードについて

このカメラでは、市販のSDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードをお使いになれます。本書では、これらのカードを「メモリーカード」と表記します。

# 目次

はじめに	3	SP シーンポジション	44
カメラをお使いになる前に	3	M マニュアル	45
本書について	4	A 絞り優先	46
各部の名称	9	S シャッター優先	46
コマンドダイヤル	11	P プログラム	47
コントロールリング	11	C カスタム	49
液晶モニターの表示	13		
<b>撮影の準備</b>	<b>19</b>	<b>いろいろな撮影</b>	<b>50</b>
バッテリーとメモリーカードを入れる	19	AF/AE ロック撮影	50
使用可能なメモリーカード	22	☑ 画像の明るさを変える (露出補正)	51
バッテリーを充電する	24	📷 近距離撮影 (マクロ)	52
電源をオンにする / オフにする	27	📷 フラッシュ撮影 (スーパー i フラッシュ)	53
初期設定を行う	28	📷 セルフタイマー撮影	55
日時、言語、パフォーマンスの		拡張ファンクション (E-Fn) ボタンを使う	
設定を変更する	29	.....	56
		ボタンの割り当てを変更する	56
		コントロールリングの割り当てを変更する	
		.....	57
<b>基本的な撮影と再生</b>	<b>30</b>	📷 連続撮影する (連写)	59
撮影する	30	📷 連写	59
撮影した画像を見る	34	📷 前後撮り連写	59
		📷 AE ブラケティング	59
		📷 ISO ブラケティング	59
		📷 フィルムシミュレーション BKT	59
		📷 ダイナミックレンジ BKT	59
<b>モードを切り換えて撮影する</b>	<b>35</b>	ピント合わせの方法を変える	
モードダイヤルで撮影モードを切り換える	35	(フォーカスモード)	64
📷 アドバンスド SR オート	36	MF (マニュアルフォーカス) での撮影方法	65
Filter アドバンスドフィルター	37		
Adv. アドバンスドモード	38		
📷 ぐるっとパノラマ 360	38		
📷 ぼかしコントロール	38		
📷 連写重ね撮り	38		
📷 多重露出	38		

ピントを合わせるエリアを変える (AF エリア選択).....	68	<b>動画の撮影と再生</b> .....	82
AF エリアの拡大 / 縮小.....	69	📹 動画を撮影する.....	82
📷 顔キレナビを使った撮影.....	70	動画の画像サイズを変更するには.....	84
<b>いろいろな再生</b> .....	71	▶ 動画を再生する.....	85
1 コマ再生する.....	71	動画再生時の操作方法について.....	85
連写画像の再生.....	71	<b>画像をテレビで見る</b> .....	87
★ お気に入りを設定する.....	71	ハイビジョンテレビに接続する.....	87
再生ズーム.....	72	<b>画像をパソコンに転送する</b> .....	88
マルチ再生する.....	73	パソコンと接続する.....	88
🗑️ 画像を消去する.....	74	Windows にソフトウェア「MyFinePix Studio」 をインストールする.....	88
1 コマ消去.....	74	Macintosh にソフトウェア「RAW FILE CONVERTER」をインストールする.....	91
複数指定消去.....	75	Mac (Macintosh) で画像や動画を取り込む 場合.....	93
全コマ消去.....	75	カメラとパソコンを接続する.....	94
🔍 ピクチャーサーチ.....	76	<b>画像をプリントする</b> .....	96
📖 フォトブックアシスト.....	77	画像のプリントについて.....	96
フォトブックを作成する.....	77	プリンターにカメラをつないでプリントする .....	97
作成したフォトブックを見る.....	78	プリントサービス店でプリントする (お店プリント).....	99
作成したフォトブックを編集 / 削除する.....	78	プリントする画像を指定する (🖨️ プリント予約 (DPOF)).....	100
パノラマを再生する.....	79		
パノラマ再生時の操作方法について.....	79		
撮影時の情報を確認する.....	80		
詳細情報を確認する.....	80		
<b>無線 LAN 機能</b> .....	81		
無線 LAN 機能を使用する.....	81		
スマートフォンと通信する.....	81		
パソコンに画像を保存する.....	81		

メニューを使いこなす	102	 コントロールリング設定	114
撮影の設定を変える — 撮影メニュー	102	 画面のカスタマイズ	114
撮影メニューの使い方	102	 フラッシュ調光補正	115
撮影メニュー一覧	103	 動画設定	116
 シーン選択	103	 カスタム保存	116
 アドバンストフィルター	103	再生の設定を変える — 再生メニュー	117
 Adv. モード	103	再生メニューの使い方	117
 ISO 感度	103	再生メニュー一覧	118
 画像サイズ	105	 ワイヤレス通信	118
 画質モード	106	 PC 保存	118
 D-Range ダイナミックレンジ	106	 ピクチャーサーチ	118
 フィルムシミュレーション	107	 消去	118
 フィルムシミュレーション BKT	107	 アップロード先設定	119
 WB ホワイトバランス	108	 スライドショー	120
 カラー	110	RAW RAW 現像	121
 Sharp シャープネス	110	 赤目補正	123
 Highlight Tone ハイライトトーン	110	 プロテクト	123
 Shadow Tone シャドウトーン	111	 トリミング	124
 NR ノイズリダクション	111	 リサイズ	124
 連写	111	 画像回転	125
 インテリジェントブレ防止	111	COPY 画像コピー	126
 顔キレイナビ	111	 フォトブックアシスト	126
 測光	112	 プリント予約 (DPOF)	127
 P-AF プリ AF	112	 instax プリンタープリント	127
 RF AF モード	113	 表示比率	127
 フォーカスモード	113		
 フォーカスエリア選択	113		
 MF アシスト	113		
 E-Fn ボタンカスタム設定	113		

## カメラの設定を変える —

セットアップメニュー.....	128
セットアップメニューの使い方.....	128
セットアップメニュー一覧.....	129
日時設定.....	129
世界時計.....	129
言語/LANG.....	129
リセット.....	130
マナーモード.....	130
コントロールリング.....	130
フォーカスチェック.....	130
位置情報設定.....	131
音設定.....	131
表示設定.....	132
消費電力設定.....	133
ブレ防止モード.....	134
赤目補正.....	134
超解像ズーム.....	135
AF 補助光.....	135
保存設定.....	136
カスタムリセット.....	137
ワイヤレス設定.....	138
PC 保存先設定.....	138
instax プリンター接続設定.....	138
フォーマット.....	139

## カメラで使えるアクセサリ 140

別売アクセサリ.....	140
別売アクセサリ一覧.....	141

## 困ったときは 142

トラブルシューティング / FAQ.....	142
警告表示.....	152

## 仕様 158

メモリーカードの標準撮影枚数 / 記録時間.....	158
主な仕様.....	159
各撮影モードで使用できる機能について.....	165

## リンク集 168

FUJIFILM XQ2 製品情報.....	168
撮影の基礎知識.....	168
デジタルカメラ撮影ガイド.....	168
FUJIFILM 無料アプリケーション.....	168

## お取り扱いにご注意ください 169

## ソフトウェアのお問い合わせについて 177

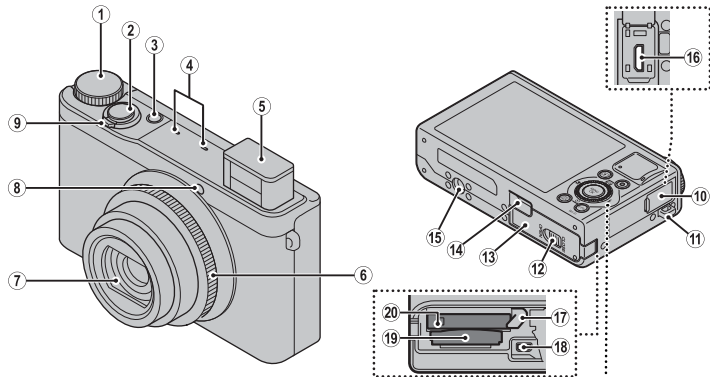
## アフターサービスについて 178

## 索引 180



## 各部の名称

使い方や説明については、各項目の右側に記載されているページを参照してください。



### セレクターボタン

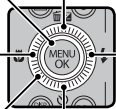
MENU (メニュー) / OK ボタン

上に移動 ▲

☑ (露出補正) ボタン (☞51)  
☒ (消去) ボタン (☞34)

左に移動 ◀

🔍 (マクロ) ボタン (☞52)



右に移動 ▶

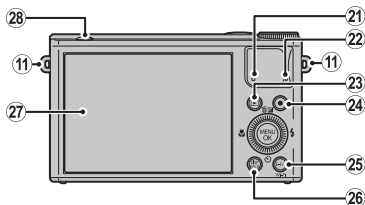
⚡ (フラッシュ) ボタン (☞53)

コマンドダイヤル (☞11)

下に移動 ▼

🕒 (セルフタイマー) ボタン (☞55)

◆ 本書では、説明に支障のない範囲でイラストを簡略化しています。



① モードダイヤル .....	35	⑩ バッテリー取り外しつまみ .....	19、21
② シャッターボタン .....	33	⑪ HDMI マイクロ端子 .....	87
③ <b>ON/OFF</b> (電源) ボタン .....	27	⑫ メモリーカードスロット .....	20
④ マイク .....	83	⑬ バッテリー挿入部 .....	19
⑤ フラッシュ .....	53	⑭ インジケーターランプ .....	12
⑥ コントロールリング .....	32	⑮ スピーカー .....	85
⑦ レンズカバー .....	27、31	⑯  (再生) ボタン .....	34、71
⑧ AF 補助光ランプ .....	135	⑰  (動画撮影) ボタン .....	82
セルフタイマーランプ .....	55	⑱ <b>E-Fn</b> (拡張ファンクション) ボタン .....	56
⑨ ズームレバー .....	31、72	モニター晴天モード .....	15
⑩ USB 端子カバー .....	94、97	<b>Wi-Fi</b> ボタン (再生時) .....	81
⑪ ストラップ取り付け部 .....	3	⑳ <b>DISP</b> (表示) / <b>BACK</b> (戻る) ボタン .....	16、29、80
⑫ バッテリーカバーロック .....	19	㉑ 液晶モニター (LCD) .....	13
⑬ バッテリーカバー .....	19	㉒ フラッシュポップアップスイッチ .....	53
⑭ HDMI 端子カバー .....	87		
⑮ 三脚用ねじ穴 .....			
⑯ USB 端子 .....	94、97		

## コマンドダイヤル

コマンドダイヤルを回転させて、絞り値やシャッタースピードを変えたり、セレクターボタンの代わりに項目を選択したりできます。



## コントロールリング

コントロールリングでは、ズーム倍率を変えたり、絞りやシャッタースピードなどの設定値を変えたり、手動でピントを合わせたりできます。また、**E-Fn** ボタンで露出補正などの機能を割り当てて使うこともできます ( 図 57)。

### ● ● ● ご購入時 (スタンダード) のコントロールリングの機能



撮影モード	機能
*	ズーム
	ズーム / MF* <sup>1</sup>
<b>P</b>	プログラムシフト / MF* <sup>1</sup>
<b>A</b>	絞り設定 / MF* <sup>1</sup>
<b>S</b>	シャッタースピード設定 / MF* <sup>1</sup>
<b>M</b>	絞り設定 / シャッタースピード設定* <sup>2</sup> / MF* <sup>1</sup>
<b>Adv.</b>	アドバンスモード選択
<b>Filter</b>	アドバンスフィルター選択
<b>SP</b>	SP 選択 / MF* <sup>1</sup>
<b>動画</b>	ズーム / MF* <sup>1</sup>

\*<sup>1</sup> フォーカスモードがマニュアルフォーカスのときは、手動でピント合わせをする機能 (MF) になります ( 図 65)。

\*<sup>2</sup> を押すと絞り設定 / シャッタースピード設定が切り換わります。

◆ コントロールリングを操作すると、設定情報がモニターに表示されます。

### ●● 撮影時のボタンロックについて

**MENU/OK** ボタンを長押しすると、画面に  が表示され、セレクトボタン（上下左右）に割り当てられている機能（露出補正 / フラッシュ / セルフタイマー / マクロ）と **E-Fn** ボタン、（動画撮影）ボタンが使用できなくなります。撮影時に誤って操作してしまうことを防ぎたいときに使用してください。再度、**MENU/OK** ボタンを長押しすると、ロックは解除されます。

### ●● 電源オン時のインジケータランプ

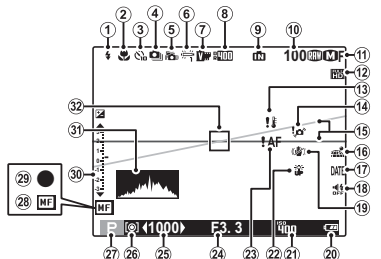
インジケータランプの色や点灯 / 点滅で、カメラの状態がわかります。


ランプの状態	カメラの状態
緑色点灯	被写体にピントが合っています。
緑色点滅	手ブレ警告、AF 警告、AE 警告です（撮影できます）。
緑と橙色の交互点滅	メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像を記録しています（続けて撮影できます）。
橙色点灯	メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像を記録しています（撮影できません）。
橙色点滅	フラッシュ充電中です（フラッシュは発光しません）。
赤色点滅	画像記録異常、またはレンズ異常です。

## 液晶モニターに表示

撮影時および再生時には、液晶モニターに次の情報が表示されます。

### ■ 静止画撮影時




\*  はメモリーカードがカメラに入っていないときに、撮影した画像がカメラの内蔵メモリーに記録されることを示します。

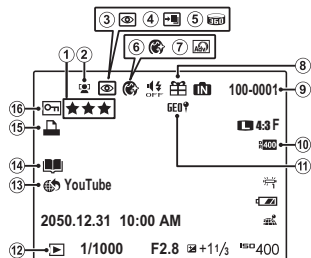
① フラッシュ	53
② マクロ（近距離）	52
③ セルフタイマー	55
④ 連写モード	59
⑤ インテリジェントブレ防止	37
⑥ ホワイトバランス	108
⑦ フィルムシミュレーション	107
⑧ ダイナミックレンジ	106
⑨ 内蔵メモリー*	
⑩ 撮影可能枚数	158
⑪ 画像サイズ・画質モード	105、106
⑫ 動画モード	84、116

⑬ 温度警告	152、158
⑭ 手ブレ警告	54、152
⑮ 電子水準器	115
⑯ 位置情報取得状態	81
⑰ 日付書き込み	137
⑱ マナーモード	130
⑲ ブレ防止	134
⑳ バッテリー状態	15
㉑ ISO 感度	103
㉒ モニター晴天モード	15
㉓ AF 警告	32、152
㉔ 絞り値	45、46
㉕ シャッタースピード	45、46
㉖ 測光モード	112
㉗ 撮影モード	35
㉘ マニュアルフォーカス	65
㉙ 合焦マーク	32、65
㉚ 露出補正インジケーター / 露出インジケーター	45、51
㉛ ヒストグラム	18
㉜ AF フレーム	50










MENU/OK ボタン長押しでボタンロックしているときに、ロックされているボタンを押すと  が表示されます (図 12)。

## ■ 再生時




① お気に入り	71
② 顔キレイナビ	70
③ 赤目補正	123
④ ぼかしコントロール、連写重ね撮り	41、42
⑤ ぐるっとパノラマ	39、79
⑥ 美肌モード	44
⑦ アドバンスフィルター	37
⑧ プレゼント	71
⑨ コマNO.	136
⑩ ダイナミックレンジ	106
⑪ 位置情報	131
⑫ 再生モード	34、71
⑬ アップロード先設定	119
⑭ フォトブックアシスト	77
⑮ プリント予約	100
⑯ プロテクト	123

## ■ バッテリー状態

表示	意味
 (白点灯)	バッテリーの残量は十分にあります。
 (白点灯)	バッテリーの残量は約半分以下です。
 (赤点灯)	バッテリーの残量が不足しています。できるだけ早く充電してください。
 (赤点滅)	バッテリー残量がありません。バッテリーを充電してください。
 (黄点灯)	充電中です。
 (緑点灯)	充電が完了しました。
 (赤点灯)	バッテリー異常です。143 ページをご覧ください。
アイコンなし	外部電源モードで動作中です。

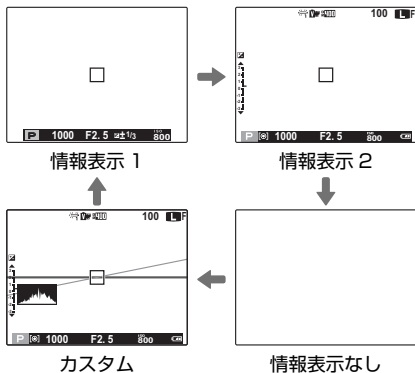
## ■ モニター晴天モード

撮影時に **E-Fn** ボタンを長押しすると、モニター晴天モードになります。晴天の野外など、光の反射や映り込みが多く液晶画面が見にくい時に画面が見やすくなります。モニター晴天モードは、セットアップメニュー  表示設定のモニター晴天モードでも設定できます。

## ■ 液晶モニターへの表示切り換え

**DISP/BACK** ボタンを押すごとに、液晶モニターへの表示が切り換わります。

- ・ 撮影時



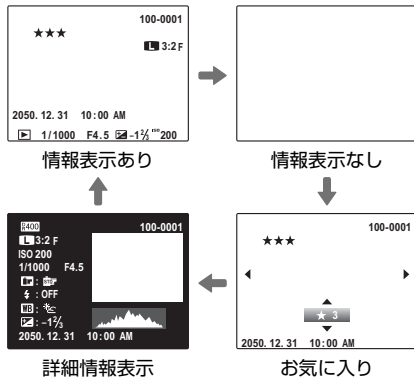
- ◆ 撮影モードが **P**、**S**、**A**、**M** 以外のときや **AF** モードを **自動追尾** に設定しているときは、「情報表示 1」は選べません。

### ● カスタム表示について

「カスタム」表示の画面は、撮影メニューの **画面のカスタマイズ** (114) で表示したい項目を変更できます。カスタマイズ画面を確認するときは、「カスタム」表示になるまで **DISP/BACK** ボタンを押してください。表示される場所は、13、14 を参照してください。

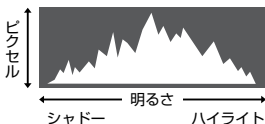


## • 再生時



## ● ヒストグラム表示について

ヒストグラムとは明るさの分布をグラフ（横軸：明るさ / 縦軸：ピクセル数）に表したものです。



**適正露出の場合：**全体的にピクセルの数が多く、山なりに分布します。



**露出オーバーの場合：**ハイライトのピクセル数が多く、右に偏ります。



**露出アンダーの場合：**シャドウのピクセル数が多く、左に偏ります。



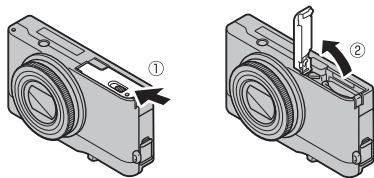
① 被写体によってグラフ形状は異なります。

# 撮影の準備

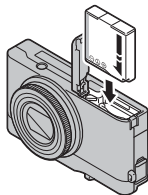
## バッテリーとメモリーカードを入れる

カメラにバッテリーとメモリーカードを入れます。

**1** バッテリーカバーを開けます。

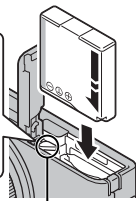
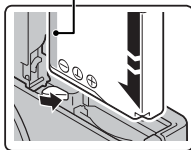


**2** バッテリーを入れます。



- 金色の端子を下にして、カメラのバッテリー取り外しつまみ（オレンジ色）にバッテリーのバッテリー指標（オレンジ色）を合わせます。

バッテリー指標



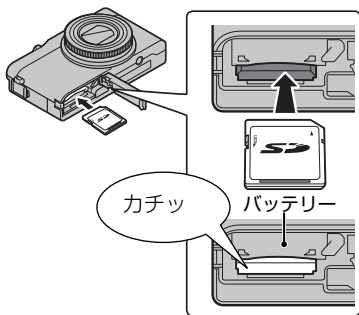
バッテリー取り外しつまみ

- バッテリー取り外しつまみをバッテリーで押すようにして、バッテリーを入れます。
- バッテリーがバッテリー取り外しつまみ（オレンジ色）で固定されていることを確認してください。

- ① バッテリーカバーが閉まらないときは、無理に閉めずにバッテリーの挿入方向を確認してください。
- ① カメラの電源がオンになっているときは、バッテリーカバーを開けないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。
- ① バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。
- ① バッテリーの向きを間違えると、カメラが破損する恐れがあります。正しい向きで挿入してください。

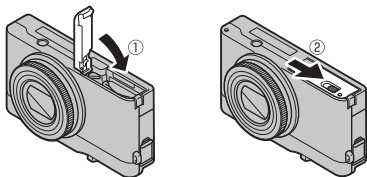
### 3 メモリーカードを入れます。

図のように正しい向きで「カチッ」と音（感触）がするまで、メモリーカードを確実に奥まで差し込みます。



- ① メモリーカードの向きが正しいことを確認してください。斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。メモリーカードが正しく入っていないと、撮影された画像は内蔵メモリー（**IN**）と画面に表示されます）に記録されます。

## 4 バッテリーカバーを開けます。

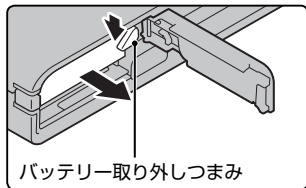


### ● バッテリー / メモリーカードを取り出すときは

カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開けます。

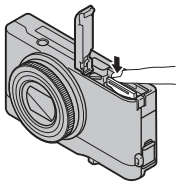
#### ・ バッテリーを取り出す

バッテリー取り外しつまみを指で動かしてロックを外してください。



#### ・ メモリーカードを取り出す

メモリーカードを指で押し込み、ゆっくり指を戻すと、ロックが外れて取り出せます。



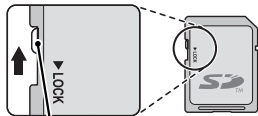
- ① メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急に放すと、メモリーカードが飛び出すことがあります。指は静かに放してください。

## 使用可能なメモリーカード

- このカメラでは、弊社および SanDisk 社製の SD/SDHC/SDXC メモリーカードの使用をおすすめします。
- HD 動画、ハイスピード動画を撮影するときは、**CLASS10** 以上のメモリーカードをご使用ください。
- 今後の対応メモリーカードについては、富士フィルムのホームページに掲載しています。詳しくは <http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/compatibility/index.html> を参照してください。その他のメモリーカードについては、動作保証しておりません。また、xD-ピクチャーカード、マルチメディアカードには対応していません。

① メモリーカードのフォーマット中や、データの記録/消去中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。

① SD/SDHC/SDXC メモリーカードをカメラで記録、消去するときは、書き込み禁止スイッチのロックを解除してください。書き込み禁止スイッチを LOCK 側へスライドさせると、画像の記録や消去、カードのフォーマットができなくなります。



書き込み禁止スイッチ

- ① 未使用の SD/SDHC/SDXC メモリーカードや、パソコンやその他の機器で使用した SD/SDHC/SDXC メモリーカードは、必ずカメラでフォーマット (📖 139) してからご使用ください。
- ① メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- ① 外形寸法が SD メモリーカード規格から外れている miniSD アダプターや microSD アダプターを使うと、まれに抜けなくなることがあります。その場合、無理に抜こうとすると故障につながりますので、富士フィルム修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

- ① メモリーカードにラベルなどをはらないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。
- ① SD メモリーカードの種類によっては、動画の記録が中断されることがあります。
- ① カメラを修理すると、内蔵メモリーのデータが消えたり、壊れたりすることがあります。また、修理技術者が、修理中に内蔵メモリーの画像を見ることがあります。
- ① カメラでメモリーカードや内蔵メモリーをフォーマットすると、画像を保存するフォルダが作られます。このフォルダの名前を変更したり、削除したりしないでください。また、パソコンやその他の機器で、画像ファイルの編集 / 削除または名前変更をしないでください。メモリーカードや内蔵メモリー内の画像の削除は、必ずカメラで行ってください。画像の編集や名前変更をするときは、カメラのオリジナル画像を使わないでください。パソコンなどに画像をコピーし、コピーした画像で編集や名前変更をしてください。

## バッテリーを充電する

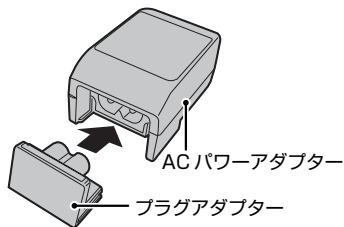
ご購入時にはバッテリーは充電されていません。カメラをお使いになる前にバッテリーを充電してください。

- お客様がお使いのバッテリーは NP-48 です。
- 充電時間については、📖 163 をご確認ください。

### 1 AC パワーアダプターにプラグアダプターを取り付けます。

図のように正しい向きで「カチッ」と音（感触）がするまで、プラグアダプターを確実に奥まで差し込みます。

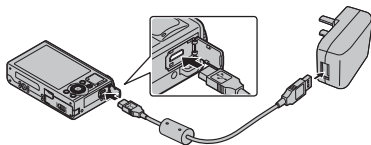
- ① 付属のプラグアダプターは、AC パワーアダプター AC-5VT 専用です。この組み合わせ以外では使用しないでください。



### 2 バッテリーを充電します。

カメラと AC パワーアダプターを、同梱の USB ケーブルで接続します。AC パワーアダプターを屋内の電源コンセントにつなぎます。


- ① USB ケーブルは向きに注意して、端子の奥までしっかりと差し込んでください。
- ① カメラの電源をオンにしているときは、再生モードでのみ充電できます。撮影モードでは充電できません。






### ●● 充電状態の表示

カメラの電源をオン（再生モード）にしているときは画面のアイコンで、オフにしているときはインジケータランプでバッテリーの充電状態を示します。

電源オン時のアイコン	電源オフ時のインジケータランプ	バッテリーの状態	対処
 （黄点灯）	点灯	充電中	—
 （緑点灯）	消灯	充電完了	—
 （赤点灯）	点滅	バッテリー異常	バッテリー異常は 143 ページをご覧ください。

◆ カメラにバッテリーを入れた状態で AC 電源に接続し電源をオンにすると、外部電源モードで動作します。

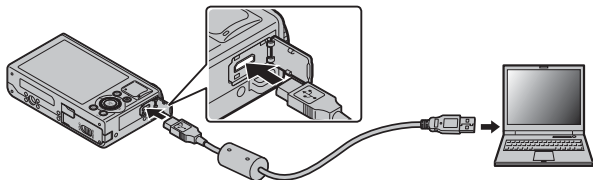
- ① 同梱されている AC パワーアダプターは電源電圧（100-240V）電源周波数（50/60Hz）の地域で使用できます。ただし、地域により電源コンセント形状が異なりますので必要に応じ、あらかじめ最適な変換プラグアダプターの安全性をお確かめの上ご用意ください。詳しくは旅行代理店などにご相談ください。
- ① 工場出荷時にバッテリーはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
- ① バッテリーにラベルなどははらないでください。カメラから取り出せなくなることがあります。
- ① バッテリーの端子同士を接触（ショート）させないでください。発熱して危険です。
- ① バッテリーについてのご注意は「お取り扱いにご注意ください」（ 169）を参照してください。
- ① 必ず専用の充電式バッテリーをお使いください。弊社専用品以外の充電式バッテリーをお使いになると故障の原因になることがあります。
- ① 外装ラベルを破ったり、はがしたりしないでください。
- ① バッテリーは使わなくても少しずつ放電しています。撮影の直前（1～2日前）には、バッテリーを充電してください。

## バッテリーを充電する

- ① 使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。
- ① AC パワーアダプターを使用しないときは、コンセントから AC パワーアダプターを抜いてください。
- ① 充電前に、バッテリーの端子の汚れを乾いたきれいな布などで拭いてください。端子が汚れていると、充電できないことがあります。
- ① 低温時および高温時は充電時間が長くなることがあります。

### 🔌 パソコンに接続してバッテリーを充電する

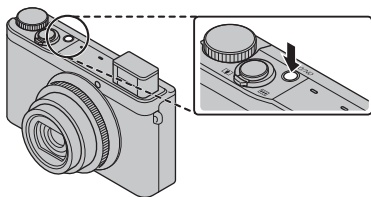
パソコンに接続して、バッテリーを充電することもできます。付属の USB ケーブルで、カメラとパソコンを接続してください。



- ① USB ハブやキーボードを経由せずに、直接カメラとパソコンを接続してください。
- ① 充電中にパソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止されます。充電を続ける場合は、パソコンの休止状態（スリープ状態）を解除したあと、USB ケーブルを接続しなおしてください。
- ① パソコンの仕様や設定、または状態によって、バッテリーを充電できないことがあります。

## 電源をオンにする / オフにする

**ON/OFF** (電源) ボタンを押すと、電源がオンになります。もう一度押すと、電源がオフになります。

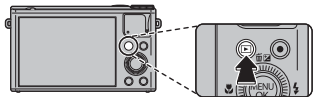


- ◆ 撮影中に **▶** (再生) ボタンを押すと、再生モードになります。
- ◆ 再生中にシャッターボタンを半押しすると、撮影モードになります。
- ◆ 一定時間カメラを操作しないと、自動的にカメラの電源がオフになります。消費電力設定の**自動電源 OFF** (p.133) では、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定できます。

### 再生モードで電源をオンにするには

**▶** (再生) ボタンを長押しすると、再生モードで電源がオンになります。

再生中に **▶** (再生) ボタンを押すと電源がオフになります。



① レンズに指紋が付かないようにご注意ください。撮影画像の画質低下の原因になります。

## 初期設定を行う

ご購入後初めて電源をオンにしたときは、使用する言語や日時などは設定されていません。次の手順で使用する言語や日時などの初期設定を行います。

◆ 言語や日時の設定をやり直したい場合は、「セットアップメニューの使い方」(P128)で、**日時設定**または **言語/LANG.** を選んだあとに、以下の手順で設定できます。

### 1 電源をオンにします。

言語設定画面が表示されます。

### 2 使用する言語を選び、MENU/OK ボタンを押します。

言語が設定され、日時設定画面が表示されます。



### 3 年月日の並び順を設定します。

▲▼ で年月日の並び順を選びます。



### 4 年、月、日、時、分を設定します。

◀▶ で設定する項目(年、月、日、時、分)を選び、▲▼ で設定する数字を選びます。



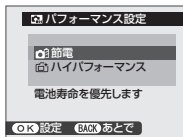
### 5 MENU/OK ボタンを押します。

日時が設定され、パフォーマンス設定画面が表示されます。

**6** パフォーマンス設定を選びます。

**節電**：消費電力を抑えるため、バッテリーを長持ちさせられます。

**ハイパフォーマンス**：ピント合わせが速くなり、液晶モニターが明るくなめらかになります。

**7** MENU/OK ボタンを押します。

設定が終了して、撮影を開始できます。

❖ バッテリーを取り外してしばらく保管すると、設定した内容がクリアされる場合があります。その場合は、初期設定の設定画面が表示されますので、再設定してください。

#### 設定のスキップ

**DISP/BACK** ボタンを押して、設定をスキップできます。スキップした設定は、次にカメラを起動したときに、再度、設定画面が表示されます。



## 日時、言語、パフォーマンスの設定を変更する

**1** セットアップメニューから設定を変更するメニュー（ **日時設定** / **言語/LANG./** **消費電力設定** > **パフォーマンス**）を選びます（ 128）。

**2** 日時 / 言語 / パフォーマンスを設定します。

- **日時設定**：前のページの **3**、**4** で設定します。
- **言語設定**：前のページの **2** で設定します。
- **パフォーマンス設定**：このページの **6** で設定します。

**3** MENU/OK ボタンを押して、設定します。

# 基本的な撮影と再生

## 撮影する

ここでは、撮影の基本的な流れを説明します。

- 1 カメラの電源をオンにして、モードダイヤルを **SR+** に合わせると、**アドバンスド SR オート**の撮影画面が表示されます (図 36)。

### ● シーンアイコン (図 36)

カメラが認識した最適なシーンのシーンアイコンが表示されます。

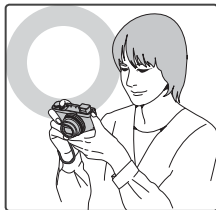


### ● アイコン

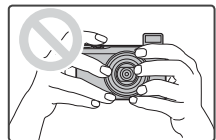
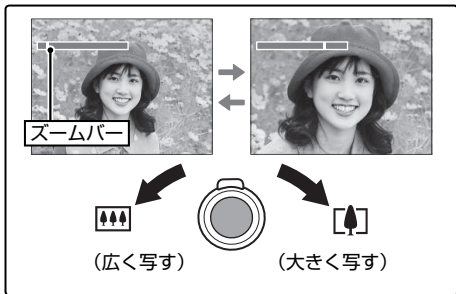
カメラが最適なシーンを認識するため、人物を常に検出し続けることを表すアイコンです。

**2** カメラを構えます。

- 手ブレを防ぐため、脇をしめ、カメラを両手でしっかりと持ってください。



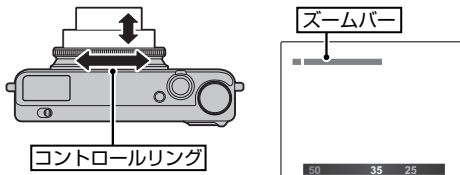
- レンズやフラッシュに指などがかかると、ピンぼけや暗い写真になることがあります。ご注意ください。

**3** ズームレバーを動かして、構図を決めます。

### ● コントロールリング

コントロールリングを回してズーム倍率を変更することができます。

広い範囲を写したいときは左方向、被写体を大きく写したいときは右方向に、コントロールリングを回してください。ズーム操作中は、画面にズームバーが表示されます。



◆ 設定によっては割り当てを変更する必要があります ( 57)。

## 4 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせます。

### ピントが合ったとき

ピピッと音が鳴り、インジケータランプが緑色に点灯します。

◆ 合焦マークが緑色に点灯します。

### ピントが合わないとき

赤色の AF フレームと **!AF** が液晶モニターに表示され、インジケータランプが緑色点滅します。構図を変えるか、AF/AE ロックを使ってください ( 50)。

◆ 合焦マークが白色に点滅します。

◆ シャッターボタンを半押しすると、レンズ動作音が発生します。





## 5 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込みます (全押しします)。

写真が撮影されます。



### ● シャッターボタンの半押しと全押しについて

シャッターボタンを軽く押して、そのまま指を動かさずにいることを「シャッターボタンを半押しする」といいます。半押しすると、ピントと明るさが決まります。

指を放さずにさらに深く押し込む (全押しする) と、写真を撮影できます。シャッターボタンを押すときは、カメラが動いて手ブレが起きないように、静かに押し込んでください。

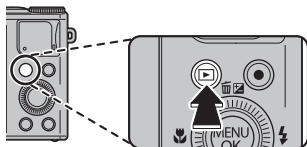
- ◆ 暗い被写体のピントを合わせやすくするためシャッターボタンを半押ししてからピントが合うまでの間、AF補助光が発光します。AF補助光が発光しないように設定を変更できます ( 135)。
  - ◆ 暗い場所ではフラッシュを使って撮影できます。フラッシュポップアップスイッチをスライドすると、フラッシュがポップアップします ( 53)。
- ① アドバンストSRオート (SR+) で撮影するときには、常にピント合わせを続けるためレンズの駆動音がします。また、バッテリーの消費が早くなりますので、残量にご注意ください ( 15)。

## 撮影した画像を見る

撮影した写真は、液晶モニターで再生できます。大切な写真を撮る前には、試し撮りをして、確認しましょう。

### 1 再生ボタンを押します。

最後に撮影した画像が液晶モニターいっぱいに表示されます。

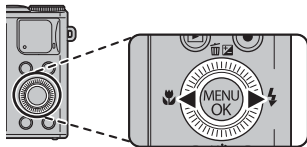


### 2 ◀ または ▶ を押して、見たい画像を選びます。


◀ : 前の画像が表示されます。

▶ : 次の画像が表示されます。

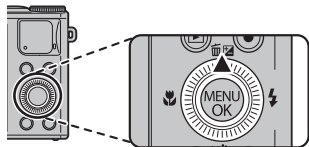
◆ シャッターボタンを半押しすると、撮影画面に戻ります。



### 不要な画像を消去するには

消去したい画像が表示されているときに、 (消去) ボタンを押します。

画像を消去する方法を選べます。

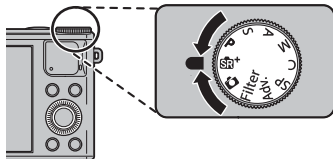


◆ メニュー操作でも画像を消去できます ( 74 )。

# モードを切り換えて撮影する

## モードダイヤルで撮影モードを切り換える

撮影モードを切り換えることで、状況（シーン）に適した設定を行うことができます。モードを切り換えるには、モードダイヤルを回して、使用するモードアイコンを指標に合わせます。



### ■ M、A、S、P

シャッタースピードや絞り値を自分で設定して撮影できます（[図45](#)）。

### ■ SR<sup>+</sup>（アドバンスドSRオート）

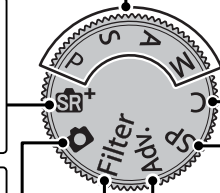
カメラが撮影シーンに合わせて、自動で最適な撮影モードを設定して撮影できます（[図36](#)）。

### ■ （オート）

カメラまかせの簡単操作できれいな写真が撮影できます。

### ■ Filter（アドバンスドフィルター）

さまざまなフィルター効果を加えた写真が撮影できます（[図37](#)）。



### ■ C カスタムモード

P、S、A、Mモードの撮影設定をあらかじめ保存しておき、その設定を読み出せます（[図49](#)）。

### ■ SP（シーンポジション）

いろいろな撮影シーンに合わせて、カメラの設定を最適な状態にするシーンポジションを選択できます（[図44](#)）。

### ■ Adv.（アドバンスドモード）

高度なテクニックが必要な写真を簡単に撮影できます（[図38](#)）。

## SR+ アドバンスドSR オート

シーンに最適な撮影モードをカメラが自動的に認識して撮影します。  
モードダイヤルを **SR+** に合わせます。



カメラが認識した最適なシーンのシーンアイコンが表示されま  
す。



## ■ シーンアイコン

背景 被写体		AUTO	風景	夜景	夜景 (三脚)	マクロ	ビーチ	夕焼け	スノー	青空	緑	青空 & 緑
		人物以外	☉*	🌄	🌃*	🌃	📷*	📷	🌅	❄️	🌤️	🌳
人物	順光	☉	🌄🌄	🌃🌃	📷📷	—	📷📷	🌅🌅	❄️❄️	🌤️🌤️	🌳🌳	🌳🌳
	逆光	☉	🌄🌄	—	—	—	📷📷	🌅🌅	❄️❄️	🌤️🌤️	🌳🌳	🌳🌳
動き		☉*	🌄🌄	🌃🌃*	📷📷	📷📷*	📷📷	🌅🌅	❄️❄️	🌤️🌤️	🌳🌳	🌳🌳
人物 & 動き	順光	☉	🌄🌄	🌃🌃	📷📷	—	📷📷	🌅🌅	❄️❄️	🌤️🌤️	🌳🌳	🌳🌳
	逆光	☉	🌄🌄	—	—	—	📷📷	🌅🌅	❄️❄️	🌤️🌤️	🌳🌳	🌳🌳

\*☉ (インテリジェントブレ防止) が表示されたときは、連写撮影を行います。

- ① シーンによっては認識されたシーンが実際と異なる場合があります。また、撮影条件によっては、同じ被写体でも異なるシーンとして認識される場合があります。認識されたシーンが実際と異なる場合は、撮影モードを **📷** (オート) にするか (📖35)、**SP** にして適切なシーンポジションを選択してください (📖44)。

### ● ● インテリジェントブレ防止について

● が表示されたときは自動的に連写し、1枚の画像に合成します。撮影時の手ブレを抑え、高感度でもノイズの少ない写真を撮影できます。

● ● は、次のときに有効になります。

- ● インテリジェントブレ防止が ON のとき
- フラッシュの設定がオートまたは発光禁止のとき (p.53)

- ① カメラをしっかり構えて撮影してください。
- ① 処理に時間がかかる場合があります。
- ① 動いている被写体の場合、合成処理に失敗することがあります。
- ① 撮影中にカメラを大きく動かした場合や撮影シーンによっては、合成されずに記録されることがあります。
- ① この機能での撮影では、通常より撮影範囲が狭くなります。







## Filter アドバンスフィルター

さまざまなフィルター効果を加えた写真が撮影できます。

モードダイヤルを **Filter** に合わせます。以下のフィルター効果を選べます。




アドバンスフィルター	効果
トイカメラ	レトロな雰囲気のあるトイカメラ風な写真に仕上がります。
ミニチュア	ジオラマ風に上下をぼかします。
ポップカラー	コントラストと彩度を強調します。
ハイキー	全体の階調表現を明るくし、コントラストを抑えます。
ローキー	全体を暗く落ち着かせつつ、ハイライト部を強調します。
ダイナミックトーン	ダイナミックな階調表現で、幻想的な効果を加えます。
ソフトフォーカス	全体にぼかしを加え柔らかな雰囲気を与えます。

 パートカラー (レッド)	特定の色域 (カッコ内の色) だけを残し、残りをモノクロにします。
 パートカラー (オレンジ)	
 パートカラー (イエロー)	
 パートカラー (グリーン)	
 パートカラー (ブルー)	
 パートカラー (パープル)	






◆ 被写体やカメラの設定によっては、画像が粗くなったり意図したような明るさや色みにならない場合があります。

## Adv. アドバンストモード

高度なテクニックが必要な写真を簡単に撮影できます。

モードダイヤルを **Adv.** に合わせます。撮影メニューの  **Adv. モード** から、使用するアドバンストモードを選んでください。



アドバンストモード	
 ぐるっとパノラマ 360	39
 ぼかしコントロール	41
 連写重ね撮り	42
 多重露出	43

## ぐるっとパノラマ 360

カメラを動かして撮影した複数の画像を自動で合成し、1枚のパノラマ写真を作成します。ぐるっとパノラマ 360 モードでは、ズームは広角側に固定されます。



### 1 撮影する角度（撮影画角）を選びます。

▼ を押して撮影画角変更画面を表示させ、◀ または ▶ で撮影する角度を選び、MENU/OK ボタンを押します。

### 2 撮影方向を選びます。

▶ を押して撮影方向選択画面を表示させ、◀ または ▶ で撮影する方向を選び、MENU/OK ボタンを押します。

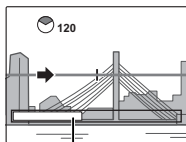
### 3 シャッターボタンを全押しして、撮影を開始します。

撮影中にシャッターボタンを押し続ける必要はありません。

### 4 矢印方向にカメラを動かします。

矢印方向にカメラをガイドバーの終端までスムーズに動かすと撮影が終了し、パノラマ写真が保存されます。

- ◆ 撮影中にシャッターボタンをもう一度全押しすると、撮影が停止します。
- ◆ 撮影された画像が 120 度以下の場合、パノラマ写真は保存されません。



ガイドバー

### 🔴🟡🟢 について

撮影画面で **🔴** を選ぶと、継ぎ目のない 360° のパノラマ写真が撮影できます。**🟡** で撮影したパノラマを再生すると、エンドレスで再生できます (📖 79)。

🔴 **🟡** 保存設定の処理前画像記録では、**🔴** のパノラマ写真も同時に記録するように設定できます (📖 136)。

- ① 撮影シーンによっては、画像がゆがんだり、合成できないことがあります。
- ① 合成できないときは、**🟡** のパノラマ写真となります。
- ① 撮影状態によっては、合成後の画像の上下に白い部分ができる場合があります。
- ① **🔴** で撮影する場合、撮影画面に表示されている画像の上下の一部は記録されません。

### 🔴🟡🟢 うまく撮影するには

- 一定の速度で小さな円を描くようにカメラを動かします。
- カメラを地面と平行 (水平) に構え、ガイドの方向にまっすぐカメラを動かします。
- うまくいかないときは、移動速度を変えてください。



- ① 撮影を中断したタイミングによっては、撮影した最後の部分が記録されないことがあります。
- ① 複数の写真を合成するため、つなぎ目がきれいに記録されない場合があります。
- ① 暗いシーンでは、写真がブレる場合があります。
- ① カメラを動かす速度が速すぎたり、遅すぎたりしたときは、撮影が中断される場合があります。設定した方向と異なる方向にカメラを動かしたときも撮影が中断されます。
- ① 撮影シーンによっては、設定した角度どおりに撮影できない場合があります。
- ① 以下の場合は、ぐるっとパノラマ 360 撮影には適していません。
  - 被写体が動いている
  - 被写体とカメラの距離が近すぎる
  - 空や芝生など、同じような模様が続く風景
  - 明るさが大きく変動するシーン
  - 波や滝など常に模様に変化する風景



## ぼかしコントロール

人物や花などの背景をぼかし、被写体を強調して撮影したいときに使用します。シャッターを押すと最大3コマ連写し、カメラが自動的にピントを合わせた被写体以外の背景をぼかします。一眼レフカメラで撮影したようなぼけ味のある写真を撮影できます。撮影前にコマンドダイヤルでぼかしの強度を3段階から設定できます。





◆  **保存設定の処理前画像記録**では、 **ぼかしコントロール**で処理する前の画像も同時に記録するように設定できます (p.136)。

- ① 被写体と背景が近づきすぎていると、背景をうまくぼかせないことがあります。フォーカスロック時に「! 背景をぼかせません」とメッセージが出たときは、被写体から少し離れて、右方向(望遠)へズームレバーを動かし調整してください。
- ① 動いている被写体の場合、ぼかし処理に失敗することがあります。
- ① ぼかし処理が失敗すると「! 画像を確認してください」とメッセージが出ます。再度、撮影してください。
- ① 撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。
- ① この機能での撮影では、通常より撮影範囲が狭くなります。

## 連写重ね撮り

暗いシーンや望遠撮影時の止まっている被写体の撮影に適しています。シャッターを押すと連写し、カメラが自動的に1枚の画像に合成します。手ブレを抑え、高感度でもノイズが少ない写真を撮影できます。



◆  保存設定の処理前画像記録では、 連写重ね撮りで処理する前の画像も同時に記録するように設定できます (p.136)。

- ① 動いている被写体の場合、合成処理に失敗することがあります。
- ① 撮影中にカメラを大きく動かした場合や撮影シーンによっては、合成されずに記録されることがあります。
- ① 撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。

## 多重露出

2枚の画像を重ねて1つの画像に合成します。

**1** 1枚目の画像を撮影します。

**2** MENU/OK を押します。

2枚目の撮影画面が表示されます。

◆ 1枚目の画像を撮り直す場合は ◀ を押してください。

◆ DISP/BACK を押すと、1枚目の画像が保存され、多重露出撮影を終了します。

**3** 2枚目の画像を撮影します。

◆ 1枚目の画像が撮影画面にうすく表示されているので、その画像を見ながら2枚目の画像の位置を調整してください。


**4** MENU/OK を押します。

2枚の画像を合成した画像が保存されます。















◆ 2枚目の画像を撮り直す場合は ◀ を押してください。

## SP シーンポジション

いろいろな撮影シーンに合わせて、カメラの設定を最適な状態にするシーンポジションが用意されています。

モードダイヤルを **SP** に合わせます。撮影メニューの  シーン選択から、使用するシーンモードを選んでください。




シーン	機能
 人物	人物の撮影に適しています。
 美肌	肌をなめらかに撮影します。
 風景	昼間の風景撮影に適しています。
 スポーツ	動いている被写体の撮影に適しています。
 夜景	夕景や夜景の撮影に適しています。
 夜景（三脚）	スローシャッターでの夜景撮影に適しています。
 花火	スローシャッターで打ち上げ花火を色鮮やかに撮影します。
 夕焼け	夕焼けを赤く鮮やかに撮影します。
 スノー	白く輝く雪景色での撮影に適しています。
 ビーチ	日差しの強い浜辺での撮影に適しています。
 水中	水中での撮影を想定し、青かぶりを軽減します。
 パーティー	室内での結婚式やパーティーの撮影で使用します。
 花の接写	花に近づいて撮影するときを使用します。
 文字の撮影	書類やホワイトボードなどを撮影するときを使用します。

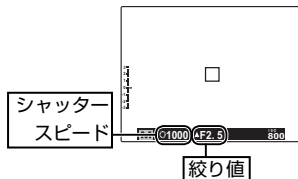
## M マニュアル

M マニュアルでは、シャッタースピードや絞り値も撮影者が設定できます。意図的に「オーバー（明るい）」または「アンダー（暗い）」の露出を設定できるので、個性的で多彩な表現が可能になります。

モードダイヤルを **M** に合わせます。

コマンドダイヤルで絞り値とシャッタースピードを設定します。

◆ （露出補正）ボタンを押すたびに、シャッタースピード設定と絞り設定が切り換わります。



- ① 長時間露光したときは、画像に点状のノイズが発生することがあります。
- ① ISO感度の設定によっては、シャッタースピードの設定に制限があります。
- ① 絞り値によっては、シャッタースピードが赤で表示されることがあります。その場合、設定したシャッター速度が得られていないことを示していますが、撮影は可能です。

### 露出インジケータについて

M マニュアルでは、常に露出インジケータが表示されます。



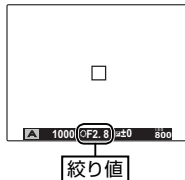
## A 絞り優先

**A** 絞り優先では、絞りを設定できます。設定した絞り値に合わせて、カメラがシャッタースピードを自動的に決定します。モードダイヤルを **A** に合わせます。



コマンドダイヤルを回して、絞り値を設定します。

- ① 設定した絞り値で適正な明るさにならないときは、シャッタースピードが赤色で表示されます。その場合は絞り値を設定し直してください。
- ① 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードが「---」と表示されます。その場合はシャッターボタンを半押しして測光し直してください。



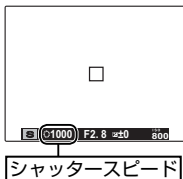
## S シャッター優先

**S** シャッター優先では、自分で選んだシャッタースピードに合わせて、カメラが自動的に絞り値を設定します。モードダイヤルを **S** に合わせます。



コマンドダイヤルを回して、シャッタースピードを設定します。

- ① 設定したシャッタースピードで適正な明るさにならないときは、絞り値が赤色で表示されます。その場合はシャッタースピードを設定し直してください。
- ① 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、絞り値が「F---」と表示されます。その場合はシャッターボタンを半押しして測光し直してください。
- ① ISO感度の設定によっては、シャッタースピードの設定に制限があります。
- ① 絞り値によっては、シャッタースピードが赤で表示されることがあります。その場合、設定したシャッター速度が得られていないことを示していますが、撮影は可能です。



## Pプログラム

Pプログラムでは、カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に設定します。プログラムシフトで同じ露出値のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることもできます。

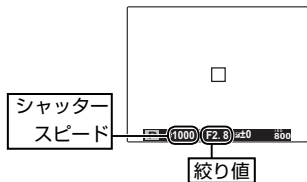
モードダイヤルを**P**に合わせます。



- ① 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードおよび絞り値が「---」と表示されます。その場合は、シャッターボタンを半押しして測光し直してください。

### ● プログラムシフトの設定

コマンドダイヤルを回すと、同じ露出のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることができます。



- ◆ プログラムシフトは、次のときに設定できます。
  - 内蔵フラッシュをポップアップしていないとき
  - **ISO 感度**が **AUTO** 以外に設定されているとき
  - **D-Range** **ダイナミックレンジ**が **AUTO** 以外に設定されているとき
- ◆ プログラムシフトは、次のときに自動解除されます。
  - 電源がオフになったとき
  - フラッシュをポップアップしたとき



## C カスタム

P、S、A、Mモードの撮影設定をあらかじめ保存しておき、その設定を呼び出せます。設定は、撮影メニューの **カスタム保存** で保存します。モードダイヤルを **C** に合わせます。



### ● C カスタムモードの保存について

撮影メニューの **カスタム保存** で、現在、設定されている撮影条件を保存できます。保存できる撮影条件は次のとおりです。

#### ■ 撮影メニュー

- ISO 感度
- 画質モード
- フィルムシミュレーション
- Color カラー
- ハイライトトーン
- Sharp シャープネス
- 顔キレイナビ
- フラッシュ調光補正
- 画像サイズ
- D-Ring ダイナミックレンジ
- シャドウトーン
- NR ノイズリダクション
- AF AFモード
- フォーカスモード
- WB ホワイトバランス
- 連写
- 測光
- 動画設定

#### ■ セットアップメニュー

- AF AF補助光
- 超解像ズーム

#### ■ その他

- フラッシュ (🔦)
- 絞り
- 画面表示切り換え (DISP/BACK)
- マクロ (🌸)
- シャッタースピード
- 露出補正 (☑)

① 超解像ズームの設定は、電源を切ると **OFF** に戻ります。

# いろいろな撮影

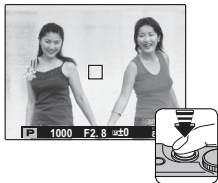
## AF/AE ロック撮影

静止画撮影時にシャッターボタンを半押しし続けて、ピントを固定することを「AF ロック」、明るさを決めて固定することを「AE ロック」といいます。被写体を画面の中央以外に配置して撮影したいときに便利です。

- 1** AF フレームを被写体に合わせて半押しします。



- 2** 半押ししたまま構図を変えます。



- 3** 全押しして撮影します。



◆ AF/AE ロックは、フォーカスモードがシングル AF のときに使えます (p.64)。


### ● オートフォーカスの苦手な被写体について

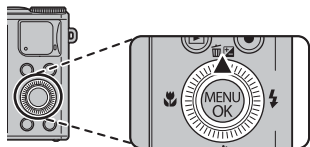
このカメラは精密なオートフォーカス機構を搭載していますが、次のような被写体や条件の場合、ピントが合いにくいことがあります。このようなときは、AF/AE ロック機能をお使いください。

- 鏡や車のボディなど光沢のあるもの
- 高速で移動する被写体
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収するもの
- 煙や炎などの実体のないもの
- 背景との明暗差が少ないもの (背景と同色の服を着ている人物など)
- AF フレーム内にコントラスト差が大きいものがあり、その前か後ろに被写体がある場合 (コントラストの強い背景の前の被写体など)

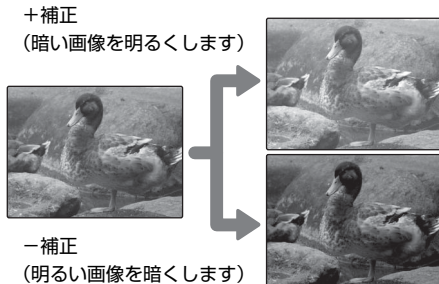
## 画像の明るさを変える（露出補正）

画像の明るさを調整できます。被写体が明るすぎたり、暗すぎたり、被写体と背景のコントラスト（明暗の差）が大きい場合に使います。





▲ (  露出補正 ) ボタンを押します。



▲ または ▼ ボタンやコマンドダイヤルで露出を補正し、**MENU/OK** ボタンを押します。



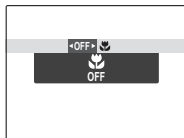
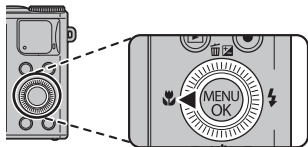
◆ 設定した露出補正值は、カメラの電源をオフにしたあとも保持されます。露出補正を解除するには、±0に設定してください。

◆ 撮影モードが  (アドバンスドSRオート)、 (オート)、**M**、**SP** の  (花火) のときは、露出を補正できません。動画撮影時は  (アドバンスドSRオート) のときのみ露出を補正できません。

## 近距離撮影 (マクロ)

被写体に近づいて大きく撮影したいときに使います。

◀ (マクロ) ボタンを押します。



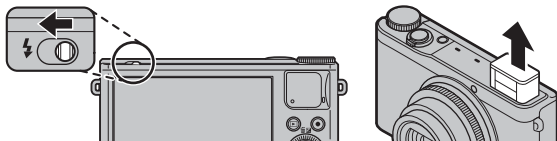
マクロ	説明
	マクロを ON にします。
OFF	マクロを OFF に (解除) します。

- ◆ 近距離撮影中にズームレバーを使うと、構図を調整できます (31)。
- ◆ マクロ撮影時は手ブレしやすいので、三脚の使用をおすすめします。
- ◆ 近づいてフラッシュ撮影するとレンズの影が映ることがあります。その場合は、少しズームするか、離して撮影してください。

## ⚡フラッシュ撮影（スーパーiフラッシュ）

夜や暗い室内で撮影をするときは、フラッシュをお使いください。

- 1** フラッシュポップアップスイッチをスライドします。  
フラッシュがポップアップします。



- 2** フラッシュ設定を選びます。  
▶ (⚡フラッシュ) ボタンを押して、フラッシュ設定を選びます。



フラッシュ	(※)	説明
AUTO		<b>オートフラッシュ（表示なし）</b> ：ほとんどの状況に適しています。カメラが暗いと判断したときにフラッシュが発光します。
⚡		<b>強制発光</b> ：逆光で被写体が暗くなっているときに使います。周囲の明るさにかかわらず、フラッシュが発光します。
③		<b>発光禁止</b> ：フラッシュは発光しません。被写体が暗いときでも、フラッシュは発光しません。暗いときは三脚の使用をおすすめします。 ◆ フラッシュを閉じてでも発光禁止になります。
		<b>スローシンクロ</b> ：夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。明るい場所では露出オーバーになることがあります。

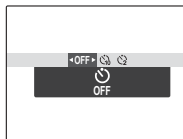
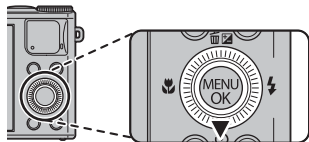
※ 顔キレイナビと赤目補正が ON のときに顔を検出した場合は、赤目現象を軽減します。



## 🕒 セルフタイマー撮影

撮影者を含めた集合写真や、シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐための撮影には、セルフタイマーをお使いください。

▼ (🕒 セルフタイマー) ボタンを押します。

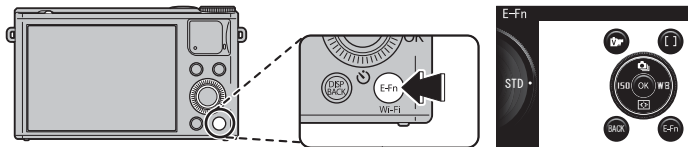


セルフタイマー	説明
🕒 OFF	<b>OFF</b> ：セルフタイマーを使用しません。
🕒 10	<b>10 秒</b> ：シャッターボタンを全押ししてから 10 秒後に撮影されます。
🕒 2	<b>2 秒</b> ：シャッターボタンを全押ししてから 2 秒後に撮影されます。

- ◆ 🕒 (10 秒後撮影) では、カメラ前面のセルフタイマーランプが点灯し、撮影直前に点滅します。  
🕒 (2 秒後撮影) では、セルフタイマー開始と同時に点滅します。

## 拡張ファンクション (E-Fn) ボタンを使う

**E-Fn** (拡張ファンクション) ボタンを押すと、拡張ファンクション画面が表示されます。



さらに▲、▼、◀、▶、□、○の各ボタンを押すことで機能を切り替えたり、設定画面を呼び出ししたりできます。また、コントロールリングの機能を変更することができます。

◆ もう一度 **E-Fn** ボタンを押すと撮影画面に戻ります。

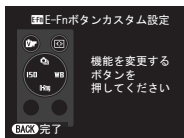
### ボタンの割り当てを変更する

拡張ファンクション画面から呼び出す機能は、撮影メニューの**E-Fn ボタンカスタム設定**で変更できます。各ボタンに割り当てられる機能は次のとおりです。

- 感度 (📖 103)
- 画像サイズ (📖 105)
- 画質モード (📖 106)
- ダイナミックレンジ (📖 106)
- フィルムシミュレーション (📖 107)
- ホワイトバランス (📖 108)
- 連写 (📖 59)
- 測光 (📖 112)
- AF モード (📖 113)
- フォーカスモード (📖 64)
- フォーカスエリア選択 (📖 68)
- 顔キレナビ (📖 70)
- 超解像ズーム (📖 135)
- ワイヤレス通信 (📖 81)



- 1 撮影メニューから **E-Fn E-Fn** ボタンカスタム設定を選びます。  
**E-Fn E-Fn** ボタンカスタム設定画面が表示されます。



- 2 割り当てを変更したいボタンを押します。
- 3 割り当てたい機能を ▲▼ で選び、**MENU/OK** を押して設定します。

## コントロールリングの割り当てを変更する

スタンダード ( 11 ) 以外に次の機能を割り当てられます。

- 露出補正 ( 51 )
- 感度 ( 103 )
- ホワイトバランス ( 108 )
- フィルムシミュレーション ( 107 )
- 連写 ( 59 )
- ズーム ( 32 )

- 1 **E-Fn** ボタンを押します。
- 2 コントロールリングを回します。  
コントロールリング設定が表示されます。
- 3 コントロールリングを回して、割り当てたい機能を選びます。
- 4 **MENU/OK** を押して設定します。

### ●スタンダード時以外のコントロールリングの動作

スタンダード以外の、コントロールリングに割り当てる機能と動作は、次のようになります。

#### ■ オートフォーカスの場合

モード 設定項目	SR+ <sup>+</sup>	カメラ	P	A	S	M	Adv.	Filter	SP	動画
露出補正			✓	✓	✓		✓	✓	✓ <sup>2</sup>	✓
感度			✓	✓	✓	✓	*1			
ホワイトバランス			✓	✓	✓	✓				
フィルム シミュレーション	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
連写	✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓ <sup>2</sup>	
ズーム	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓


#### ■ マニュアルフォーカスの場合<sup>\*3</sup>

モード 設定項目	SR+ <sup>+</sup>	カメラ	P	A	S	M	Adv. <sup>*4</sup>	Filter	SP	動画
露出補正		MF	MF	MF	MF	MF	✓	✓	MF <sup>*5</sup>	MF
感度		MF	MF	MF	MF	MF			MF <sup>*6</sup>	MF
ホワイトバランス		MF	MF	MF	MF	MF			MF <sup>*6</sup>	MF
フィルム シミュレーション	✓	MF	MF	MF	MF	MF	✓		MF <sup>*6</sup>	MF
連写	✓	MF	MF	MF	MF	MF			MF <sup>*5</sup>	MF
ズーム	✓	MF	MF	MF	MF	MF	✓	✓	MF <sup>*5</sup>	MF


\*1  の場合、設定可能です。

\*2  の場合、設定不可です。

\*3 MFと記載があるものは、フォーカスマードがマニュアルフォーカスの場合、手動でピント合わせをする機能になります (p.65)。

\*4  の場合、すべて MF になります。

\*5  の場合、MF にならず割り当てた機能が設定可能です。

\*6  の場合、MF にならず割り当てた機能も設定不可です。

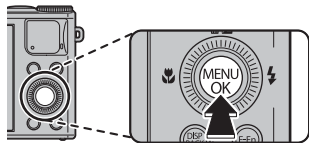
◆ 撮影メニューからも  コントロールリング設定を選んで、割り当てを設定することができます。

## 📷 連続撮影する（連写）

動いている被写体などを連続して撮影するのに適しています。

**MENU/OK** ボタンを押して撮影メニューを表示させ、

📷 連写から使用する設定を選びます。





連写	使用できる撮影モード	
📷 1 コマ撮影	全モード	—
📷 連写	SR <sup>+</sup> 、📷、P、S、A、M、SP（📷を除く）	60
📷 前後撮り連写	SR <sup>+</sup> 、📷、P、S、A、M、SP（📷を除く）	61
📷 AE ブラケティング	P、S、A、M	62
ISO ブラケティング	P、S、A、M	63
📷 フィルムシミュレーション BKT	P、S、A、M	63
DR1 ダイナミックレンジ BKT	P、S、A、M	63

- ◆ ピントや露出は 1 コマ目を撮影したときに決定され、途中で変えられません。ピントや露出を自動で変えながら撮影したいときは、フォーカスモードをコンティニュアス AF に設定し、連写速度を 📷 にしてください。
- ◆ フラッシュは発光禁止になります。ただし、📷 連写を 📷 1 コマ撮影にすると、連写を設定する前のフラッシュ設定に戻ります。
- ◆ シャッタースピードやシーンによっては、連写速度が変わる場合があります。
- ◆ 撮影できる画像の枚数は、内蔵メモリーやメモリーカードの空き容量によって異なります。
- ◆ カメラの設定や撮影シーンによっては、連写枚数が少なくなることがあります。

## 連写

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

**1**   で連写速度を選びます。

◆ 撮影モードが 、**SP** の 、 のときは、 は選べません。  
その他の連写速度を選んでください。



**2** MENU/OK ボタンを押して、決定します。

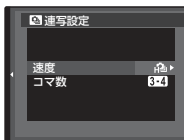
**3** 撮影します。

シャッターボタンを押している間、連続撮影を行います。

## 前後撮り連写

シャッターボタンを押したときの前後の画像を連続して撮影します。

- 1 連写撮影画面で、▶ を押して連写設定画面を表示させます。



- 2 速度を選び、▶ を押します。

- 3 ▲▼ で連写速度を選びます。

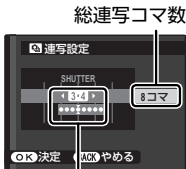
- 4 MENU/OK ボタンを押して、連写設定画面に戻ります。

- 5 連写設定画面でコマ数を選び、▶ を押します。

- 6 コマ数を設定します。

◀▶ で前後の連写コマ数を選びます。

◆ 撮影する前後の連写コマ数は、左側が全押し前の連写コマ数で、右側が全押し後の連写コマ数です。

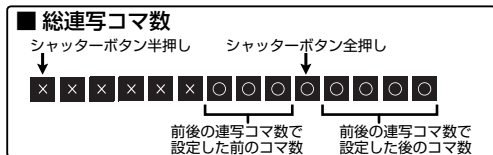


- 7 MENU/OK ボタンを押して、連写設定画面に戻ります。

- 8 DISP/BACK ボタンを押して、連写撮影画面に戻ります。

## 9 撮影します。

シャッターボタンを半押ししたときに前後の連写コマ数で設定した前のコマ数を撮影し、全押ししたときに後のコマ数を撮影します。



- ① 連写速度の設定によっては、表示コマ数が少なくなります。
- ① シャッターボタンを半押ししてから全押しするまでに、前のコマ数が設定コマ数に満たないときは、残りのコマ数はすべて後のコマとして撮影されます。
- ① シャッターボタンを半押しして連写を開始してから一定時間が経過すると、全押ししなくても自動的に撮影されます。


## AE ブラケットング

一度シャッターボタンを押すと、画像の明るさ（露出）を「適正」、「オーバー（明るい）」、「アンダー（暗い）」の順に変えながら、3コマ連続で撮影します。露出を変える範囲は ◀▶ で変更できます。

設定	説明
± 1	露出を 1EV ずつ変更しながら撮影します。
± 2/3	露出を 2/3EV ずつ変更しながら撮影します。
± 1/3	露出を 1/3EV ずつ変更しながら撮影します。




◀▶ でアンダーまたはオーバーの露出がカメラの露出制御範囲を超えると、設定した設定値きざみで撮影されません。

## ISOブラケットिंग






撮影した1枚の画像から、ISO感度（ 103）を変化させて3枚の画像を作成します。ISO感度の変化する段階は、設定感度ISO200～1600までの間で1/3段ずつステップ幅を変更できます。




設定	説明
± 1	ステップを1段に設定します。
± 2/3	ステップを2/3段に設定します。
± 1/3	ステップを1/3段に設定します。

## フィルムシミュレーションBKT

撮影した1枚の画像から、フィルムシミュレーション（ 107）の設定を  フィルムシミュレーションBKTで選んだ設定（ 107）に変化させて3枚の画像を作成します。

## ダイナミックレンジ BKT

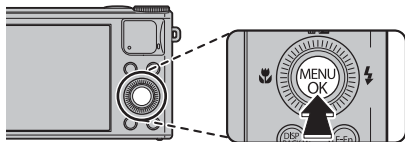
一度シャッターボタンを押すと、 ダイナミックレンジ（ 106）の設定を  100%、 200%、 400%の順に変えながら、3コマ連続で撮影します。

 のISO感度は3200以下に制限されます。また、 画像サイズが  の場合は、ISO感度は400～3200に制限されます。

## ピント合わせの方法を変える（フォーカスモード）

ピント合わせの方法を変更できます。

**MENU/OK** ボタンを押して撮影メニューを表示させ、**フォーカスモード**から使用する設定を選びます。



設定	説明
<b>MF</b> マニュアルフォーカス	ピントを手動で合わせたいときに使用します。オートフォーカスの苦手な被写体 (📖 50) を撮影するときや意図的にピントをずらしたいときなどに使用します。顔キレナビは自動的に OFF になります。
<b>MF-S</b> シングル AF	スナップや風景など動きのない被写体の撮影に適しています。
<b>MF-C</b> コンティニュアス AF	動きのある被写体の撮影に適しています。シャッターボタンを半押しすると、AF フレーム内の動いている被写体にピントを合わせ続けます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 電池の消耗が大きくなります。電池残量にご注意ください。</li></ul>

◆ **MF-C** のときに顔を認識すると、認識している顔にピントを合わせ続けます。その場合は、👤 アイコンが表示されます。



## ■ 合焦マークについて

合焦マークでピントの状況を確認できます。

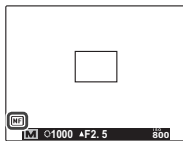
合焦マーク	状況
( )	ピントが合うところを探しています。
● (緑点灯)	シングル AF のときに、ピントが合って固定されています。
● (緑点灯)	コンティニュアス AF のときに、ピントが合っています。 ◆ 被写体の動きに合わせてピント位置が変化します。
○ (白点滅)	ピントが合っていません。

◆ フォーカスモードがマニュアルのときは、MF が表示されます。

## MF (マニュアルフォーカス) での撮影方法

### 1 フォーカスモードから MF マニュアルを選びます。

画面に MF が表示されます。



### 2 コントロールリングを回して、被写体がはっきり見えるようにピントを合わせます。

コントロールリングを左に回すと近距離側に、右に回すと遠距離側にピントが合います。

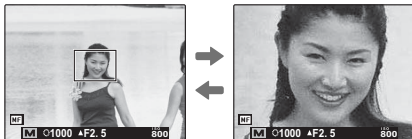
◆ コントロールリングを回す方向は、セットアップメニューの **コントロールリング** (p.130) で設定できます。

### ●●ピントの確認方法

#### ・拡大表示してピントを確認する

**MF**時に **MF** フォーカスチェック (頁 130) を **ON**にしてコントロールリングを回すと、拡大して表示され、ピントの確認がしやすくなります。

◆ 拡大する位置を変更することもできます (頁 68)。



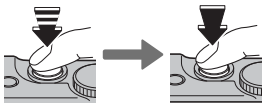
通常表示

拡大表示

#### ・ピーキングで確認する

**MF** **MFアシスト**をフォーカスピーキング (頁 113) に設定すると、コントラストの高い輪郭部分が強調されます。コントロールリングを回して、撮影したい被写体が強調されるように調整してください。

### 3 撮影します。



- ① コントロールリングを回し続けると、無限遠を超えたフォーカス位置になり、ピントが合わなくなる場合があります。
- ① フォーカスモードがマニュアルに設定されている間、マクロ設定はできません。
- ◆ ◀ ボタンを押すと、フォーカスフレーム内の被写体にオートフォーカスでピントを合わせます。素早くピントを合わせたいときに便利です。フォーカスモードがマニュアルに設定されているときのみ使用できます。

## ピントを合わせるエリアを変える (AF エリア選択)

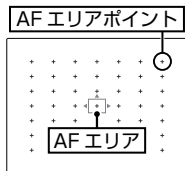
撮影メニューの **AF モード** で **エリア選択** を選択している場合、ピント合わせのエリアを変更できます。

### ■ AF エリアの選択 / 移動

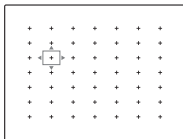
- 1** MENU/OK ボタンを押して撮影メニューを表示させ、**フォーカスエリア選択** を選びます。

AF エリア選択の設定画面が表示されます。

AF エリアポイント (+) と AF エリアが表示されます。



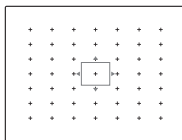
- 2** ▲、▼、◀、▶ でピントを合わせたい位置に AF エリアを移動します。



- 3** MENU/OK ボタンを押すと AF エリアの位置が設定されます。

## AF エリアの拡大 / 縮小

AF エリア選択の設定画面でコマンドダイヤルを左右に回すと、AF エリアのサイズが選べます。



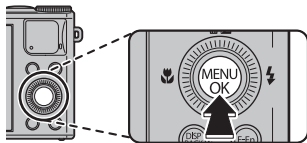
- 左に回すとサイズが小さく（最小 50%）、右に回すとサイズが大きく（最大 150%）なります。
- **MENU/OK** ボタンを押すとサイズが設定されます。

## 顔キレイナビを使った撮影

顔キレイナビを使うと、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物を明るく目立つように撮影できます。人物が左右に並んでいるときなど、背景にピントが合いがちなシーンでの撮影に適しています。

**MENU/OK** ボタンを押して撮影メニューを表示させ、

**顔キレイナビ**を **ON** にします。



緑色の枠

- 人物の顔の上に緑色の枠が表示されます。
- カメラが複数の顔を検出した場合、中央付近の顔の上に緑色の枠が、その他の顔の上に白い枠が表示されます。

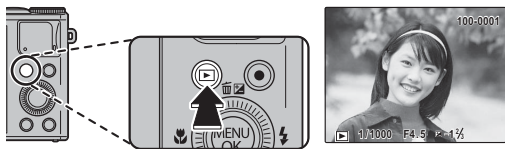
縦位置撮影時も顔を検出できます。

- ① 撮影の直前に被写体やカメラが動いたときは、緑色の枠の位置から顔がずれて写ることがあります。
- ① 各撮影モードでピントは人物の顔に合いますが、モード設定に応じた明るさになるため、人物の顔が適正な明るさにならないことがあります。


# いろいろな再生

## 1 コマ再生する

▶ (再生) ボタンを押すと、最後に撮影した画像が表示 (1 コマ再生) されます。



1 つ前の画像を見るには ◀ を押します。次の画像を見るには ▶ を押します。ボタンを押し続けると、早送りします。

◆ 他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生すると、液晶モニターに  (プレゼントアイコン) が表示されます。

## 連写画像の再生


連写で撮影された画像は、最初の 1 枚のみが表示されます。連写画像を個別に表示させるときは ▼ を押します。


## ★ お気に入りを設定する

1 コマ再生時に DISP/BACK ボタンを押すと、★ お気に入りのランクが表示され、ランクを設定できます。▲ または ▼ で ★ の数 (0 ~ 5) を設定します。

## 再生ズーム

1 コマ再生時に画像をズーム（拡大）できます。

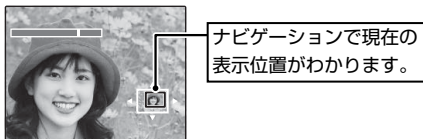
 (広角) 側へズームレバーを動かすと縮小します。

 (望遠) 側へズームレバーを動かすと拡大します。






ズームバー

画像の拡大表示中に ▲、▼、◀ または ▶ を押すと、液晶モニターに表示される範囲を移動できます。




再生ズームを解除するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

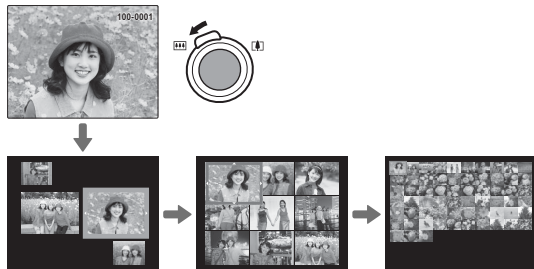
- ◆ 拡大表示中にコマンドダイヤルを回すと、拡大表示したまま前後の画像に切り換えることができます。ただし、画像サイズが異なる場合は、拡大表示したまま次の画像に切り換えることはできません。
- ◆ 最大ズーム倍率は、設定した  画像サイズ (📖 105) によって変わります。
- ◆  リサイズまたは  トリミングを使って 640 以下で保存された画像は、再生ズームできません。




## マルチ再生する

再生時に、1コマ、2コマ、9コマ、100コマ（マイクロサムネイル）を表示して、画像を比較したり、見たい画像を選んだりすることができます。


ズームレバーを  側へ動かすたびに表示される画像が増えます。




- ◆ ズームレバーを  側へ動かすたびに表示される画像が減ります。
- ◆ ▲、▼、◀または▶を押して画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、選んだ画像を1コマ表示できます。
- ◆ 9コマ再生または100コマ再生では、▲、▼、◀または▶を押し続けると、ページを切り換えることができます。

## 画像を消去する

画像を1コマだけ消去したり、消去する画像を複数枚選んで消去したり、すべての画像をまとめて消去したりすることができます。誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。


1コマ再生中に  (消去) ボタンを押して、消去方法を選びます。



- ◆ プロテクトされた画像は消去できません。消去するには、プロテクトを解除してください (p.123)。
- ◆ 再生メニューの  消去でも、画像を消去できます。

### 1コマ消去

画像を1コマだけ消去します。

- 1 1コマ再生中に  (消去) ボタンを押して、1コマを選びます。
  - 2 消去する画像を ◀ または ▶ で選んでから MENU/OK ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。
- ◆ MENU/OK ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようにご注意ください。
  - ◆ MENU/OK ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像を ◀ または ▶ で選んでから MENU/OK ボタンを押してください。

## 複数指定消去

☑️ が表示されている画像をまとめて消去できます。

❖ プリント予約やフォトブックが設定されている画像には、❶ が表示されます。




- ❶ 1 コマ再生中に 🗑️ (消去) ボタンを押して、複数指定を選びます。
- ❷ 消去する画像を選んで MENU/OK ボタンを押すと、選択されます。
  - 選択された画像は ☑️ が表示されます。
  - もう一度、MENU/OK ボタンを押すと、選択が解除されます。
- ❸ まとめて消去する画像を選択指定した後、DISP/BACK ボタンを押します。消去実行画面が表示されます。
- ❹ 実行を選んで、MENU/OK ボタンを押すと、複数指定消去が実行されます。

## 全コマ消去

画像がすべて消去されます。

- ❶ 1 コマ再生中に 🗑️ (消去) ボタンを押して、全コマを選びます。
- ❷ 実行を選んで、MENU/OK ボタンを押すと、全コマ消去が実行されます。
  - ❖ メモリーカードがカメラに入っているときは、メモリーカード内の画像がすべて消去され、メモリーカードが入っていないときは、内蔵メモリーの画像がすべて消去されます。
  - ❖ DISP/BACK ボタンを押して消去を中止しても、それまでに消去した画像は元に戻せません。
  - ❖ プリント予約を設定している画像を消去しようとする時、メッセージが表示されます。MENU/OK ボタンを押すと、その画像を消去します。

## ピクチャーサーチ

再生メニューの  ピクチャーサーチで、画像を検索できます。

### 1 ピクチャーサーチの検索条件を選びます。

検索条件	内容
日付で検索	指定した撮影日を選んで画像を表示します。
顔で検索	顔の情報をもとにして指定した画像を表示します。
★ お気に入りで検索	指定した ★ お気に入りランクの画像を表示します (P.71)。
撮影シーンで検索	指定した撮影シーンを選んで画像を表示します。
画像タイプで検索	静止画 / 動画 / 連写 / RAW のタイプ別に表示します。
アップロード先で検索	アップロード先を選んで画像を表示します。

### 2 MENU/OK ボタンを押して検索条件を決定します。

### 3 検索条件を絞り込みます。

絞り込む条件を選ると、条件に合ったサーチ画面が表示されます。




◆ サーチ画面を表示した状態で **MENU/OK** ボタンを押すと、サーチ画像に対する再生メニューが表示され、各操作を実行できます。操作方法は参照ページをご覧ください。

メニュー	
 消去	74
 プロテクト	123
 スライドショー	120

## フォトブックアシスト

画像を選んで、フォトブックを作成できます。

### フォトブックを作成する

- 1 再生メニューから  フォトブックアシストを選びます。
- 2 新規 BOOK を選び、MENU/OK を押します。  
フォトブックの新規作成画面が表示されます。
- 3 フォトブックを作成する画像の選択方法を選びます。  
全画像から選択：保存されているすべての画像から1枚ずつ選択できます。  
サーチして選択：指定した条件で検索した画像から選択できます（ 76）。  
◆  640 以下で保存されている画像や動画は選択できません。
- 4 画像を選択します。  
▲ で表示されている画像を選択または選択解除します。  
▼ で表示されている画像を表紙にします。  
◆ 最初に選択した画像は、自動的に表紙と1枚目の画像になります。表紙は、あとから ▼ で変更することもできます。
- 5 画像の選択が終わったら、MENU/OK ボタンを押します。
- 6 作成終了を選びます。  
◆ 全て選択を選ぶと、全画像またはサーチ結果のすべての画像が、フォトブック作成中の画像として選択されます。
- 7 MENU/OK を押します。  
フォトブックアシストメニューに作成したフォトブックが表示されます。

- ① フォトブックで選択できる画像は 300 枚までです。
- ① 画像が 1 枚も選択されていないフォトブックは削除されます。

#### 🔸 作成したフォトブックについて

- 作成したフォトブックは、付属のソフトウェア「MyFinePix Studio」でも、パソコンに取り込んで使うことができます。
- カメラで作成したフォトブックは、対応する店頭で簡単に注文することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

<http://fujifilm.jp/personal/print/index.html>

## 作成したフォトブックを見る

作成されているフォトブックを選ぶと、フォトブックの内容を見ることができます。

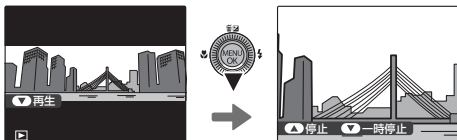
◀ または ▶ で次や前の画像に移動できます。

## 作成したフォトブックを編集 / 削除する

- 1** 作成したフォトブックを表示しているときに **MENU/OK** を押します。
- 2** 編集または削除を選びます。  
編集：フォトブックの内容を再編集できます。編集方法は「フォトブックを作成する」と同じです (📖 77)。  
削除：表示されているフォトブックを削除できます。
- 3** 画面の指示にしたがって、フォトブックを編集 / 削除します。

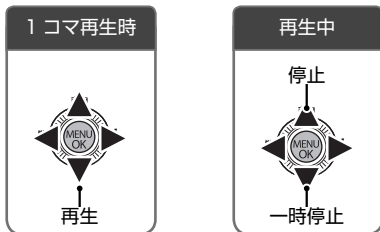
## パノラマを再生する

1 コマ再生時にパノラマ写真を選択して ▼ を押すと、パノラマ写真を再生できます。横方向に撮影したパノラマ写真は左から右に、縦方向に撮影した写真は下から上に表示されます。



- ◆ 撮影したパノラマ写真は、エンドレスで再生され (40)、消費電力設定の自動電源 OFF の設定が無効になります (133)。
- ◆ 撮影したパノラマ写真を再生中に、◀ を押すと再生方向が右から左になります。▶ を押すと左から右に戻ります。

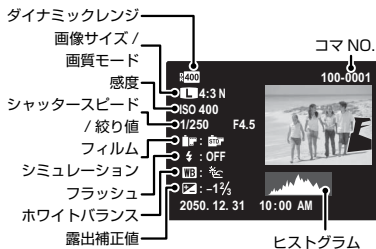
## パノラマ再生時の操作方法について



- ◆ 停止中 (1 コマ再生時) に ▲ (◀) ボタンを押すと、現在表示中のパノラマ写真を消去できます。
- ◆ 停止中 (1 コマ再生時) に (広角) 側または (望遠) 側へズームレバーを動かすと、パノラマ写真を縮小 / 拡大表示できます。

## 撮影時の情報を確認する

再生時に **DISP/BACK** ボタンを何度か押すと撮影時の情報を確認できます (図 16)。

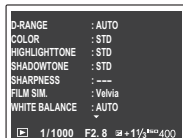


- 露出オーバーで白とびした箇所は、黒く点滅して表示されます。



## 詳細情報を確認する

1 コマ再生時にコントロールリングを回すと、撮影時の詳細情報を確認できます。



コントロールリングを回すと、画面が切り替わります。

- 撮影時にピントを合わせた位置も確認できます。ピントを合わせた位置に「+」マーク (AF エリアポイント) が表示されます。

### ピントの位置を拡大表示する

- ▼ を押すと、ピントを合わせた位置を拡大できます。**DISP/BACK** または **MENU/OK** ボタンを押すと、1 コマ再生に戻ります。



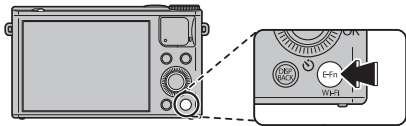


# 無線 LAN 機能

## 無線 LAN 機能を使用する

無線 LAN を使って、カメラとスマートフォンやパソコンと接続ができます。無線 LAN 機能の使用方法和アプリケーションのダウンロード方法については以下のサイトをご覧ください。

<http://app.fujifilm-dsc.com/>



## スマートフォンと通信する

無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。再生モードでカメラの **Wi-Fi** ボタンを押すだけで、カメラからスマートフォンに画像を送信したり、スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧したり、送信する画像を選んでスマートフォンに取り込んだりできます。スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信することもできます。これらの機能を使用するには、スマートフォンにあらかじめスマートフォンアプリケーション「**FUJIFILM Camera Application**」をインストールしておく必要があります。

再生メニューの**ワイヤレス通信**でも選択できます。また、拡張ファンクション (**E-Fn**) ボタンでワイヤレス通信を割り当てることで、撮影時でもワイヤレス通信ができます (☞ 56)。

## パソコンに画像を保存する

再生モードでカメラの **Wi-Fi** ボタンを長押しすると、無線 LAN を使ってカメラからパソコンに画像を保存できます。保存先のパソコンにあらかじめ PC アプリケーション「**FUJIFILM PC AutoSave**」をインストールして保存先を設定しておく必要があります。

再生メニューの **PC 保存**でも選択できます。

# 動画の撮影と再生

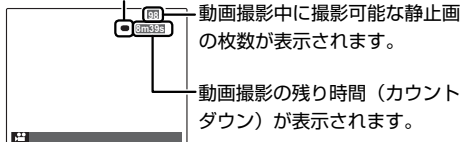
## 動画を撮影する

音声付きの動画を撮影できます。

- 1** ● (動画撮影) ボタンを押すと、動画撮影が開始されます。

◆ 動画撮影中もズーム操作が  
行えます ( 31 )。

撮影中は、 ● が表示されます。



- 2** もう一度 ● (動画撮影) ボタンを押すと、撮影が終了します。

残り時間がなくなるか、内蔵メモリーまたはメモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。

- ① 連続して撮影できる時間については、 158 をご覧ください。  
① メモリーカードに記録中は背面のインジケータランプが点灯します。動画撮影中またはインジケータランプ点灯中にバッテリーカバーを開けないでください。撮影した動画が再生できなくなります。

### ● 最適なシーンで動画を撮影する

撮影モードを **SN+** にして動画を撮影すると ( 36 )、カメラが認識した最適なシーンで動画が撮影されます。

- : 人物
- : 夜景
- : 夜景&人物
- : 風景
- : マクロ
- : 逆光&人物


◆ シーンを認識しなかった場合は、 **AUTO** で撮影されます。



シーンアイコン

### 動画撮影中の静止画撮影について

動画撮影中にシャッターボタンを押すと、静止画を撮影できます。

◆ 動画撮影中の静止画撮影には二つの撮影方法があります。撮影メニュー  **動画設定の動画中静止画撮影**で撮影方法を選んでください。


◆ 静止画と動画はそれぞれ別ファイルで保存されます。

① ハイスピード動画を撮影中は、静止画の撮影はできません。

① 撮影できる枚数には限りがあります。

◆ 動画フォーカスモードがマニュアルモードに設定されているときは、動画撮影中に手動でピントを合わせることができます (📖 116)。

◆ ホワイトバランスはシーンに応じて自動的に変化します。撮影した動画の色と明るさが、撮影前の液晶モニターの表示と異なることがあります。

◆ 被写体が暗くピントが合いにくい場合、AF 補助光ランプが発光します。AF 補助光を発光しないようにするには、 **AF 補助光** (📖 135) を **OFF** にします。

◆ 動画撮影中、カメラの動作音が記録されることがあります。

① 音声も同時に記録されるので、撮影中に指などでマイクをふさがないようにご注意ください。










① 高輝度の被写体を撮影した場合、再生時に縦スジや横スジが入ることがありますが故障ではありません。

① 長時間、動画を撮影したり、まわりの温度が高い場所で使用した場合に、カメラの温度が高くなる場合がありますが故障ではありません。


① シーンによっては認識されたシーンが実際と異なる場合があります。また、撮影条件によっては、同じ被写体でも異なるシーンとして認識される場合があります。

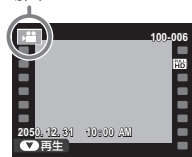
## 動画の画像サイズを変更するには

撮影メニュー  動画設定の動画モードを選びます。

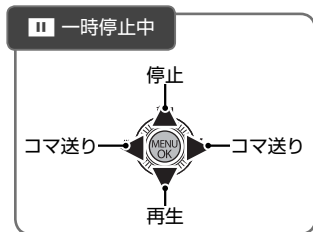
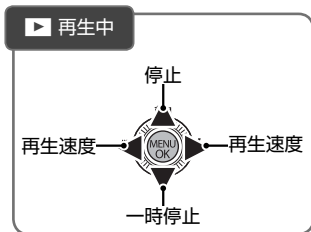
設定	説明
 <b>1920 × 1080</b> (60 fps)	フレームレートが 60fps のフルハイビジョン動画
 <b>1920 × 1080</b> (30 fps)	フレームレートが 30fps のフルハイビジョン動画
 <b>1280 × 720</b> (60 fps)	フレームレートが 60fps のハイビジョン動画
 <b>1280 × 720</b> (30 fps)	フレームレートが 30fps のハイビジョン動画
 <b>640 × 480</b>	標準動画
 <b>640 × 480</b> (80 fps)	ハイスピード動画
 <b>320 × 240</b> (150 fps)	① 音声は記録されません。 ② 撮影中にピントや露出、ズーム、ホワイトバランスは自動調整されません。
 <b>320 × 112</b> (250 fps)	①  <b>320 × 112</b> を選んだときは、上下に黒い帯が表示されます。


## ▶ 動画を再生する

画像の再生時に動画を選択すると、が表示されます。▼を動画アイコン押しして、動画を再生します。



## 動画再生時の操作方法について



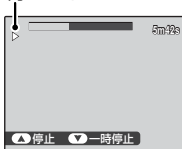
- ◆ 停止中に ▲ (⏏) ボタンを押すと、現在表示中の動画を消去できます。
- ◆ 再生中に **MENU/OK** ボタンを押すと、再生音量の設定画面が表示されます。▲ または ▼ を押しして動画の再生音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。動画の再生音量は、 **音設定の再生音量**でも設定できます (📖 131)。

① スピーカー (📖 10) を指などでふさがないでください。音が聞き取りにくくなります。

### ●● 動画の再生速度について

◀ または ▶ を押して、再生速度を変更できます。再生速度は再生アイコンの ▶ (◀) の数で表示されます。▶ (◀) の数が多いほど速度が速くなります。

再生アイコン

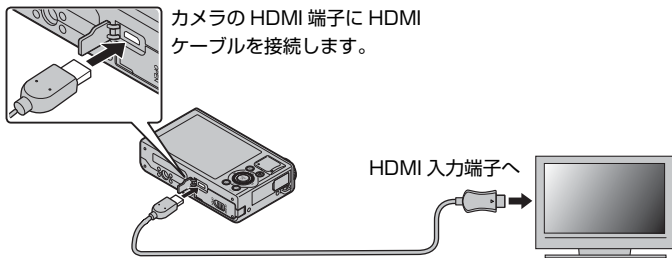


# 画像をテレビで見る

## ハイビジョンテレビに接続する

市販の HDMI ケーブルでハイビジョンテレビに接続できます。

- 1 カメラの電源がオフになっていることを確認し、市販の HDMI ケーブルでカメラとテレビを接続します。



- 2 **▶** (再生) ボタンを長押しして、カメラの電源をオンにします。  
カメラの画面表示が消え、画像がテレビに再生されます。

- ◆ HDMI ケーブルは、長さが 1.5m 以内のものをご使用ください。
- ◆ HDMI ケーブルで接続しているときは、テレビには記録された画像と音声が出力されます。
- ◆ テレビの入力は、HDMI 入力に切り換えます。テレビの音声 / 映像入力については、テレビの説明書を参照してください。
- ◆ 音量はテレビ側で調整してください。カメラで再生音量の設定をしても、音量は変わりません。

# 画像をパソコンに転送する

## パソコンと接続する

付属のソフトウェア（Windows: MyFinePix Studio）を使うと、カメラと接続したパソコンに画像をコピーして、画像の閲覧、管理、印刷をすることができます。カメラとパソコンを接続する前に、ソフトウェアをパソコンにインストールしてください。

## Windows にソフトウェア「MyFinePix Studio」をインストールする

**1** インストールの前に、お使いのパソコンが次の使用条件に合うか確認します。

	動作環境
OS*1	Windows 8.1/Windows 8/Windows 7 (SP1) /Windows Vista (SP2)
CPU	Pentium4、3GHz 相当以上 (Core 2 Duo、2.4GHz 以上) *2
メモリ	1 GB 以上
ハードディスク 空き容量	2 GB 以上
ディスプレイ	DirectX 9 以上対応のビデオカード (推奨) 1024 × 768 ドット以上 フルカラー
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>本体標準の USB ポートを推奨。その他の USB ポートは動作保証外</li><li>自動更新機能、画像ネットサービス、メール添付機能などの使用時に、インターネット接続ができる環境（ブロードバンド環境が推奨）が必要</li><li>画像アップロード機能、Map Viewer 使用時に、.NET Framework 3.5 SP1 のインストールが必要</li><li>.NET Framework のインストールが必要な場合も、インターネット接続ができる環境が必要</li></ul>

\*1 すべてプリインストールされたモデルのみ。

\*2 HD 動画を再生するための推奨動作環境。

④ 上記に記載されている以外の Windows OS では使用できません。自作パソコンや、OS をアップグレードしたパソコンは、動作保証外です。



- 2** パソコンを起動します。  
コンピューターの管理者アカウント（例えば、「Administrator」）でログインしてください。
- 3** 起動中のアプリケーションを終了して、付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れます。  
インストーラーが自動で起動します。

● Windows 8.1/Windows 8/Windows 7/Windows Vista をお使いの方へ  
同梱の CD-ROM をパソコンに入れたときに「自動再生」ウィンドウが表示された場合は、**SETUP.EXE の実行**をクリックしてください。「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されるので、**はい**（Windows Vista では**続行**）をクリックしてください。

● インストーラーを手動で起動する（Windows 7/Windows Vista をお使いの場合）

インストーラーが自動起動しない場合は、手動で起動させます。

- 1** スタートメニューから**コンピューター**（Windows 7） / **コンピュータ**（Windows Vista）をクリックします。
- 2** **FINEPIX** の CD-ROM アイコンをダブルクリックします。「FINEPIX」ウィンドウが表示されます。
- 3** **SETUP** または **SETUPEXE** をダブルクリックします。


● インストーラーを手動で起動する（Windows 8.1/Windows 8 をお使いの場合）

- 1** スタート画面で**デスクトップ**を選びます。
- 2** タスクバーから**エクスプローラー**を選びます。
- 3** ナビゲーションウィンドウから **PC**（Windows 8.1） / **コンピュータ**（Windows 8）を選びます。
- 4** 「**ドライブ：FINEPIX**」をダブルクリックします。画面の指示にしたがってインストールしてください。

#### 4 MyFinePix Studio のインストールをクリックします。

- 画面の指示にしたがってソフトウェアをインストールしてください（Windows Media Player や DirectX が CD-ROM の中身よりも古いバージョンの場合は、これらのソフトウェアをインストールします）。
- RAW FILE CONVERTER も一緒にインストールされます。

#### 5 「インストールが完了しました」というメッセージが表示されたら、CD-ROM をパソコンから取り出してください。

これでインストールは終了しました。続いて、「カメラとパソコンを接続する」（ 94）に進んでください。

- ① CD-ROM は再インストール時に必要となりますので、パソコンから取り出したあと、湿気がなく日が当たらないところに大切に保存してください。

#### Windows から MyFinePix Studio をアンインストール（削除）する

インストールしたソフトウェアが不要になったときのみアンインストールを行ってください。アンインストールの前に MyFinePix Studio を終了し、カメラとパソコンの接続を外してください。

- 1 コントロールパネルを開き、「プログラムのアンインストール」で MyFinePix Studio を削除してください。
- 2 確認ダイアログが表示されたら、メッセージをよくお読みの上、**OK** をクリックしてください。

## Macintosh にソフトウェア「RAW FILE CONVERTER」をインストールする

RAW FILE CONVERTER をインストールすると、RAW 画像をパソコン上で現像できます。

- 1** お使いのパソコンが、次の使用条件に合うか確認します。

	動作環境
CPU	Intel Processor (Core2 Duo 以上)
OS*	Mac OS X (バージョン 10.6.8 ~ 10.10)
メモリ	1 GB 以上
ハードディスク 空き容量	インストールに必要な容量：200MB 以上 動作に必要な容量：400MB 以上
ディスプレイ	1024 × 768 ドット以上 フルカラー

\* すべてプリインストールされたモデルのみ。

※ 最新の対応 OS については、下記のホームページをご覧ください。

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/compatibility/index.html>

- 2** パソコンを起動して、起動中のアプリケーションを終了します。

- 3** 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れ、**SILKYRFCEXInstaller** をダブルクリックします。

画面の指示にしたがって、ソフトウェアをインストールします。管理者パスワードの入力画面が表示されたら、管理者名とパスワードを入力し、**OK** をクリックしてください。

- 4** 「インストールが完了しました」というメッセージが表示されます。閉じるをクリックしてください。

## 5 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

- ① Web ブラウザに Safari をご使用の場合、CD-ROM を取り出す際に、「ディスク “FinePix” は使用中のため取り出せませんでした。」のメッセージが表示されることがあります。その場合は、Dock 内にある Safari のアイコンをクリックして起動し、アプリケーションメニューの **Safari** - **Safari を終了** を選択して終了させてから、CD-ROM を取り出します。

これでインストールは終了しました。続いて、「カメラとパソコンを接続する」(図 94)に進んでください。

- ① CD-ROM は再インストール時に必要となりますので、パソコンから取り出したあと、湿気がなく日が当たらないところに大切に保存してください。

● Macintosh から RAW FILE CONVERTER をアンインストール (削除) する  
インストールしたソフトウェアが不要になったときのみアンインストールを行ってください。  
アンインストールの前に RAW FILE CONVERTER を終了し、カメラとパソコンの接続を外してください。

- 1 アプリケーションフォルダにインストールされた RAW FILE CONVERTER EX 2.0 powered by SILKYPIX をドラッグして、「ゴミ箱」に入れます。
- 2 Finder メニューのゴミ箱を空にするを選びます。

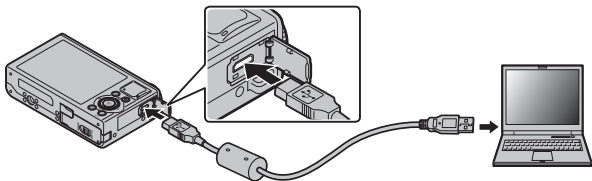
## **Mac (Macintosh) で画像や動画を取り込む場合**

Mac OS 標準アプリケーションのイメージキャプチャなどのソフトウェアで画像や動画を取り込んでください。

## カメラとパソコンを接続する

実際にカメラをパソコンと接続して正常に動作することを確認してください。Windows をお使いの場合は、Windows の CD-ROM が必要になることがありますので、あらかじめご用意ください。

- 1** ソフトウェアをインストールしたパソコンを起動します。
- 2** デスクトップの MyFinePix Studio のショートカットをダブルクリックします。
- 3** 付属の USB ケーブルで、カメラとパソコンを接続します。



- ① USB ケーブルは、向きに気をつけて、接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。USB ハブやキーボードを経由させずに、直接カメラとパソコンを接続してください。
- ① USB ケーブルは、長さが 1.5 m 以内で、データ転送が可能なものをご使用ください。

- 4** **▶** (再生) ボタンを長押しして、カメラの電源をオンにします。
- 5** MyFinePix Studio の画面の「画像を取り込む」をクリックします。画面の指示にしたがって画像をパソコンにコピーしてください。
- 6** カメラとパソコンの接続を外します。画像の保存が完了したら、カメラの電源をオフにしてから USB ケーブルを外してください。

- ① 画像をコピーするときは、バッテリー切れに注意してください。通信中に電源がオフになると、メモリーカードまたは内蔵メモリー内のデータが破壊されることがあります。
- ① 内蔵メモリーの画像を転送する場合は、メモリーカードを取り出してください。
- ① メモリーカード内に大量の画像がある場合は、ソフトウェアの起動に時間がかかり、画像の保存や転送ができないことがあります。このような場合は、お手元のカードリーダーを使って、転送してください。
- ① 画像の転送中はインジケータランプが点滅します。点滅中は以下の操作をしないでください。  
メモリーカードや内蔵メモリーのデータが壊れたり、データが消えることがあります。
  - カメラの電源をオフにする
  - USB ケーブルを抜く
- ① メモリーカードの交換は、必ずカメラとパソコンの接続を外したあとに行ってください。
- ① ソフトウェアでネットワークサーバ上に画像ファイルを保存してご利用いただく場合、スタンドアロン（単独）のパソコンのようにご利用になれないことがあります。
- ① パソコンでの「コピー中」という表示が消えてすぐにカメラを取り外したり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パソコンの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。
- ① インターネット接続する際に発生する通話料金、プロバイダ接続料金などはおお客様のご負担となります。

ソフトウェアの使い方については、ソフトウェアのヘルプを参照してください。

# 画像をプリントする

## 画像のプリントについて

画像をプリントするには、いくつかの方法があります。状況に合ったプリント方法をお選びください。

プリント方法	用途	📖
PictBridge 対応 プリンターでプリント	PictBridge (ピクトブリッジ) 対応のプリンターをお持ちの場合は、カメラを直接、プリンターに接続して画像をプリントできます。	97
お店プリント	画像が保存されているメモリーカードをフジカラーデジタルカメラプリントサービス店にお持ちいただいてプリントできます。	99
インターネットで 注文プリント	画像をパソコンに転送して、インターネットによる注文で画像をプリントできます。画像をパソコンに転送してからホームページを参照してください。 <a href="http://fujifilm.jp/personal/print/index.html">http://fujifilm.jp/personal/print/index.html</a>	—

- ◆ PictBride 対応プリンターやお店プリントでプリントするときは、プリントする画像やプリントする枚数をあらかじめカメラで設定できます。設定方法などの詳細は、🖨️ **プリント予約 (DPOF)** をご覧ください (📖 100)。

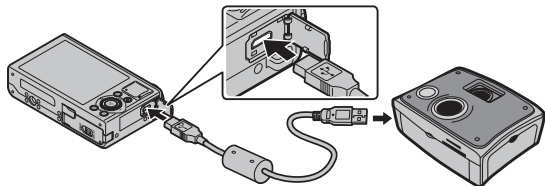


## プリンターにカメラをつないでプリントする

PictBridge (ピクトブリッジ) 対応のプリンターがあれば、パソコンを使わなくても、カメラを直接プリンターにつないでプリントできます。



- 1** 付属の USB ケーブルでカメラとプリンターを接続し、プリンターの電源をオンにします。




- 2** カメラの電源をオンにします。  
ピクトブリッジ画面が表示されます。
- 3** ◀ または ▶ でプリントしたい画像を選び、▲ または ▼ でプリント枚数を指定します。  
プリント枚数は最大 99 枚まで設定できます。
- 4** 手順 3 を繰り返し、プリントしたい画像をすべて選びます。
- 5** MENU/OK ボタンを押し、確認画面で再度 MENU/OK ボタンを押すと、プリントが開始されます。
- 6** プリントが終了したら、カメラの電源をオフにして、USB ケーブルを取り外します。  
① カメラの液晶モニターに**プリント中**と表示されていないことを確認してください。

### ●● プリントの中止

プリント中に **DISP/BACK** ボタンを押すと、プリントを中止します。プリンターによっては、すぐに中止できないことやプリントの途中で停止することがあります。プリントの途中で動作が止まってしまったときは、カメラの電源をいったんオフにしてから、もう一度電源をオンにしてください。



### ●● 日付を入れてプリントする

撮影した日付を入れてプリントするには、**DISP/BACK** ボタンでピクトブリッジの設定画面を表示させ、▲ または ▼ を押して、**日付ありプリント**  を選び、**MENU/OK** ボタンを押して決定します。


- 日付を印字したくないときは、**日付なしプリント** を選びます。
- 日付プリントに対応していないプリンターに接続した場合は、**日付ありプリント**  ができません。

- ◆ 内蔵メモリーまたはこのカメラでフォーマットしたメモリーカードを使って、プリントしてください。
- ◆ プリント枚数を 1 枚も指定せずにプリントを開始すると、表示中の画像が 1 枚プリントされます。
- ◆ お使いのプリンターの種類によっては、使えない機能があります。
- ◆ カメラとプリンターを USB ケーブルで直接つないでいるときは、フチあり / フチなしや印字品質、用紙サイズなどはプリンター側の設定になります。

### ●● プリント予約した画像をプリントする







 **プリント予約 (DPOF)** (📅 100) した画像をプリントするときは、 **予約プリント** を選んで、プリントしてください。

## プリントサービス店でプリントする（お店プリント）




「お店プリント」とは、**プリント予約（DPOF）**であらかじめ DPOF 指定（ 100）した画像の入ったメモリーカードをフジカラーデジカメプリントサービス取扱店にお持ちいただき、「DPOF 指定でプリント」とお伝えいただくだけで、簡単に高画質でプリントできるサービスです。プリントしたい画像と枚数をカメラであらかじめ設定できるので、店頭での時間や手間を省けます。

詳細は、<http://fujifilm.jp/personal/print/index.html> を参照してください。

### ● デジカメプリントのご注文について

- ・カメラであらかじめ DPOF 指定していなくても、フジカラーデジカメプリントサービス取扱店の店頭で、プリントしたい画像や枚数、日付印字の有無を指定できます。お店のプリント受付機をご利用いただくと、画像を見ながら簡単に注文できます。
- ・一部の店舗では、DPOF 指定をお受けしていない場合がありますので、ご注文時にご確認ください。
- ・パソコンに保存した画像なら、インターネットでもデジカメプリントをご注文いただけます。画像をパソコンに転送する方法は、 88 をご覧ください。
- ・内蔵メモリー内の画像は、お店プリントできません。 **画像コピー**（ 126）でメモリーカードに画像をコピーしてから **プリント予約（DPOF）** で DPOF 指定して、プリントサービス店にお持ちください。
- ・日付プリントする場合は、撮影時にすでにカメラの日時設定が正しく設定されている必要があります。撮影前にカメラの日時が正しく設定されていることをご確認ください（ 28）。
- ・カメラで作成したフォトブックは、対応するプリント取扱店にてご注文できます。 **フォトブックアシスト**（ 77）でフォトブックを作成して、プリントサービス店にお持ちください。
- ・パノラマモード撮影した画像は、ワイドなパノラマプリントでお楽しみいただくことができます。プリント取扱店にて「パノラマプリント」とご指定の上、ご注文ください（「パノラマプリント」はお店のプリント受付機ではご注文できません。プリント取扱店店頭にてご相談ください）。パノラマモードで撮影された画像のプリントについては、以下のホームページを参照してください。<http://fujifilm.jp/personal/print/photo/index.html>

## プリントする画像を指定する ( プリント予約 (DPOF) )

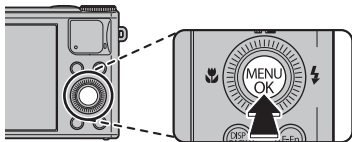
 **プリント予約 (DPOF)** であらかじめ DPOF 指定 (プリント予約) しておく、カメラを PictBridge 対応プリンターに直接つないでプリントしたり (  97)、フジカラーデジカメプリントサービス取扱店でお店プリントするとき (  99) に、指定した内容で簡単にプリントできます。



### DPOF 指定





DPOF (ディーポフ) とは、Digital Print Order Format (デジタルプリントオーダーフォーマット) のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたい画像や枚数、日付の印字の有無などの指定情報を、メモリーカードなどに記録するときの形式です。



- 1** 再生画面で **MENU/OK** ボタンを押します。  
再生メニューが表示されます。



- 2**  **プリント予約 (DPOF)** を選びます。
- 3** **日付あり設定** または **日付なし設定** を選びます。
  - **日付あり設定**  : 撮影日を印字します。
  - **日付なし設定** : 撮影日を印字しません。

- 4**   でプリント予約する画像を選びます。
- 5**   でプリント枚数を設定します。  
設定できる枚数は、最大 99 枚です。
  - ◆ 複数の画像をプリント予約する場合は、手順 4 と 5 を繰り返します。
- 6** **MENU/OK** ボタンを押します。  
確認の画面が表示されます。
- 7** 再度 **MENU/OK** ボタンを押します。  
プリント予約が設定されます。

### プリント予約の解除

選んだ画像のプリント予約設定を解除する場合は、プリント枚数が 0 になるまで ▼ ボタンを押してください。

設定されている全画像のプリント予約を解除する場合は、メニューから**全コマ解除**を選び、**MENU/OK** ボタンを押してください。確認画面で再度 **MENU/OK** ボタンを押すと、全画像のプリント予約を解除できます。

- ◆ 内蔵メモリーに記録している画像の DPOF 指定を変更するときは、メモリーカードを取り出してください。
- ◆ 同じメモリーカードで最大 999 コマまで DPOF 指定することができます。
- ◆ 別のカメラで DPOF 指定された画像がメモリーカードに入っているときは、メッセージが表示されます。すでに設定されている DPOF 指定を取り消し、DPOF 指定し直してください。
- ◆ 日付あり / 日付なしはプリンターの設定による場合がありますので、お使いのプリンターの設定を確認してください。

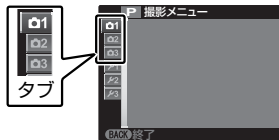
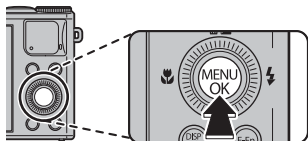
# メニューを使いこなす

## 撮影の設定を変える — 撮影メニュー

撮影時に使う機能を設定できます。

### 撮影メニューの使い方

- 1** 撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押します。  
撮影メニューが表示されます。
- 2** ◀ を押してタブを反転させ、▼ を押して変更するメニューがある撮影メニュータブを選びます。
- 3** ▶ を押します。  
撮影メニューの選択画面が表示されます。
- 4** 変更する項目を選び、設定を変更します。
- 5** **MENU/OK** ボタンを押します。  
変更した内容に設定されます。
- 6** **DISP/BACK** ボタンを押します。  
撮影画面に戻ります。



◆ メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。

## 撮影メニュー一覧

### 📷 シーン選択

(工場出荷時: 🌞)

モードダイヤルが **SP** のときに、好きなシーンポジションを選んで、モードダイヤルに割り当てることができます (📖 44)。

### 📷 アドバンストフィルター

(工場出荷時: 🌞)

モードダイヤルが **Filter** のときに、さまざまなフィルター効果を加えた写真が撮影できます (📖 37)。

### 📷 Adv. モード

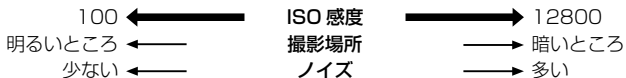
(工場出荷時: 📷)

モードダイヤルが **Adv.** のときに、高度なテクニックが必要な写真を簡単に撮影できます (📖 38)。

### ISO 感度

(工場出荷時: AUTO)

光に対する感度を変更できます。



設定	説明
AUTO	被写体の明るさに応じて感度が自動的に設定されます。
12800/6400/5000/4000/3200/2500/ 2000/1600/1250/1000/800/640/500/ 400/320/250/200/100	設定値を変更できます。設定した値は、画面に表示されます。

- 📷 画質モードで **RAW** を選んでいるときや 📷 **ダイナミックレンジ BKT** で撮影する場合は、感度設定に制限があります。

**ISO 感度 (続き)**

(工場出荷時 : AUTO)

■ **AUTO 設定について**

**AUTO** を選ぶと、以下の項目が設定できます。

設定	工場出荷値
基準 ISO 感度	100
上限 ISO 感度	800
低速シャッター限界	1/30

**基準 ISO 感度**と**上限 ISO 感度**を設定すると、その範囲内で最適な露出になるようにカメラが自動的に ISO 感度を設定します。また、**低速シャッター限界**では、ISO 感度が自動で切り換わるシャッタースピードの低速側の限界値を設定できません。

- ◆ **上限 ISO 感度**よりも**基準 ISO 感度**を高く設定している場合は、**上限 ISO 感度**で設定されている ISO 感度で撮影されます。
- ◆ **基準 ISO 感度**と**上限 ISO 感度**の範囲内でも最適な露出が得られない場合は、**低速シャッター限界**で設定したシャッタースピードよりも遅くなる場合があります。



**画像サイズ**(メモ리카ード挿入時の工場出荷時: **L 4:3**)

撮影する画像の大きさを変更できます。

画像サイズが大きいほど画質が良くなり、小さいほど多くの枚数を記録できます。

設定	用途例
<b>L 4:3</b>	A3、四切 (254mm × 305mm)、四切W サイズ程度で印刷する場合に適しています。
<b>L 3:2</b>	
<b>L 16:9</b>	
<b>L 1:1</b>	
<b>M 4:3</b>	六切 (203mm × 255mm)、A4 サイズ程度で印刷する場合に適しています。
<b>M 3:2</b>	
<b>M 16:9</b>	
<b>M 1:1</b>	
<b>S 4:3</b>	DSC (89mm × 119mm)、L (89mm × 127mm)、A6 サイズ程度で印刷する場合に適しています。
<b>S 3:2</b>	
<b>S 16:9</b>	
<b>S 1:1</b>	

**● 画像の縦横比について**

画像の縦横比によって撮影できる範囲が異なります。用途に合わせて縦横比を選択してください。

設定	説明
4:3	液晶モニターの再生表示の比率と同じです。
3:2	画像の縦横比がフィルムやポストカードと同じ 3:2 になります。
16:9	画像の縦横比が 16:9 になり、ハイビジョンテレビでの再生に適しています。
1:1	正方形の比率です。

**画質モード**

(メモ리카ード挿入時の工場出荷時：F)

撮影する画像の画質を変更できます。

設定	説明
<b>FINE</b>	圧縮率が低いため画質を優先するモードです。
<b>NORMAL</b>	圧縮率が高いため撮影枚数を優先するモードです。
<b>FINE+RAW</b>	FINE で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
<b>NORMAL+RAW</b>	NORMAL で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
<b>RAW</b>	RAW ファイルのみを保存します。

◆ 画像を再構成するには、パソコンに RAW ファイルを再構成する RAW File Converter がインストールされている必要があります。付属のソフトウェアをインストールしてください。

① RAW ファイルは、再生時の以下の機能は使用できません。


- 赤目補正
- トリミング
- リサイズ
- 再生ズームの最大拡大倍率は制限されます

**D-Range** **ダイナミックレンジ**

(工場出荷時：AUTO)

撮影する画像のダイナミックレンジを変更できます。

広いダイナミックレンジでの撮影は、明暗差の強い建物、コントラストの高い被写体（光と波、強い光と紅葉、青空での人物撮影など）、白い被写体（建物、動物、白い服でのポートレート撮影など）などのシーンに効果的です。

設定	おすすめ用途
<b>AUTO</b> (自動調整)	曇天や室内では、コントラストのある画像が撮影できます。  コントラストの強いシーンでは、白とびや黒つぶれを抑えます。
<b>100 100%</b>	
<b>200 200%</b>	
<b>400 400%</b>	

① ダイナミックレンジが広がるほど、画像にノイズが増えます。

**フィルムシミュレーション**

 (工場出荷時: **STD**)

撮影する画像の発色や階調を変更できます。




設定	説明
<b>STD</b> PROVIA/ スタンダード	標準的な発色と階調で人物、風景など幅広い被写体に適しています。
<b>VEL</b> Velvia/ ビビッド	高彩度な発色とメリハリのある階調表現で、風景や自然の撮影に適しています。
<b>AST</b> ASTIA/ ソフト	落ち着いた発色とソフトな階調で、しっとりとした表現に適しています。
<b>CR</b> クラシッククローム	発色をおさえて暗部のコントラストを高めます。落ち着いた表現に適しています。
<b>M</b> モノクロ (フィルターなし)	モノトーンの表現を活かした印象的な仕上がりの撮影に適しています。
<b>MY</b> モノクロ+ Ye フィルター	被写体のコントラストをやや強調した表現に適しています。青空が少し濃くなります。
<b>MR</b> モノクロ+ R フィルター	被写体のコントラストを強調した表現に適しています。青空が濃くなります。
<b>MG</b> モノクロ+ G フィルター	唇や肌などの調子が出る階調表現で、ポートレートに適しています。
<b>SEPIA</b> セピア	ウォーム調の色合いであたたかみのある雰囲気表現に適しています。


**フィルムシミュレーション BKT**
**フィルムシミュレーション BKT** で撮影するフィルムシミュレーションの設定を変更できます (p.63)。

**WB** ホワイトバランス





(工場出荷時：AUTO)


ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます。

設定	説明
<b>AUTO</b>	カメラが自動で設定
	カスタムホワイトバランス (手動で設定)
<b>K</b>	色温度を設定します
	晴天の屋外での撮影用
	曇天や日陰などでの撮影用
	昼光色蛍光灯の下での撮影用
	昼白色蛍光灯の下での撮影用
	白色蛍光灯の下での撮影用
	電球、白熱灯の下での撮影用
	水中の撮影用

 **カスタムホワイトバランスを設定する**

自分でホワイトバランスを測定します。あらかじめ白い紙などの被写体をご用意ください。

-  カスタムホワイトバランスを選びます。
  - 白い紙などの被写体を画面いっぱいに表示します。  
◆ MENU/OK を押すと、ホワイトバランスシフト量を調整できます。
  - シャッターボタンを全押しして測定します。
  - 「GOOD!」と表示されたら、MENU/OK ボタンを押して決定します。
- ◆ 「OVER」または「UNDER」と表示された場合は、ホワイトバランスを正しく測定できていません。「OVER」と表示されたときは「- (マイナス)」側に、「UNDER」と表示されたときは「+ (プラス)」側に露出補正 (p.51) してから、再度測定してください。
- ◆  フィルムシミュレーション、 ISO 感度、 ダイナミックレンジを、実際に撮影するときの状態にしてから測定すると、より精度の高いホワイトバランスになります。

- ◆ 設定値を選んだ後、MENU/OK を押すと、WB シフト画面が表示され、シフト量を調整できます。
- ◆ フラッシュ発光時のホワイトバランスは **AUTO** で撮影されます ( カスタムホワイトバランスを除く)。
- ◆ 撮影環境によって撮影結果が変わります。撮影後は画像を再生して、色味を確認してください。

**WB** ホワイトバランス (続き)

(工場出荷時: AUTO)

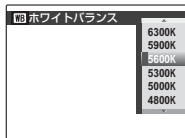
**K** 色温度を設定する

色温度を設定すると、画像全体の色味を調整できます。

**●●** 色温度の活用例

色温度を設定することで、青味や赤味を強調したイメージの画像や、実際の色味とは大きく異なる画像を意図的に撮影できます。

- 1** ホワイトバランスの設定画面から **K** を選びます。  
色温度の一覧が表示されます。



- 2** ▲▼ で色温度を選び、**MENU/OK** を押します。  
WB シフト画面が表示されます。  
◆ シフト量を調整しないときは、色温度を選んだ後に **DISP/BACK** を押してください。
- 3** ▲▼◀▶ でホワイトバランスのシフト量を調整します。

**WB** ホワイトバランス (続き)

(工場出荷時：AUTO)

- 4 MENU/OK** を押します。  
色温度が設定されます。

**色温度について**

色温度とは、光の色を客観的な絶対温度 (単位：K [ケルビン]) で表したものです。色温度が低いほど赤みを帯び、色温度が高くなるほど青味を帯びた光色になります。



**Color** カラー

(工場出荷時：(0) 標準)

撮影する画像の色の濃さを変更できます。

設定：(+2) 濃い / (+1) やや濃い / (0) 標準 / (-1) やや薄い / (-2) 薄い

**Sharp** シャープネス

(工場出荷時：(0) スタンダード)

輪郭をやわらかくしたいときや強調したいときに使用します。

設定：(+2) ハード / (+1) ミディアムハード / (0) スタンダード / (-1) ミディアムソフト / (-2) ソフト

**HL** ハイライトトーン

(工場出荷時：(0) スタンダード)

画像のハイライト部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。ハイライト部の調子を硬くしたいときはハードに、軟らかくしたいときはソフトに設定します。

設定：(+2) ハード / (+1) ミディアムハード / (0) スタンダード / (-1) ミディアムソフト / (-2) ソフト

**SD** シャドウトーン (工場出荷時：(0) スタンダード)

画像のシャドウ部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。シャドウ部の調子を硬くしたいときはハードに、軟らかくしたいときはソフトに設定します。

設定：(+2) ハード /(+1) ミディアムハード / (0) スタンダード /(-1) ミディアムソフト /(-2) ソフト

**NR** ノイズリダクション (工場出荷時：(0) スタンダード)

撮影画像のノイズを低減します。

設定：(+2) 強 /(+1) やや強 / (0) スタンダード /(-1) やや弱 /(-2) 弱

**CS** 連写 (工場出荷時：📷)

動いている被写体などを連続して撮影できます (📖 59)。

設定：📷 / 📷 / 📷 / 📷 / ISO / LP / DR

**IS** インテリジェントブレ防止 (工場出荷時：ON)

ON にすると、撮影モードがアドバンスド SR オートのときにインテリジェントブレ防止が有効になります (📖 37)。

設定：ON/OFF

**FR** 顔キレナビ (工場出荷時：OFF)

顔にピントと明るさを合わせて、人物を明るく目立つように撮影できます (📖 70)。

**測光** (工場出荷時：☉)

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ（露出）にならないときに使用します。

設定	説明
☉ マルチ	シーン自動認識により、さまざまな撮影状況で適正な露出が得られます。
☐ スポット	画面中央部の露出が最適になるように測光します。逆光時など、被写体と背景の明るさが大きく異なるときなどに使用します。測光したい被写体を画面中央に配置して撮影してください。
☐ アベレージ	画面全体を平均して測光します。構図や被写体により露出が変化しにくい特長があり、白や黒の服を着た人や風景の撮影などに使用します。

◆ 顔キレイナビが ON のときは設定できません。

**プリ AF** (工場出荷時：OFF)

シャッターボタンを押さなくても、カメラが自動でピントを合わせ続けます。

**設定：ON/OFF**





◆ **ON** にすると、シャッターボタンを押していなくても、常にピントを合わせ続けるためレンズの駆動音がします。また、バッテリーの消費が早くなりますので、残量にご注意ください。





## AF モード

(工場出荷時: )

シングル AF 時の AF エリア選択方法を設定します。

設定	説明
 エリア選択	ピントを合わせるエリアを手動で選択します ( 68 )。
 オートエリア	シャッターボタンを半押しすると、画面内にあるコントラストが高い被写体にピントを合わせます。
 自動追尾	被写体の動きに合わせて枠が移動しピントを合わせ続けます。被写体に画面中央の枠を合わせ、  を押しすと、自動追尾を開始します

- ◆  では、ピントの合った複数の位置に AF エリアが表示されます。
- ◆  では、シャッターボタンを押していなくても、常にピントを合わせ続けるためレンズの駆動音がします。また、バッテリーの消費が早くなりますので、残量にご注意ください。
- ◆ マクロ撮影時は、ピントは常に中央付近に固定されます。

## フォーカスモード

ピント合わせの方法を変更できます ( 64 )。

## フォーカスエリア選択

ピント合わせのエリアを変更できます ( 68 )。

## MF アシスト

(工場出荷時: フォーカスピーキング)

マニュアルフォーカス時のピント確認方法を設定します ( 66 )。

設定	説明
スタンダード	通常表示です (スピーキング機能を使用しません)。
フォーカスピーキング	コントラストの高い輪郭部分を強調して表示します。スピーキングのレベルは弱または強から選べます。

## E-Fn ボタンカスタム設定

拡張ファンクションメニューに割り当てるボタンを設定できます ( 56 )。

## ④ コントロールリング設定

(工場出荷時：スタンダード)

コントロールリングに割り当てる機能を設定できます ( 図 58)。

## ⑤ 画面のカスタマイズ

「カスタム表示」画面に表示する情報を設定します。

**1** 「カスタム」表示になるまで **DISP/BACK** ボタンを押します ( 図 16)。

**2** 撮影メニューで  画面のカスタマイズを選びます。

**3** 表示したい項目を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

画面に表示する項目は、 が表示されます。 が表示されている状態で **MENU/OK** ボタンを押すと、選択が解除されます。

フレーミングガイド*	ホワイトバランス
電子水準器	フィルムシミュレーション
ヒストグラム	ダイナミックレンジ
絞り / シャッター速度 / ISO	撮影可能枚数
露出補正バー	画像サイズ & 画質モード
測光	バッテリー残量表示
フラッシュ	

\* フレーミングガイドの種類を選択できます ( 図 132)。

◆ 表示される場所は 13 ~ 14 ページを参照してください。

**4** 各項目を設定し、**DISP/BACK** ボタンを押します。

設定が保存されます。

**5** もう一度 **DISP/BACK** ボタンを押します。

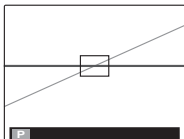
撮影画面に戻りますので、表示内容を確認してください。

◆ カスタマイズした画面は、「カスタム」表示にのみ反映されます。

## 画面のカスタマイズ (続き)

### 電子水準器について

カメラの傾きを感知して表示します。三脚設置時など、カメラを水平にしたいときは、2本の線が重なるよう、カメラの傾きを調整してください。



◆ カメラのレンズ面を上下に向けたときは、表示が消えることがあります。

## フラッシュ調光補正

(工場出荷時：±0)








撮影目的や撮影条件に合わせてフラッシュの発光量を変更できます。

設定：+2/+1<sup>2</sup>/<sub>3</sub>/+1<sup>1</sup>/<sub>3</sub>/+1/+<sup>2</sup>/<sub>3</sub>/+<sup>1</sup>/<sub>3</sub>/±0/-<sup>1</sup>/<sub>3</sub>/-<sup>2</sup>/<sub>3</sub>/-1/-1<sup>1</sup>/<sub>3</sub>/-1<sup>2</sup>/<sub>3</sub>/-2

◆ 被写体の条件や撮影距離などによっては、発光量の補正効果が得られない場合があります。

## 動画設定

動画撮影に関する設定を行います。

サブメニュー	内容	
動画モード	撮影する動画の画像サイズを変更できます ( 84 )。	
動画フォーカスモード	動画撮影時のピント合わせの方法を変更できます。	
	設定	説明
	 センター固定	撮影開始時に、画面中央にある被写体にピントを合わせます。
	 コンティニユアス	撮影中も画面中央付近の被写体にピントを合わせ続けます。
 マニュアルフォーカス	ピントを手動で合わせたいときに使用します。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆  では、シャッターボタンを押してなくても、常にピントを合わせ続けるためレンズの駆動音がします。また、バッテリーの消耗が早くなりますので、残量にご注意ください。</li> <li>◆  のときに顔を認識すると、認識している顔にピントを合わせ続けます。その場合は、 アイコンが表示されます。</li> </ul>	
動画中静止画撮影	動画撮影中に静止画を撮影できます。撮影方法を2つの設定から選べます ( 83 )。	
	設定	説明
	動画優先	<p><b>動画</b>：静止画を撮影している間も、動画は途切れることなく記録されます。</p> <p><b>静止画</b>：静止画の画像サイズは、<b>動画モード</b>で設定されているサイズになります。</p>
静止画優先	<p><b>動画</b>：静止画を撮影している間は、動画は記録されません。</p> <p><b>静止画</b>：静止画の画像サイズは、 <b>画像サイズ</b>で設定されているサイズになります。</p>	

## カスタム保存

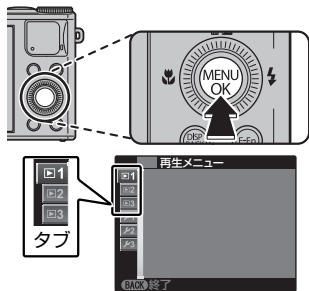
撮影モードの **P**、**S**、**A**、**M** モードの撮影設定を保存します ( 49 )。

## 再生の設定を変える — 再生メニュー

画像の再生時に使う機能を設定できます。

### 再生メニューの使い方

- 1** 再生画面で **MENU/OK** ボタンを押します。  
再生メニューが表示されます。
- 2** ◀ を押してタブを反転させ、▼ を押して変更するメニューがある再生メニュータブを選びます。
- 3** ▶ を押します。  
再生メニューの選択画面が表示されます。
- 4** 変更する項目を選び、設定を変更します。
- 5** **MENU/OK** ボタンを押します。  
変更した内容に設定されます。
- 6** **DISP/BACK** ボタンを押します。  
再生画面に戻ります。



## 再生メニュー一覧

### ワイヤレス通信

無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。カメラからスマートフォンに画像を送信したり、スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧したり、送信する画像を選んでスマートフォンに取り込んだりできます。スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信することもできます。無線 LAN 機能の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。

<http://app.fujifilm-dsc.com/>

### PC 保存

無線 LAN を使ってカメラからパソコンに画像を保存できます。無線 LAN 機能の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。

<http://app.fujifilm-dsc.com/>

### instax プリンタープリント

別売の FUJIFILM instax SHARE で画像を印刷できます。詳しくは、以下のサイトをご覧ください。

[http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/download/pack/pdf/ff\\_x-m1\\_x-a1\\_xq1\\_finepixf1000exr\\_add\\_j100.pdf](http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/download/pack/pdf/ff_x-m1_x-a1_xq1_finepixf1000exr_add_j100.pdf)

### ピクチャーサーチ

さまざまな条件で、画像を検索できます (📖 76)。

### 消去

画像を 1 コマずつ消去したり、全コマまとめて消去できます (📖 74)。

---

## 📁 アップロード先設定

画像や動画を選んで YouTube や FACEBOOK、mixi へのアップロード先を設定できます。

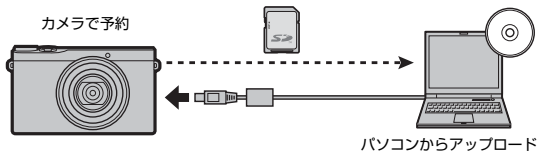
- 1 再生メニューから 📁 アップロード先設定を選びます。
- 2 アップロード先を選び、MENU/OK ボタンを押します。
- 3 ◀ または ▶ でアップロード予約する画像または解除する画像を選びます。
  - ・ アップロード予約されていない画像を選んで MENU/OK を押しと、予約を設定します。
  - ・ アップロード予約されている画像を選んで MENU/OK を押しと、予約を解除します。
- 4 手順 3 を繰り返して、必要に応じて他の画像にもアップロード予約を設定します。
  - ◆ 設定を終了するには、DISP/BACK を押します。

◆ 全コマ解除を選ぶと、まとめてアップロード先設定を解除できます。画像の数が多いと、全コマ解除に時間がかかることがあります。操作を中止するには、DISP/BACK を押してください。

- ① アップロード予約されたファイルは、再生時に 📺 YouTube、📺 FACEBOOK、📺 mixi と表示されます。
- ① アップロード先が YouTube の場合、動画のみアップロードできます。
- ① アップロード先が mixi の場合、静止画のみアップロードできます。

### 🌐 Web にアップロードするには

カメラで予約した画像は MyFinePix Studio を使ってパソコンから簡単にアップロードできます。カメラとパソコンを接続する前に MyFinePix Studio をインストールしてください (📖 88)。





- ① この機能は Windows のみで使用できます。

## スライドショー

(工場出荷時：マルチ)

画像を順番に自動再生できます。

- **MENU/OK** ボタン：スライドショーの開始 / 終了
- **DISP/BACK** ボタン：スライドショー終了のガイダンスが表示
- **◀/▶** ボタン：コマ送り（マルチ以外）

設定	説明
ノーマル  / ノーマル	1 コマずつ再生
フェード  / フェード	1 コマずつフェードアウトしながら再生
マルチ	複数コマを一度に再生

※ 顔キレイナビで撮影した画像の場合は、検出した顔も拡大表示して再生します。

◆ スライドショー中は、自動電源 OFF になりません。



**RAW RAW 現像**

撮影した RAW ファイルを、パソコンを使用せずにカメラでさまざまな設定を加えて JPEG ファイルとして保存（現像）できます。

- 1** 再生メニューで **RAW RAW 現像** を選びます。
- 2** **MENU/OK** ボタンを押します。  
設定できる機能の一覧が表示されます。



- 3** 変更する項目を選びます。
- 4** 設定を変更します。
- 5** **MENU/OK** ボタンを押して、決定します。  
手順2の画面に戻ります。手順5までを繰り返して、設定したい項目をすべて変更します。
- 6** **E-Fn** ボタンを押します。  
保存する JPEG ファイルのプレビューが表示されます。
- 7** **MENU/OK** ボタンを押します。  
JPEG 画像が保存されます。

## RAW 現像 (続き)

## ■ RAW 現像設定項目一覧

メニュー項目	機能	設定	📖
撮影時条件を反映	撮影時の条件を一括で反映します。	—	—
増感 / 減感	画像の明るさを調整できます。	− 1EV ~ + 1EV まで 1/3EV ステップ	51
ダイナミックレンジ	明るい部分の白とびを防ぎ、目で見たまに近い写真を撮影できます。	100 / 200 / 400	106
フィルムシミュレーション	色調を変更できます。	STD / V / S / G / B / Bv / B / Bv / SEPIA	107
ホワイトバランス	ホワイトバランスを変更できます。	AUTO / ☐ / K / * / ☼ / 崙 / 崙 / 崙 / ☼ / ☼	108
WB シフト	ホワイトバランスを調整します。	− 9 ~ + 9	108
カラー	撮影時の画像の色の濃さを設定します。撮影画像の色を濃くしたいときは <b>濃い</b> に、薄くしたいときは <b>薄い</b> に設定します。	濃い / やや濃い / 標準 / やや薄い / 薄い	110
シャープネス	撮影時の画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。	HARD / M-HARD / STD / M-SOFT / SOFT	110
ハイライトトーン	画像のハイライト部の調子を調整します。	HARD / M-HARD / STD / M-SOFT / SOFT	110
シャドウトーン	画像のシャドウ部の調子を調整します。	HARD / M-HARD / STD / M-SOFT / SOFT	111
ノイズリダクション	高感度撮影時に画像に発生するノイズを低減できます。	強 / やや強 / STD / やや弱 / 弱	111

**👁 赤目補正**

顔キレイナビで撮影した画像（👤が表示されている画像）の赤目を補正できます。

赤目補正した画像は別ファイルとして保存されます。

- 1** 再生画面で赤目を補正したい画像を選びます。
- 2** 再生メニューから 👁 赤目補正を選びます。
- 3** MENU/OK ボタンを押して、赤目補正を開始します。

- 👉 顔が検出できないときや被写体によっては、赤目補正できなかったり、補正した結果に差が生じることがあります。
- 👉 顔を検出する人数が多い場合は、処理に時間がかかることがあります。
- 👉 赤目補正済みの（👁が表示されている）画像は、それ以上赤目補正できません。

**🔒 プロテクト**

誤って画像を消去しないように、画像をプロテクトできます。


- 1** 再生メニューから 🔒 プロテクトを選びます。
- 2** プロテクトの方法を選びます。
  - 設定 / 解除 : プロテクト設定されていない画像はプロテクトが設定され、プロテクト設定されてる画像はプロテクト設定が解除されます。  
👉 手順 3 のあとに ◀ または ▶ で、続けて設定 / 解除する画像を選べます。
  - 全コマ設定 : すべての画像がプロテクトされます。
  - 全コマ解除 : すべての画像のプロテクト設定を解除します。
- 3** MENU/OK ボタンを押して、プロテクトを設定 / 解除します。
- 4** DISP/BACK ボタンを押して、プロテクトを終了します。

- ① メモリーカードや内蔵メモリーをフォーマット (🔧 139) すると、プロテクトした画像も消去されます。

## トリミング

撮影した画像の必要な部分をトリミング（切り抜く）できます。


トリミングした画像は別ファイルとして保存されます。

- 1** 再生画面でトリミングしたい画像を選びます。
  - 2** 再生メニューから  トリミングを選びます。
  - 3** ズームレバー、◀、▶、▲、▼ で切り抜きたい部分を調整します。
  - 4** MENU/OK ボタンを押すと、トリミング後の記録画素数が表示されます。
  - 5** MENU/OK ボタンを押して、トリミングします。
- ◆ 拡大率が大きければトリミング画像の記録画素数は小さくなります。
  - ◆ トリミングを行ったあとの記録画素数が **640** のときは、**実行**が黄色で表示されます。
  - ◆ トリミングした画像の縦横比は、4 : 3 になります。

## リサイズ

撮影した画像のサイズを小さくできます。

リサイズした画像は別ファイルとして保存されます。

- 1** 再生画面でリサイズしたい画像を選びます。
  - 2** 再生メニューから  リサイズを選びます。
  - 3** 変更するサイズを選び、MENU/OK ボタンを押します。
  - 4** MENU/OK ボタンを押して、リサイズします。
- ◆ 元画像のサイズによって、リサイズできるサイズが異なります。

## 🔄 画像回転











画像を回転できます。

設定した画像を次に再生すると、自動的に回転した状態で表示されます。


- 1** 再生画面で回転したい画像を選びます。
  - 2** 再生メニューから 🔄 画像回転を選びます。
  - 3** ▼ (時計回りに 90° 回転) または ▲ (反時計回りに 90° 回転) ボタンで画像を回転します。
  - 4** MENU/OK ボタンを押して、回転を決定します。
- ◆ プロテクトされた画像は回転できません。プロテクトを解除してから回転してください (📖 123)。
  - ◆ 他のカメラで撮影した画像は回転できないことがあります。また、他のカメラやパソコンで再生する場合は、画像は回転表示しません。

## 画像コピー

カメラの内蔵メモリーとカメラに装着したメモリーカード間で、画像をコピーできます。

- 1** 再生メニューから  画像コピーを選びます。
- 2** コピーの方法を選びます。
  -  カメラ →  カード：内蔵メモリーからメモリーカードにコピー
  -  カード →  カメラ：メモリーカードから内蔵メモリーにコピー
- 3**  を押します。
- 4** 1 コマまたは全コマを選びます。
  - 1 コマ：表示中の画像をコピー
    - ◆ 手順 5 のあとに  または  で、続けてコピーする画像を選べます。
  - 全コマ：すべての画像をコピー
- 5** MENU/OK ボタンを押して、コピーを開始します。
  - ◆ コピー先の空き容量がなくなると、その時点でコピーを終了します。
  - ◆  プリント予約 (DPOF) ( 100) していた画像をコピーした場合、プリント予約の設定はコピーされません。

## フォトブックアシスト

画像を選んで、フォトブックを作成できます ( 77)。

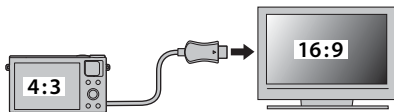
## 🖨️ プリント予約 (DPOF)



DPOF や PictBridge 対応のプリンターでプリントする画像を指定します (📖 100)。

## 🖥️ 表示比率

**4:3** で撮影された静止画を HD 出力のテレビで再生するときの表示比率を選べます。

HDMI ケーブルでカメラと HD 出力テレビを接続したときに有効です。



設定	16:9	4:3
イメージ		

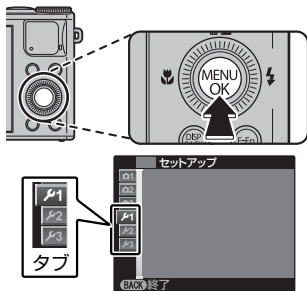
- ◆ **16:9** で撮影された画像は **16:9** に設定してください。**3:2** で撮影された画像再生すると、左右に黒い枠が表示されます。

## カメラの設定を変える — セットアップメニュー

日時の設定、モニターの明るさなど、カメラの基本的な設定を変えられます。

### セットアップメニューの使い方

- 1** MENU/OK ボタンを押します。  
撮影 / 再生メニューが表示されます。
- 2** ◀ を押してタブを反転させ、▼ を押して変更するメニューがあるセットアップメニュータブを選びます。
- 3** ▶ を押します。  
セットアップメニューの選択画面が表示されます。
- 4** 変更する項目を選び、設定を変更します。
- 5** MENU/OK ボタンを押します。  
変更した内容に設定されます。
- 6** DISP/BACK ボタンを押します。  
撮影 / 再生画面に戻ります。





## セットアップメニュー一覧

### 🕒 日時設定

日付と時刻を設定します。

日時の設定方法については、「初期設定を行う」をご覧ください (📖 28)。

### 🌐 世界時計

(工場出荷時: 🏠)

旅行先で、簡単にカメラの時計を現地時間に合わせることができます。

設定	説明
🏠 ホーム	「初期設定を行う」(📖 28) で設定した地域の日時を表示
➡ 現地	旅行先の日時を表示

#### ● 現地時間の設定

- ➡ 現地を選び、MENU/OK ボタンを押します。
- 時差を設定します。
  - ◀▶ : + / -、時間、分の選択
  - ▲▼ : 設定の変更
- MENU/OK ボタンを押します。

🔦 ➡ 現地を選ぶと、電源を入れるたびに、画面に ➡ と日時が約 3 秒間黄色で表示されます。

### 🗣️ 言語/LANG.

画面に表示する言語を設定します。

## リセット

撮影メニューまたはセットアップメニューの設定をそれぞれ工場出荷時の設定に戻します。

- 1** リセットするメニュー（撮影メニューリセットまたはセットアップリセット）を選び ▶ を押すと、確認画面が表示されます。
- 2** 実行を選んで **MENU/OK** ボタンを押します。

◆ セットアップメニューの  日時設定、 世界時計、 表示設定の配色設定はリセットされません。

## マナーモード

(工場出荷時：OFF)

**ON** にすると、フラッシュと AF 補助光を発光禁止にし、操作音やシャッター音、動画の再生音をオフに設定します。

設定：ON/OFF

## コントロールリング

(工場出荷時：🔄 時計回り)

ピントを遠距離側に合わせるときに、コントロールリングをどちらに回すかを設定できます。

設定：🔄 時計回り / 🕒 反時計回り

## フォーカスチェック

(工場出荷時：ON)

マニュアルフォーカスでコントロールリングを回したとき、画面全体を拡大表示してピントを合わせやすくします。

設定：ON/OFF

① マニュアルフォーカス (📖 65) のときのみ使用できます。

**位置情報設定**

位置情報のさまざまな設定を変更できます。

無線 LAN 機能の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。

<http://app.fujifilm-dsc.com/>




**音設定**

音に関する設定を変更できます。

サブメニュー	内容
操作音量	ポタンなどを操作するときの音量を設定します。 設定：🔊/🔊/🔊/🔊/🔊OFF ◆音を消したいときは、🔊OFF を選びます。
シャッター音量	シャッターをきるときの音量を設定します。 設定：🔊/🔊/🔊/🔊/🔊OFF ◆音を消したいときは、🔊OFF を選びます。
シャッター音	シャッターをきるときの音を設定します。 設定：🎵1 サウンド 1/🎵2 サウンド 2/🎵3 サウンド 3
再生音量	再生時の音量を設定します。 設定：0 ~ 10






 表示設定



画面表示に関する設定を変更できます。

サブメニュー	内容	
撮影画像表示	撮影直後の確認画面の表示時間を設定できます。	
	設定	説明
	1.5 秒	撮影した画像を一定時間表示
	0.5 秒	
	画像拡大チェック	MENU/OK ボタンを押すまで画像を拡大して表示
OFF	表示なし	
	◆ 実際に記録される画像と色味が若干異なることがあります。	
マニュアル時モニター 露出反映	ON にすると、露出を反映した画像が画面に表示されます。 設定：ON/OFF ◆ フラッシュ撮影など、撮影時に露出が変わる場合は、 <b>マニュアル時モニター露出反映</b> を OFF にしてください。	
モニター明るさ	画面の明るさを設定します。 設定：-5 ~ +5	
モニター晴天モード	ON にすると、晴天の野外など、光の反射や映り込みが多く液晶画面が見にくい時に画面が見やすくなります (P.15)。	
フレーミングガイド	撮影時のフレーミングガイドの種類を設定できます。	
	設定	説明
	 方眼 9 分割	縦横にガイド線が表示されます (9 コマ)。
	 方眼 24 分割	縦横にガイド線が表示されます (24 コマ)。
 HD フレーミング	画面が 16:9 になるようなガイド線が表示され、HD 画像の構図が決めやすくなります。	
縦横自動回転再生	ON にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。 設定：ON/OFF	
配色設定	メニューやカーソルなどの色を設定できます。	







**消費電力設定**

消費電力に関する設定を変更できます。

サブメニュー	内容	
自動電源 OFF	自動的に電源をオフにできます。	
	設定	説明
	5分	設定した時間、カメラを操作しないと、自動的に電源がオフになります。
	2分	
OFF	自動的に電源がオフになりません。	
◆ 設定によっては、自動電源 OFF の設定が無効になる場合があります。		
パフォーマンス	カメラが優先する機能を設定します。	
	設定	説明
	 節電	消費電力を抑え、バッテリーを長持ちさせたいとき
	 ハイパフォーマンス	ピント合わせが速くなり、液晶モニターが明るくなめらかになります。
◆  にすると、  のときよりも早く液晶モニターが暗くなります。ボタンを操作すると、通常の明るさに戻ります。		
◆ 顔キレインピグが ON のときは、  は無効になります。		

 **ブレ防止モード**
(工場出荷時： , )

手ブレや被写体ブレを軽減します。

設定	説明
 ,  常時+動き認識	常に手ブレ軽減を行います。また、動くものを認識するとシャッタースピードを制御し、被写体ブレを軽減します。
 常時	常に手ブレ軽減を行います。
 ,  撮影時+動き認識	シャッターボタンの半押し時および撮影される瞬間のみ手ブレ軽減を行います。また、動くものを認識するとシャッタースピードを制御し、被写体ブレを軽減します。
 撮影時	シャッターボタンの半押し時および撮影される瞬間のみ手ブレ軽減を行います。
OFF	ブレ軽減を使用しません。三脚使用時は OFF にすることをおすすめします。

- ◆ ISO 感度を 100 ~ 12800 の固定値に設定しているときは、動き認識を行いません。また、その他の設定によって動き認識の設定が無効になる場合があります。被写体の速さや明るさによっては、被写体ブレ軽減の効果が得られない場合があります。

 **赤目補正**

(工場出荷時： ON)

ON にすると、暗い場所でフラッシュ撮影したときに、「赤目現象」を軽減します。


設定： ON/OFF

- ◆ 顔が検出できないときは、赤目補正されません。
- ◆ RAW ファイルの画像は、赤目補正できません。

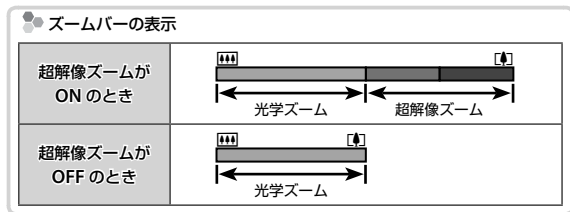
**超解像ズーム**

(工場出荷時：ON)

ON にすると、デジタル超解像処理によって、ズーム領域拡大時でもシャープな解像感のある画像が撮影できます。

光学ズームの望遠端（最大倍率）でズームレバーを （望遠）側へ動かすと、超解像ズームのズーム領域が使用できます。

設定：ON/OFF



- ◆ 超解像ズームを使うと、光学ズームに比べて画質が劣化する場合があります。
- ◆ 超解像ズームは2段階で動作します（低倍率／高倍率）。
- ◆ 超解像ズームを高倍率で使うと、低倍率に比べて画質が劣化します。
- ◆ 連写や動画撮影では、超解像ズームは使用できません。

**AF 補助光**

(工場出荷時：ON)

ON にすると、シャッターボタンを半押ししてからピントが合うまでの間、AF 補助光が発光します。

AF 補助光は、暗い被写体のピントを合わせやすくするための光です。

設定：ON/OFF

- ① シーンによっては、発光してもピントが合いづらいことがあります。
- ① マクロ撮影など、被写体に近づいた撮影では、AF 補助光の効果が十分に得られない場合があります。
- ① 人の目に近づけて発光させないでください。











## 保存設定

画像の保存に関する設定を変更できます。

サブメニュー	内容	
コマ NO.	コマ NO. (フォルダ NO. - ファイル NO.) の付け方を設定します。 メモリーカードを交換したときのコマ NO. の付け方を選びます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;">             コマ NO.              ┌──────────┴──────────┐              100-0001              ┌───┴───┐              フォルダ NO.              └───┬───┘              ファイル NO.           </div>	
	設定	説明
	連番	メモリーカードまたは内蔵メモリー内の最大ファイル NO. に 1 を足したファイル NO. が付けられます。メモリーカードを交換したときは、次のファイル NO. とメモリーカード内の最大ファイル NO. のいずれか大きい方の番号を付けます。 ◆ ファイル名の重複を防ぎます。
	新規	新しいメモリーカードを入れる度に、ファイル NO. が 0001 から付けられます。 ◆ フォーマット済みのカードに交換することで、番号をリセットできます。
	◆ コマ NO. が「999-9999」になると、それ以上撮影できなくなります (P.155)。あらかじめ、データをパソコンなどに保存してフォーマットすることをおすすめします。 ◆  リセットを行ってもコマ NO. はリセットされません。 ◆ 他のカメラで撮影した画像は、コマ NO. 表示が異なることがあります。	
処理前画像記録	<b>ON</b> にすると、処理前の画像も同時に記録します。 赤目補正、 ほかしコントロール、 連写重ね撮り、 ぐるっとパノラマのそれぞれを <b>ON</b> または <b>OFF</b> に設定してください。 <b>設定：ON/OFF</b>	



## 保存設定 (続き)

サブメニュー	内容								
日付書き込み	撮影した日付と時刻を、画像に書き込むかどうかを設定します。								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> + </td> <td>撮影した日付と時刻を、画像に書き込みます。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>撮影した日付を、画像に書き込みます。</td> </tr> <tr> <td><b>OFF</b></td> <td>日付や時刻を書き込みません。</td> </tr> </tbody> </table>	設定	説明	 + 	撮影した日付と時刻を、画像に書き込みます。		撮影した日付を、画像に書き込みます。	<b>OFF</b>	日付や時刻を書き込みません。
	設定	説明							
	 + 	撮影した日付と時刻を、画像に書き込みます。							
		撮影した日付を、画像に書き込みます。							
<b>OFF</b>	日付や時刻を書き込みません。								
① 画像に書き込まれた日付や時刻は消去できません。日付や時刻がない画像を撮影する場合は、 <b>日付書き込み</b> を <b>OFF</b> に設定してから撮影してください。									
① 日時設定が行われていない場合は、日時の設定画面が表示されます。日時の設定を行ってください (p.28、129)。									
① 日付書き込みを行った場合は、  <b>プリント予約 (DPOF)</b> の設定を日付なし設定にすることをおすすめします (p.100)。									
① 動画、パノラマ写真、前後撮り連写画像に日時と時刻を写し込むことはできません。									

## カスタムリセット

撮影モード **C** に保存された撮影設定をリセットします。

### ワイヤレス設定

無線 LAN 機能に関する設定を変更できます。

無線 LAN 機能の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。

<http://app.fujifilm-dsc.com/>

### PC 保存先設定

PC 保存の保存先を設定します。

無線 LAN 機能の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。

<http://app.fujifilm-dsc.com/>

### instax プリンター接続設定

別売の FUJIFILM instax SHARE との接続を設定します。

詳しくは、以下のサイトをご覧ください。

[http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/download/pack/pdf/ff\\_x-m1\\_x-a1\\_xq1\\_finepix1000exr\\_add\\_j100.pdf](http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/download/pack/pdf/ff_x-m1_x-a1_xq1_finepix1000exr_add_j100.pdf)

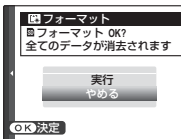
---

**[C+] フォーマット**

カメラにメモリーカードが入っているときは、メモリーカードをフォーマット（初期化）します。メモリーカードが入っていないとき（**[N]**が表示されているとき）は、内蔵メモリーをフォーマットします。

**1** セットアップメニューから **[C+] フォーマット** を選びます（[図 128](#)）。

**2** **MENU/OK** ボタンを押すと、確認の画面が表示されます。



**3** ▲ で実行を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

フォーマットが実行されます。

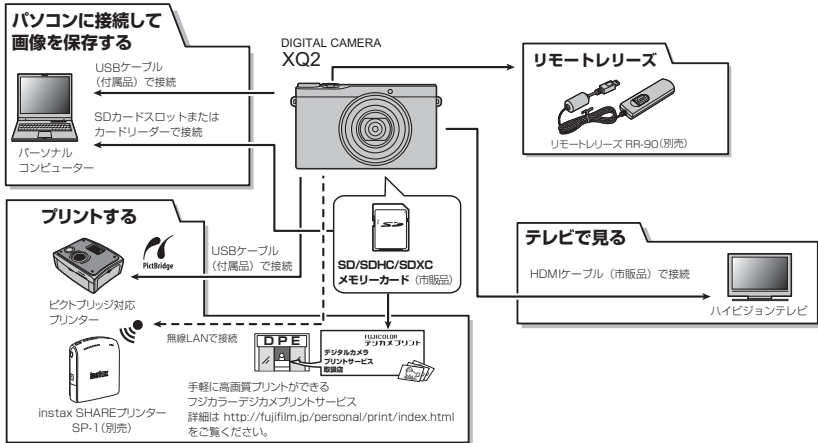
◆ 確認画面でやめるを選んだ状態で **MENU/OK** ボタンを押したり、**DISP/BACK** ボタンを押したりしたときは、フォーマットは実行されません。

- ① プロテクトされている画像を含むすべてのファイルが消去されます。消去したくない画像があるときは、フォーマットを実行しないでください。
- ① フォーマットの途中で、バッテリーカバーを開けないでください。

# カメラで使えるアクセサリー

## 別売アクセサリー

このカメラは、さまざまな富士フィルムおよび他社製品に対応しています。

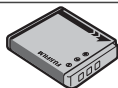


- \* デジタルカメラの画像は、従来の写真と同様にプリント取扱店でプリントできます (パノラマモードで撮影した画像のプリントについては、プリント取扱店にご相談ください)。パノラマモードで撮影された画像のプリントについては、以下のホームページをご覧ください。 <http://fujifilm.jp/personal/print/photo/index.html>
- \* 本製品は PRINT Image Matching II に対応しています。

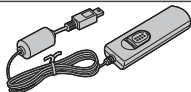
## 別売アクセサリ一覧

このカメラでは、次の富士フィルム製別売アクセサリを使用できます。

**充電式バッテリー NP-48**：リチウムイオンタイプの薄型充電式電池です。



**リモートリリース RR-90**：三脚と併用してブレを軽減したいときなどにお使いください。

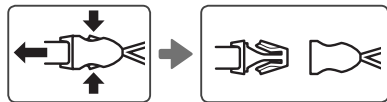


**レザーケース BLC-XQ1**：XQ2/XQ1 専用の本革製ケースです。カメラを装着したままの撮影が可能です。ショルダーストラップと、バッグに収納する際などにカメラを包むことができるクロススペースを同梱しています。

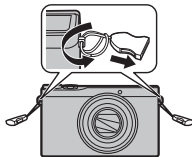
※ 最新情報については、富士フィルムホームページをご覧ください。  
<http://fujifilm.jp/personal/digitalcamera/index.html>

### ■ レザーケース BLC-XQ1 の取り付け方

**1** ストラップのホルダーを外します。



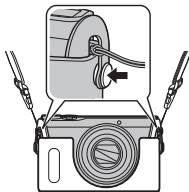
**2** 外したホルダーをカメラに取り付けます。



**3** ホルダーをストラップに取り付けます。



**4** カメラにケースを取り付けます。










# 困ったときは

## トラブルシューティング / FAQ



カメラの動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

### ■ 電源とバッテリー


症状		ここをチェック！	処置	📖
バッテリー、電源について	ON/OFF (電源) ボタンまたは  (再生) ボタンを押しても電源がオンになりません。	バッテリーが消耗していませんか？	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。	19、24
		バッテリーを正しい向きで入れていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	19
		バッテリーカバーはきちんと閉まっていますか？	バッテリーカバーをしっかりと閉めてください。	21
	バッテリーの消耗が早いです。	非常に寒いところでカメラを使っていますか？	バッテリーをポケットなどで温めておいて、撮影の直前に取り付けてください。	—
		バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布で拭いてください。	—
		 消費電力設定のパフォーマンスが  ハイパフォーマンスになっていませんか？	バッテリーを長持ちさせたい場合は、パフォーマンスを  節電に設定して撮影してください。	133
		 表示設定のモニター晴天モードが ON になっていませんか？	バッテリーを長持ちさせたい場合は、モニター晴天モードを OFF に設定してください。	15
		撮影モードが  に設定されていませんか？	バッテリーを長持ちさせたい場合は、  での撮影をおすすめします。	35
 プリ AF を ON に設定していませんか？	バッテリーを長持ちさせたい場合は、  プリ AF を OFF に設定して撮影してください。	112		

症状		ここをチェック！	処置	📖
バッテリー、電源について	バッテリーの消耗が早いです。	<p>🔌 AF モードを 🔄 自動追尾に設定していませんか？</p> <p>同じバッテリーを長時間使っていますか？</p>	<p>🔄 自動追尾で撮影すると、バッテリーの消耗が早くなります。</p> <p>バッテリーの寿命の可能性あります。新品のバッテリーと交換してください。</p>	64
	使用中に電源がオフになってしまいました。	<p>バッテリー残量が少なくなっていますか？</p>	<p>充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。</p>	19、24
充電について	充電が開始されません。	<p>バッテリーは入っていますか？</p>	<p>バッテリーを入れてください。</p>	19
		<p>バッテリーは正しい向きで入っていますか？</p>	<p>バッテリーを正しい方向で入れ直してください。</p>	19
		<p>プラグは正しくコンセントに接続されていますか？</p>	<p>AC パワーアダプターのプラグを正しくコンセントに接続してください。</p>	24
	充電時間がかかりすぎます。	<p>非常に寒いところで充電を行っていますか？</p>	<p>低温時は、充電時間が長くなる場合があります。</p>	—
	充電中にインジケータランプが点滅、またはLCDに🔌が表示され充電できません。	<p>バッテリーの端子が汚れていませんか？</p>	<p>バッテリーをいったん取り出して、端子部分を乾いたきれいな布で拭いてから、入れ直してください。</p>	—
		<p>バッテリーの寿命または故障の可能性あります。</p>	<p>新しいバッテリーと交換してください。それでも充電できないときは、弊社サポートセンターにお問い合わせください。</p>	178
<p>バッテリーの温度が高すぎたり低すぎたりしていませんか？</p>		<p>バッテリーの温度が安定してから再度充電し直してください。</p>	24	

## ■ メニューなどの設定時



症状	ここをチェック！	処置	
メニューが日本語以外で表示されています。	 言語/LANG. が日本語以外の言語になっていませんか？	言語設定を日本語にしてください。	28、 129

## ■ 撮影時

症状	ここをチェック！	処置		
基本撮影について	撮影可能枚数が0になっていませんか？	新しいメモリーカードを入れるか、不要なコマを消去してください。	19、 74	
	メモリーカード、内蔵メモリーはフォーマットされていますか？	カメラでフォーマットしてください。	139	
	シャッターボタンを押しても撮影できません。	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れていませんか？	メモリーカードの接触面を乾いた柔らかい布で拭いてください。	—
		メモリーカードが壊れている可能性があります。	新しいメモリーカードを入れてください。	19
		バッテリー残量が少なくなっていますか？	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。	19、 24
	電源がオフになっていませんか？	電源をオンにしてください。	27	
	撮影後、映像が消えて黒い画面になりました。	フラッシュを充電するために黒い画面になることがありますので、そのままお待ちください。	53	
ピントについて	近距離のものを撮影しようとしていませんか？	マクロを設定してください。	52	
	マクロのまま、遠くのものを撮影しようとしていませんか？	マクロを解除してください。		
	ピントを合わせられません。	オートフォーカスの苦手な被写体 (P.50) を撮影しようとしていませんか？	AF/AE ロック撮影してください。	50



症状	ここをチェック！	処置	頁	
パノラマ撮影について	シャッターボタンを押してもパノラマ撮影できません。	インジケータランプが橙色に点灯していませんか？	インジケータランプが消灯するまでお待ちください。	12
顔キレイナビ (顔検出機能) について	顔キレイナビ (顔検出機能) が設定できません。	顔キレイナビ (顔検出機能) が設定できない撮影モードになっていませんか？	撮影モードを変更してください。	35
		サングラス、帽子や前髪などで顔の一部が隠れていませんか？	なるべく顔の全体が見えるようにしてください。	70
	顔を検出できません。	撮影したい人物の顔が、構図内で小さすぎませんか？	顔が大きく写るようにもうすこし近づいて撮影してください。	
		人物の顔が横向きまたは斜めに傾いていませんか？	顔が正面を向いているほうが、検出しやすくなります。	
		カメラが傾いていませんか？	カメラをまっすぐに構えたほうが、検出しやすくなります。	—
		人物の顔が暗くないですか？	できるだけ明るい条件で撮影してください。	—
ピントを合わせたい顔にピントが合いません。	複数の顔が検出されているときに、中央付近にない顔にピントを合わせようとしていませんか？	合わせたい顔が画面の中央に来るように構図を変えてください。構図を変えたくない場合は、顔キレイナビを使わずに AF/AE ロック撮影してください。	50	
マクロ (近距離) について	マクロ (近距離) が設定できません。	マクロが設定できない撮影モードになっていませんか？	撮影モードを変更してください。	35

症状		ここをチェック！	処置	📖
フラッシュについて	フラッシュが発光しません。	フラッシュが発光しない撮影モードになっていませんか？	撮影モードを変更してください。	35
		バッテリー残量が少なくなっていますか？	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。	19、24
		連写が設定されていませんか？	 <b>連写</b> を  に設定してください。	59
		マナーモードに設定されていませんか？	マナーモードを解除してください。	130
		フラッシュが閉じていませんか？	フラッシュをポップアップしてください。	53
	使いたいフラッシュ設定を選べません。	使いたいフラッシュを選べない撮影モードになっていませんか？	撮影モードを変更してください。	35
		マナーモードに設定されていませんか？	マナーモードを解除してください。	130
	フラッシュが発光したのに撮影した画像が暗いです。	被写体から離れすぎていませんか？	フラッシュ撮影可能距離内で撮影してください。	162
		フラッシュを指などでふさいでいませんか？	カメラを正しく構えてください。	31
		高速シャッタースピードで撮影していませんか？	シャッタースピードが 1/1000 秒より高速の場合は、フラッシュを発光しても暗くなる場合があります。シャッタースピードを 1/1000 秒以下に設定してください。	45、46

症状		ここをチェック！	処置	📖
撮影した 画像の異常に ついて	画像がぼやけて います。	レンズに指紋などの汚れがついて いませんか？	レンズを清掃してください。	—
		レンズに指などがかかっています か？	レンズに指がかからないようにして ください。	31
		撮影時に AF フレーム（赤点灯）と <b>!AF</b> が表示されていませんか？	しっかりとピントを合わせてから撮 影してください。	32
		撮影時に <b>!</b> が表示されていま せんでしたか？	手ブレの可能性があります。フラッ シュ撮影をするか、三脚を使用し てください。	54
	画像に点状のノ イズがあります。	気温の高いところでスローシャッ ター（長時間露光）撮影しませんでした か？	撮像素子の特性によるもので、故障 ではありません。	—
画像にノイズが 撮影されます。	高温環境で連続使用をしていま せんか？ 温度警告が表示されていま せんでしたか？	しばらく電源オフにしたあとでご利用 ください。	13、 27、 158	
位置情報に ついて	実際と異なる緯 度経度情報が表 示されます。	位置情報を取得した場所から移動し ませんでしたか？	位置情報を再取得してください。	—

## ■ 動画時

症状		ここをチェック！	処置	📖
動画撮影に ついて	カメラの動作音 が気になります。	<b>📹</b> 動画設定の動画フォーカスモ ードが <b>🔄</b> コンティニュースに設定さ れていませんか？	動画フォーカスモードを <b>📹</b> セン ター固定に設定してください。	116
		ズーム操作していませんか？	ズームを固定して撮影してください。	—
		顔キレイナビをオンにしてい ませんか？	顔キレイナビをオフにしてくだ さい。	70



■ 再生時

症状		ここをチェック！	処置	📖
1 コマ再生について	画像が粗く表示されます。	他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像はきれいに表示できないことがあります。	—
	拡大表示できません。	他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像は再生ズームができないことがあります。	—
動画再生について	カメラから音が出ません。	カメラの再生音量の設定が小さくなっていませんか？	再生音量を調節してください。	131
		撮影 / 録音中にマイクを手などでふさいでいませんか？	撮影 / 録音時はマイクをふさがないようにしてください。	83
消去について	選択した画像を消去できません。全コマ消去したのに画像が残っています。	再生中にスピーカーを手などでふさいでいませんか？	再生中はスピーカーをふさがないようにしてください。	85
		プロテクトされていますか？	プロテクトを解除してください。プロテクトを解除するときは、プロテクトを行ったカメラをお使いください。	123
コマ NO. について	コマ NO. の連番が機能しません。	バッテリーやメモリーカードを交換するときに電源を切らずにバッテリーカバーを開けませんでしたか？	バッテリーやメモリーカードを交換するときは、必ず電源をオフにしてください。電源を切らずにバッテリーカバーを開けると、コマ NO. の連番が機能しないことがあります。	—

■ 接続時

症状		ここをチェック！	処置	📖
テレビとの接続について	テレビに画像、音声が出ません。	カメラとテレビが正しく接続できていますか？	確認して正しく接続し直してください。	87
		テレビの入力が「テレビ」になっていませんか？	テレビの入力を「HDMI」にしてください。	—
		テレビの音量が小さくなっていませんか？	テレビの音量を調節してください。	—
パソコンとの接続について	パソコンがカメラを認識しません。 撮影した RAW または JPEG などの画像ファイルがパソコンに取り込めません。	USB ケーブルが正しく接続されていますか？	確認して正しく接続し直してください。	94
		MyFinePix Studio を使わずに、カメラからパソコンに画像を取り込もうとしていませんか？	付属のソフトウェア（Windows: MyFinePix Studio）を使って、画像を取り込んでください。	88
プリンターとの接続について	接続したのにプリントできません。 1 枚ずつしかプリントされません。 日時が印字されません。	USB ケーブルが正しく接続されていますか？	確認して正しく接続し直してください。	97
		プリンターの電源は入っていますか？	プリンターの電源を入れてください。	—
		PictBridge 対応のプリンターでプリントしていますか？	プリンターの仕様やプリントサービスによっては、各画像を 1 枚ずつしかプリントできないことがあります。また、日付が入らないことがあります。	—

## ■ スマートフォン通信時

症状	ここをチェック！	処置	📖
スマートフォンと接続できません。	スマートフォンとの距離が離れていませんか？	スマートフォンを近づけてご使用ください。	
スマートフォンとの接続 / 送信に時間がかかります。 画像送信が途中で失敗 / 切断します。	電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くでご使用されていませんか？	それらの機器から離れてご使用ください。	
スマートフォンに送信できません。	相手先のスマートフォンがすでに別のカメラと接続していませんか？	スマートフォンもカメラも一度に接続できる相手は 1 台のみです。別のカメラとの接続を終了してから、やり直してください。	
	スマートフォンが近距離に複数台ありませんか？	操作をはじめからやり直してください。 周囲に複数台のスマートフォンがあると、つながりにくい場合があります。	
スマートフォンで受信した画像が開けません。	動画や他のカメラで撮影した画像が選択されていませんか？	このカメラで撮影した画像を送信してください。他のカメラで撮影した画像は送信できない場合があります。動画は送信できません。	
	📶 <b>ワイヤレス設定のスマートフォン送信時</b>  <b>圧縮を OFF</b> に設定していませんか？	スマートフォン送信時  <b>圧縮を ON</b> にしてください。また、スマートフォンによっては画像が大きすぎて開けない場合があります。	

\* 無線 LAN 機能の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。








<http://app.fujifilm-dsc.com/>

■ その他

症状		ここをチェック！	処置	📖
カメラの動作などについて	カメラのボタンなどを操作しても動きません。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、再び取り付け直してから操作してください。	19、21
		バッテリーの消耗が原因として考えられます。	新しいバッテリーまたは充電済みのバッテリーと交換してください。	19、24
		無線 LAN に接続していませんか？	無線 LAN を解除してください。	—
	カメラが正常に作動しなくなっていました。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、再び取り付け直してから操作してください。それでも正常に作動しないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。	19、21、178
音について	音が出ません。	マナーモードに設定されていませんか？	マナーモードを解除してください。	130
液晶モニターについて	色や表示が普段と違います。	<input checked="" type="checkbox"/> <b>表示設定のモニター晴天モードが ON になっていませんか？</b>	<b>モニター晴天モードを OFF に設定してください。</b>	15
日付と時刻について	<input checked="" type="checkbox"/> <b>保存設定の日付書き込み</b> で写し込んだ日付が正しくない。	日時設定は正しく設定されていますか？	日時設定をやり直してください。	28、129
	撮影画像に日付や時刻が入っている。	<input checked="" type="checkbox"/> <b>保存設定の日付書き込み</b> が設定されていませんか？	写し込まれた日付や時刻は消去できません。日付や時刻がない画像を撮影する場合は、 <b>日付書き込みを OFF</b> に設定してから撮影してください。	137

## 警告表示

液晶モニターに表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処置
 (赤点灯)	充電できません。	143 ページをご覧ください。
 (赤点灯)	バッテリーの残量が少なくなっています。	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。
 (赤点滅)	バッテリーの残量がありません。	
	シャッタースピードが遅く、手ブレを発生しやすい状態です。	フラッシュ撮影してください。ただし撮影シーンやモードによっては、三脚のご使用をおすすめします。
<b>!AF</b> (赤点灯) AF フレームの形は撮影メニューの設定によって異なります	ピント合わせができません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>AF/AE ロック機能を使って、同じ距離の他の被写体にピントを合わせてから、構図を変えてください (P.50)。</li> <li>近距離撮影の場合は、 マクロを設定してください。</li> </ul>
絞り、シャッター速度表示 (赤点灯)	被写体が明るすぎる、または暗すぎるために適正な明るさで撮影できません。	被写体が暗いときは、フラッシュを使ってください。ただし、適切な明るさ (露出) ではありませんが撮影できます。
フォーカスエラー または 電源を入れ直してください レンズ制御エラー	カメラが誤作動または故障しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源を入れ直してください。</li> <li>電源のオン/オフを繰り返してください。それでも警告表示が消えないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。</li> </ul>
	レンズ駆動部に触れています。	レンズ駆動部に触れないようにしてください。レンズ位置が自動調整されます。
カードがありません	メモリーカードが入っていない状態で  画像コピーを選びました。	カメラにメモリーカードを入れてください。
	カメラの温度が上昇しています。そのまま撮影すると、自動的にカメラの電源がオフになります。	電源をオフにして、しばらくたってからご使用ください。



警告表示	警告内容	処置
フォーマット されていません	メモリーカードまたは内蔵メモリーがフォーマットされていません。	メモリーカードまたは内蔵メモリーをカメラでフォーマットしてください(☎139)。
	メモリーカードがパソコンでフォーマットされています。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください(☎139)。
	メモリーカードの接触面(金色の部分)が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります(☎139)。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
カードエラー	メモリーカードがカメラでフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください(☎139)。
	メモリーカードの接触面(金色の部分)が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります(☎139)。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	非対応のメモリーカードです。	弊社動作確認済みのメモリーカードを挿入してください。
	メモリーカードが壊れています。	
プロテクトされたカードです	メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。	メモリーカードの書き込み禁止スイッチを元に戻し、誤記録防止のロックを外してください(☎22)。
動画記録できません	パソコンでフォーマットしたメモリーカードのため、動画記録が間に合いません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください(☎139)。

警告表示	警告内容	処置
空き容量がありません	メモリーカードまたは内蔵メモリーに空き容量がないため、画像を記録 / コピーできません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
メモリーがいっぱいでカードを入れてください	画像を記録する空き容量がありません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
記録できませんでした	メモリーカードまたは内蔵メモリーがフォーマットされていません。	メモリーカードまたは内蔵メモリーをカメラでフォーマットしてください (P.139)。
	メモリーカードとカメラ本体の接触異常またはメモリーカードの異常のため記録できません。	メモリーカードを入れ直すが電源の <b>ON/OFF</b> を繰り返してください。それでも警告表示が消えないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
再生できません	正常に記録されていないファイルを再生しようとしてしました。もしくは他のカメラで記録した静止画または動画を再生しようとしてしました。	このファイルは再生できません。
	メモリーカードの接触面 (金色の部分) が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります (P.139)。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
枚数制限をこえています	30000 枚以上の画像をピックアップしようとしてしました。	30000 枚以上の画像はピックアップできません。
	複数指定消去を枚数制限以上の画像で実行しようとしてしました。	999 枚を超える画像では、複数指定消去は実行できません。

警告表示	警告内容	処置
コマ NO. の上限です	コマ NO. が「999-9999」に達しているため、これ以上撮影できません。	フォーマットしたメモリーカードをカメラに入れて、 <b>保存設定のコマ NO.</b> を新規に設定します。撮影すると、コマ No. が「100-0001」から付けられます。 <b>コマ NO.</b> を連番に戻すと、引き続き撮影できます。
プロテクトされています	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロテクトされているファイルを消去しようとした。</li> <li>プロテクトされているファイルを回転しようとした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロテクトしたファイルは消去 / 回転できません。プロテクトを解除してください (123)。</li> </ul>
画像がありません	メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像がないときに、メモリーカードまたは内蔵メモリーへ画像をコピーしようとした。	コピーする画像がないため、画像をコピーすることはできません。
<b>640</b> トリミングできません	<b>640</b> の画像をトリミングしようとした。	
トリミングできません	他のカメラで撮影した画像または壊れた画像をトリミングしようとした。	これらの画像はトリミングできません。
これ以上予約できません	DPOF のコマ設定で 1000 コマ以上のプリント指定をしました。	同一メモリーカード内でプリント指定できるコマ数は 999 コマまでです。別のメモリーカードにプリント予約したい画像をコピーして、プリント予約してください。
<b>M</b> 実行できません	<b>M</b> 、 <b>S</b> 、 <b>640</b> の画像を <b>M</b> にリサイズしようとした。	
<b>S</b> 実行できません	<b>S</b> 、 <b>640</b> の画像を <b>S</b> にリサイズしようとした。	これらの場合、リサイズはできません。
<b>640</b> 実行できません	<b>640</b> の画像を <b>640</b> にリサイズしようとした。	
設定できません 設定できません	プリント予約できない画像または動画にプリント予約しようとした。	プリント予約できません。

警告表示	警告内容	処置
回転できません 🔒 回転できません	他のカメラで撮影した画像または動画を回転しようとした。	回転できません。
🔒 実行できません	他のカメラで撮影した画像、動画、または再生できない画像を赤目補正しようとした。	これらの画像、動画は赤目補正できません。
🔒 実行できません		
接続できませんでした	パソコンまたはプリンターとの通信ができませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> <li>パソコンまたはプリンターの電源が入っているか確認してください。</li> <li>パソコンまたは USB ケーブルの接続を確認してください。</li> <li>赤外線通信の場合は、カメラや他の機器の画像送受信範囲内から送受信してください。</li> </ul>
プリンターエラー	用紙またはインクが切れているか、その他のプリンターエラーが発生しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。</li> <li>プリンターの電源をいったん切ってから、再び入れてください。</li> <li>お使いのプリンターの使用説明書をお読みください。</li> </ul>
プリンターエラー 再開しますか？	用紙またはインクが切れているか、その他のプリンターエラーが発生しています。	プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。プリンターエラーを解消すると自動的にプリントが再開されます。確認後もエラーメッセージが消えない場合は <b>MENU/OK</b> ボタンを押して、プリントを再開してください。
プリントできません	他のカメラで撮影した画像またはプリンターが画像フォーマットに対応していない画像をプリントしようとした。	<ul style="list-style-type: none"> <li>お使いのプリンターの使用説明書をご覧になり、プリンターが JFIF-JPEG、Exif-JPEG 形式の画像フォーマットに対応しているかご確認ください。対応していない場合はプリントできません。</li> <li>このカメラで撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。</li> </ul>

警告表示	警告内容	処置
プリントできないコマです	他のカメラで撮影した画像（罫） または動画をプリントしようとして しました。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 動画はプリントできません。</li><li>• このカメラで撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。</li></ul>

# 仕様

## メモリーカードの標準撮影枚数 / 記録時間

標準撮影枚数および撮影時間は目安です。実際の撮影枚数および撮影時間は、撮影条件やメモリーカードの種類により変動します。また、液晶モニターに表示される記録枚数・時間は規則正しく減少しないことがあります。メモリーカードなしでも、数枚程度の試し撮りは可能です。

### ■ 静止画

		L				M				S				RAW
		4:3	3:2	16:9	1:1	4:3	3:2	16:9	1:1	4:3	3:2	16:9	1:1	
4GB	FINE	800	900	1060	1060	1280	1450	1690	1690	2360	2620	3440	3090	200
	NORMAL	1260	1410	1670	1670	2460	2800	3250	3250	4460	5020	6340	5740	
8GB	FINE	1590	1800	2120	2120	2540	2880	3370	3370	4700	5210	6840	6140	410
	NORMAL	2520	2810	3320	3320	4890	5570	6470	6470	8870	9980	12610	11410	

### ■ 動画

HD 動画、ハイスピード動画を撮影するときは、CLASS10<sup>®</sup> 以上のメモリーカードをご使用ください。

	<b>FHD</b> 1920 × 1080 (60fps) <sup>*1</sup>	<b>HD</b> 1280 × 720 (60fps) <sup>*2</sup>	<b>640</b> 640 × 480 (30fps) <sup>*3</sup>	<b>HS</b> 640 × 480 (80fps) <sup>*4</sup>	<b>HS</b> 320 × 240 (150fps) <sup>*4</sup>	<b>HS</b> 320 × 112 (250fps) <sup>*4</sup>
4GB	13 分	25 分	112 分	83 分	167 分	83 分
8GB	26 分	51 分	223 分	166 分	332 分	166 分

\*1 連続して記録する場合、約 14 分で自動的に撮影を停止します。

\*2 連続して記録する場合、約 27 分で自動的に撮影を停止します。

\*3 連続して記録する場合、約 115 分で自動的に撮影を停止します。

\*4 連続して記録する場合、約 30 秒で自動的に撮影を停止します。



### ● 温度保護機能について

カメラやバッテリーの温度が上昇すると、カメラを保護するために自動的に電源がオフになる場合があります。温度警告が表示された場合は、画像にノイズが多くなる可能性があります。一度、電源をオフにし、しばらくたってからご使用ください (P.152)


# 主な仕様

## システム

型番	XQ2
有効画素数	1200万画素
撮像素子	2/3型 X-Trans CMOS II 原色フィルター採用
記録メディア	・内蔵メモリー (約 66MB) ・SD/SDHC/SDXCメモリーカード (弊社推奨品)
記録方式	・静止画：DCF 準拠 圧縮：Exif Ver.2.3 JPEG 準拠 /DPOF 対応 非圧縮：RAW (RAF 独自フォーマット、専用のソフトウェアが必要)、 RAW+JPEG 記録あり ・動画：MOV 形式 画像：H.264 規格準拠 音声：リニア PCM (ステレオ)










記録画素数 (ピクセル)	・ <b>L</b> 4:3 (4000 × 3000) ・ <b>L</b> 3:2 (4000 × 2664) ・ <b>L</b> 16:9 (4000 × 2248) ・ <b>L</b> 1:1 (2992 × 2992) ・ <b>M</b> 4:3 (2816 × 2112) ・ <b>M</b> 3:2 (2816 × 1864) ・ <b>M</b> 16:9 (2816 × 1584) ・ <b>M</b> 1:1 (2112 × 2112) ・ <b>S</b> 4:3 (2048 × 1536) ・ <b>S</b> 3:2 (2048 × 1360) ・ <b>S</b> 16:9 (1920 × 1080) ・ <b>S</b> 1:1 (1536 × 1536) ・  ぐるっとパノラマ <b>360</b> : (11520 × 1624 : 縦)、(11520 × 1080 : 横) ・  ぐるっとパノラマ <b>180</b> : (5760 × 1624 : 縦)、(5760 × 1080 : 横) ・  ぐるっとパノラマ <b>120</b> : (3840 × 1624 : 縦)、(3840 × 1080 : 横) ・  ぐるっとパノラマ <b>60</b> : (11520 × 1624 : 縦)、(11520 × 1080 : 横)
-----------------	---

レンズ	・名称：フジノン光学式 4 倍ズームレンズ ・焦点距離：f=6.4mm ~ 25.6mm (35mm フィルム換算：約 25mm ~ 約 100mm 相当) ・開放 F 値：F1.8 (広角) ~ F4.9 (望遠)
-----	---

デジタルズーム	超解像ズーム 約 4 倍 (光学 4 倍ズームと併用 最大約 16 倍)
絞り	F1.8 ~ F11 (広角)、F4.9 ~ F11 (望遠) 1/3EV ステップ
撮影可能範囲	・標準：[広角] 約 50cm ~ ∞、[望遠] 約 80cm ~ ∞ (レンズ先端面から) ・  (マクロ)：[広角] 約 3cm ~ 約 3.0m、[望遠] 約 50cm ~ 約 3.0m の距離)






システム		
連写	選択可能な連写速度 <sup>*1</sup> (コマ / 秒 [fps]) JPEG	連続記録枚数 <sup>*2</sup>
 (L 連写) <sup>*3</sup>	3.0	200 コマ ( <b>L M S</b> )
 (M 連写)	6.0	14 コマ ( <b>L M S</b> )
 (H 連写)	9.0	11 コマ ( <b>L M S</b> )
 (SH 連写)	12.0	9 コマ ( <b>L M S</b> )
 (前後撮り連写) <sup>*3</sup>	3.0、6.0、9.0、12.0	8 コマ ( <b>L M S</b> )
 (AE ブラケットिंग)	—	設定した設定値で適正、オーバー、アンダーの 3 コマ
 (ISO ブラケットिंग)		ISO 感度を変化させた 3 コマ
 (フィルムシミュレーションブラケットिंग)		<b>STD</b> 、 <b>VF</b> 、 <b>SF</b> 、 <b>CF</b> 、 <b>BF</b> 、 <b>B7</b> 、 <b>BR</b> 、 <b>SR</b> 、 <b>SR</b> の中から 3 コマ
 (ダイナミックレンジブラケットिंग)		<b>R100</b> 100%、 <b>R200</b> 200%、 <b>R400</b> 400% の 3 コマ

\*1 連写速度は、撮影環境や連続撮影枚数によって変わります。

\*2 CLASS10 以上のメモリーカード使用時です。

\*3 フォーカスモードがコンティニュアスの場合、 ではピントや露出を自動で変えながら撮影します。シングルの場合とは連写速度が異なります。

システム

フォーカス

- ・ **モード**：シングル AF/ コンティニュアス AF/ マニュアルフォーカス
- ・ **AF 方式**：インテリジェントハイブリッド AF (TTL コントラスト AF + 位相差 AF)、AF 補助光付き
- ・ **AF フレーム選択**：オートエリア / エリア選択 / 自動追尾

ホワイトバランス

シーン自動認識オート / プリセット (晴天 / 日陰 / 昼天色蛍光灯 / 昼白色蛍光灯 / 白色蛍光灯 / 電球 / 水中) / カスタム / 色温度

セルフタイマー

OFF / 2 秒 / 10 秒

フラッシュ

- ・ **方式**：手動ポップアップ方式
- ・ **撮影可能範囲 (感度：800 時)**：
  - [広角]：約 50cm ~ 約 7.4m (ただし近距離では、レンズの影が映ることがあります)
  - [望遠]：約 80cm ~ 約 2.7m
- ・ **光量補正**：± 2EV 約 1/3EV ステップ

フラッシュ発光

- ・ **赤目補正 OFF 時**：AUTO / 強制発光 / 発光禁止 / スローシンクロ
- ・ **赤目補正 ON 時**：赤目軽減 AUTO / 赤目軽減 + 強制発光 / 発光禁止 / 赤目軽減 + スローシンクロ

液晶モニター

3.0 型 カラー液晶モニター 約 92 万ドット (視野率 約 100%)

動画

- ・ **HD 1920 × 1080** (1080p)：60 フレーム / 秒 \*
  - ・ **FHD 1920 × 1080** (1080p)：30 フレーム / 秒 \*
  - ・ **HD 1280 × 720** (720p)：60 フレーム / 秒 \*
  - ・ **HD 1280 × 720** (720p)：30 フレーム / 秒 \*
  - ・ **640 640 × 480** (VGA)：30 フレーム / 秒 \*
  - ・ **HS 640 × 480**：80 フレーム / 秒
  - ・ **HS 320 × 240**：150 フレーム / 秒
  - ・ **HS 320 × 112**：250 フレーム / 秒
- \* 音声付き (ステレオ)

## 入出力端子

デジタル入出力 USB2.0 High-Speed、MTP/PTP 接続

HDMI 出力 マイクロ HDMI 端子


## 電源部、その他

電源 充電式バッテリー NP-48 (付属)

バッテリー作動可能 ・ バッテリーの種類：NP-48

枚数の目安

・ 撮影枚数：約 240 枚

CIPA 規格による。撮影モードは  (オート) 時、バッテリーは付属のもの、記録メディアは SD メモリーカードを使用し測定。

\* 注意：バッテリーの充電容量により撮影可能枚数の変動があるため、ここに示すバッテリー作動可能枚数を保証するものではありません。低温時ではバッテリー作動可能枚数が少なくなります。

充電時間 約 140 分 (+ 20°Cにおいて)

外形寸法 100.0mm × 58.5mm × 33.3mm (幅×高さ×奥行き)

撮影時質量 約 206 g (付属バッテリー、メモリーカード含む)

質量 約 187 g (付属バッテリー、メモリーカード含まず)

動作環境 温度：0°C～+ 40°C

湿度：10～80% (結露しないこと)

## ワイヤレス転送部

準拠規格 IEEE802.11b/g/n (無線 LAN 標準プロトコル)

使用周波数範囲 アメリカ・カナダ・台湾：2412MHz～2462MHz (11ch)

(中心周波数) アメリカ・カナダ・台湾以外：2412MHz～2472MHz (13ch)

アクセス方式 インフラストラクチャーモード

#### バッテリー NP-48

公称電圧	3.6V
公称容量	1010mAh
使用温度	0℃～+ 40℃
外形寸法	28.1mm × 40.8mm × 8.1mm (幅×高さ×厚み)
質量	約 18g

#### AC パワーアダプター AC-5VT

定格入力	AC100V～240V 50/60Hz
入力容量	11.6VA (100V) 15.5VA (240V)
定格出力	DC5.0V 1000mA
使用温度	0℃～+ 40℃
質量	約 32g (本体のみ)

※ 質量・外形寸法は、仕向け国によって異なります。

- ① 仕様、性能は、予告なく変更することがあります。変更情報は <http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/index.html/> をご覧ください。  
使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。

# 各撮影モードで使用できる機能について

各撮影モードで使用できる機能は以下のとおりです。

		Adv.								SP																		
		Filter	P	S	A	M																						
☺	OFF	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	☺	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
☺	AUTO	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	OFF	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	⑤	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	⑥	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	⑦	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	⑧	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
☺	ON	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	⑨	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	⑩	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	⑪	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	⑫	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	⑬	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	⑭	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	⑮	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	⑯	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	⑰	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
☺	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
☺ (☺)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	





## リンク集

富士フィルムでは、デジタルカメラに関するさまざまな情報をホームページで紹介しています。是非、アクセスしてみてください。

### FUJIFILM XQ2 製品情報

製品情報サイトでは、サポート情報やアクセサリなどがご覧になれます。

富士フィルム XQ2



### 撮影の基礎知識

撮影シーンに合わせたレンズの選び方や焦点距離や露出値などのコントロール方法が記載されています。

富士フィルム 撮影の基礎知識



### デジタルカメラ撮影ガイド

色んなシーンの撮影方法が記載されています。

富士フィルム 撮影ガイド



### FUJIFILM 無料アプリケーション

富士フィルムが提供する無料のアプリケーションを使えば、スマートフォン/タブレット/パソコンで写真の楽しみ方が広がります。

<http://fujifilm-dsc.com/>

富士フィルム Wi-Fi アプリ



MyFinePix Studio の最新版は以下をご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/mfs/>

富士フィルム マイファインピックススタジオ



RAW FILE CONVERTER の最新版は以下をご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/rfc/>

富士フィルム RAW ファイルコンバーター





# お取り扱いにご注意ください

## ご使用前に必ずお読みください

### 安全上のご注意


- このたびは弊社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。  
• ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。  
• お読みになったあとは大切に保管してください。


表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。


**警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

**注意** この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

### 警告

異常が起きたら電源を切り、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外す。

煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

• お買上げ店にご相談ください。

内部に水や異物を落とさない。

水・異物が内部に入ったら、電源を切り、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外す。

そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。

• お買上げ店にご相談ください。

風呂、シャワー室では使用しない。

火災・感電の原因になります。



分解禁止

分解や改造は絶対しない（ケースは絶対に開けない）。  
火災・感電の原因になります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。

感電したり、破損だけがををする原因になります。

• 感電やけがに注意して速やかに電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店にご相談ください。

接続コードの上に重いものをのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。

コードに傷がついて、火災・感電の原因になります。

• コードに傷がついた場合は、お買上げ店にご相談ください。

不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。

移動中の使用はしない。

歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの撮影、再生などの操作はしないでください。

転倒、交通事故などの原因になります。

雷が鳴りだしたら金属部分に触れない。

落雷すると誘電雷により感電の原因になります。

指定外の方法で電池・バッテリーを使用しない。

電池は極性(+)(-)表示どおりに入れてください。

電池・バッテリーを分解、加工、加熱しない。

電池・バッテリーを落としたり、衝撃を加えない。

リチウム電池やアルカリ電池は充電しない。

電池・バッテリーをショートさせない。

電池・バッテリーを金属製品と一緒に保管しない。

バッテリーを指定以外の充電器で充電しない。

電池・バッテリーの破裂・液漏れにより、火災・けがの原因になります。

指定外の電池・バッテリーや AC パワーアダプターを使用しない。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。

火災の原因になります。



電源プラグを抜く



水ぬれ禁止



風呂、シャワー室での使用禁止

## お取り扱いにご注意ください



電池・バッテリーの液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣類に付着したときは、失明やけがの恐れがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。



バッテリーが正しく交換されていないと、爆発の危険があります。交換には同一または同タイプのものだけを使用してください。



可燃性 / 爆発性ガス / 粉塵のある場所で使用しない。



電池・バッテリーを廃棄する場合や保存する場合には、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープをはる。

・他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因になります。



メモリーカードは、乳幼児に触れさせないこと。  
メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手が届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



混雑した場所（満員電車の中など）では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので、電源を切る。



本製品からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える可能性があります。

自動制御機器（自動ドアや火災報知機など）の近くでは電源を切る。



本製品からの電波が自動制御機器に影響を与える可能性があります。誤動作による事故の原因になります。



心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から22 cm以上離すこと。

本製品からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

### ⚠ 注意



油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。  
火災・感電の原因になることがあります。



異常な高温になる場所に置かない。  
窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。  
火災の原因になることがあります。



小さいお子様の手の届くところに置かない。  
けがの原因になることがあります。



本製品の上に重いものを置かない。  
バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。



AC パワーアダプターを接続したまま移動しない。AC パワーアダプターを抜くときは、接続コードを引っ張らない。電源コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。



電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。  
火災・感電の原因になることがあります。



本製品や AC パワーアダプターや充電器を布や布団で覆ったりしない。  
熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。



お手入れの際や長時間使用しないときは、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外し、電源プラグを抜く。  
火災・感電の原因になることがあります。



充電終了後は充電器をコンセントから抜く。  
コンセントに充てたまにしておくと火災の原因になることがあります。



フラッシュを人の目に近づけて発光させない。  
一時的に視力に影響することがあります。  
特に乳幼児を撮影するときは気を付けてください。



メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び出す場合がありますので、指で受け止めたあとにカードを引き抜くこと。  
飛び出したカードが当たり、けがの原因になることがあります。



定期的な内部点検・清掃を依頼する。  
本製品の内部にほこりがたまり、火災や故障の原因になることがあります。

・2年に1度くらいは、内部清掃をお買上げ店にご依頼ください。



フラッシュ発光部に指などを触れたまま発光しないこと。  
やけどの危険があります。



フラッシュ発光部を汚したり、物でふさいだまま発光しないこと。  
発煙や変色の原因になります。

### 電源についてのご注意

※ご使用になるカメラの電池の種類をお確かめの上お読みください。

電池・バッテリーを上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、電池・バッテリーの寿命が短くなるばかりか、液漏れ、発熱・発火の恐れがあります。

### 充電式リチウムイオンバッテリー使用機種

※バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

※バッテリーを持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、ソフトケースに入れてください。

#### ■バッテリーの特性

- バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1～2日前）に充電したバッテリーを用意してください。
- バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。
- 寒冷地や低温時では撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。

#### ■充電について

- 充電は周囲の温度が5℃～+40℃の範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。
- +10℃～+35℃の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなる場合があります。充電は+10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。
- 充電式リチウムイオンバッテリーは充電の前に放電したり、使い切りする必要はありません。
- 充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つことがあります。異常ではありません。
- 充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

### ■ バッテリーの寿命について

常温で使用した場合、約 300 回繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

### ■ 保存上のご注意

- 充電された状態で長期間保存すると、特性が劣化することがあります。しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。
- 涼しいところで保存してください。
  - 周囲の温度が +15℃～+25℃ くらいの乾燥したところをおすすめします。
  - 暑いところや極端に寒いところは避けてください。

### ⚠ 危険ですので、次のことにご注意ください



バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようにしてください。



火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。



分解したり、改造したりしないでください。

- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 水にぬらさないようご注意ください。
- 端子は常にきれいにしておいてください。
- 長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生には AC パワーアダプターをお使いください。

### ■ 電池の廃棄について

- 電池を捨てるときは、地域の条例にしたがって処分してください。

### ■ 小形充電式電池のリサイクルについて



小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどをはるか、個別にポリ袋に入れて最寄りのリサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてください。詳細は、「一般社団法人 JBR」のホームページをご確認ください。 <http://www.jbrc.net/hp/contents/jbrc/index.html>

### ■ AC パワーアダプター使用機種

- 必ず専用の AC パワーアダプターをお使いください。弊社専用以外の AC パワーアダプターをお使いになるとカメラが故障する原因になることがあります。AC パワーアダプターに関する詳細は、取扱説明書をご参照ください。
- 室内専用です。
- DC 入力端子へ、接続コードのプラグをしっかりと差し込んでください。
- DC 入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- AC パワーアダプターは、指定の機器以外には使用しないでください。
- 使用中、AC パワーアダプターが熱くなるとありますが故障ではありません。
- 分解したりしないでください。危険です。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 内部で発振音がかかることがあります。異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

**ソフトウェアに関するご注意**

本製品に同梱されているCD-ROMを音楽用CDプレーヤーにかけないでください。耳に障害を負う恐れや、スピーカー、イヤホンなどを破損する恐れがあります。

お客様は日本国政府または該当国の政府より必要な許可などを得ることなしに「許諾ソフトウェア」の全体または一部を直接または間接的に輸出してはなりません。

**■ 使用説明書について**

使用説明書はパーソナルコンピューター（以下パソコンといいますが）とWindows、Macintoshの使用法に関する基本的な知識をお持ちになっていることを前提として書かれています。パソコンとWindows、Macintoshの使用法については、それぞれに付属のマニュアルをご覧ください。表示される画面やメニューが使用説明書と異なる場合がありますがご了承ください。

**カメラをお使いになる前のご注意****■ 撮影の前には試し撮りをしましょう**

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

※本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

**■ 著作権についてのご注意**

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむものの他は、著作権上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっていない画像やファイルの記録されたメモリーカードの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

**■ 製品の取り扱いについて**

画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。


**■ 液晶について**

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合：きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。

液晶パネルは非常に高精度の技術で作られておりますが、黒い点や常時点灯する点などが存在することがあります。これは故障ではなく、記録される画像には影響ありません。

**■ 商標について**

- 、XD-Picture Card™、xD-ピクチャーカード™ は富士フイルム（株）の商標です。
- DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、QuickTimeは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Windows 8、Windows 7、Windows Vista および Windows ロゴは、マイクロソフトグループの商標です。
- Wi-Fi® および、Wi-Fi Protected Setup™ はWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- SDHC ロゴ、SDXC ロゴはSD-3C.LLCの商標です。
- HDMI ロゴは商標です。
- YouTubeはGoogle Inc.の登録商標です。
- mixi は株式会社mixiの登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

**■ ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意**

- 本製品は、一般財団法人VCCI協会の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書にしたがって正しい取り扱いをしてください。
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

### カメラの使用上のご注意

カメラを強い光源（晴天時の太陽など）に向けしないでください。撮像素子が破損する場合があります。

#### ■避けて欲しい保存場所

次のような場所での本製品の使用・保管は避けてください。

- ・雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- ・直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- ・極端に寒いところ
- ・振動の激しいところ
- ・油煙や湯気の当たるところ
- ・強い電磁場の発生するところ（放送塔、送電線、レーダー、モーター、トランス、磁石のそばなど）
- ・防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

#### ■冠水、浸水、砂かぶりにご注意（防水機能付機種を除く）

水や砂は本製品の天敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本製品を置かないでください。水や砂が本製品の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

#### ■結露（つゆつき）にご注意

本製品を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本製品内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

#### ■長時間お使いにならないときは

本製品を長時間お使いにならないときは、バッテリーまたは電池、メモリーカードを取り外して保管してください。

#### ■カメラのお手入れ

- ・レンズ、液晶モニター表面などの汚れはブローブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。それでも取れないときは、フジフィルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽く拭いてください。
- ・レンズ、液晶モニター表面などは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- ・カメラ本体は、乾いた柔らかい布などで拭いてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料が剥がれるなどの原因になります。

#### ■海外で使うとき

- ・このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- ・海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

**メモリーカード / 内蔵メモリーについてのご注意**

詳細は、使用説明書をお読みください。

**■メモリーカード取り扱い上のご注意**

- メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- メモリーカードをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- メモリーカードの記録中、消去（フォーマット）中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メモリーカードが破壊されることがあります。
- 指定以外のメモリーカードはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- 強い静電気、電氣的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどに入れなくてください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- メモリーカードにはラベル類は一切はらないでください。メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

**■内蔵メモリーについて**

- 内蔵メモリー内の画像は、カメラ本体の故障などによりデータが壊れたり、消失することがあります。大切なファイルは別のメディア（ハードディスク、CD-R、CD-RW、DVD-R など）にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。
- 修理にお出しになった場合、内蔵メモリー内のデータについては保証できません。
- カメラ修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

**■メモリーカード、または内蔵メモリーをパソコンで使用する場合のご注意**

- パソコンで使用したあとのメモリーカード、または内蔵メモリーを使って撮影する場合は、カメラでフォーマットし直してください。
- カメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
- パソコンでメモリーカード、または内蔵メモリーのフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。メモリーカード、または内蔵メモリーがカメラで使用できなくなることがあります。
- 画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- 画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。

## お取り扱いにご注意ください

**重要!** 本製品に搭載されている無線 LAN をご使用になる前に必ずお読みください。

①本製品は、米国輸出規則 (EAR) の対象となり、米国禁輸出国への輸出や持ち出しには、米国商務省、財務省等当局の許可が必要となりますのでご注意ください。

### ■ 本製品は無線 LAN 機器としてお使いください。

無線 LAN 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。無線 LAN 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

### ■ 無線 LAN 機能はご購入求め頂いた国での利用を前提としています

本製品の無線 LAN 機能はご購入求め頂いた国の電波に関する法律に準拠しております。ご使用の際は、お使い頂く国の法律を順守してください。お買い求め頂いた国以外でのご使用上のトラブル等については、弊社では一切の責任を負いかねます。

### ■ 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。

電波によるデータ (画像) の送受信は傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

### ■ 磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。

本電子レンジ付近などの磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください (環境により電波が届かないことがあります)。また、2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

### ■ 使用周波数帯

本製品の、使用周波数は 2.4GHz 帯です。変調方式として DSSS、OFDM 変調方式を採用しています。

## 無線 LAN 機器使用上の注意事項

### ■ 本製品の使用する無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

・産業・科学・医療用機器

・工場内製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局

(1) 構内無線局 (免許を要する無線局)

(2) 特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)

### ■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに場所を変更するか、または電波の使用を停止してください。

その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サービスセンターへお問い合わせください。

**2.4DS/OF4**

本製品が 2.4GHz 周波数帯を使用する DSSS と OFDM 変調方式を採用した無線設備で、干渉距離が約 40 m であることを意味しています。



# ソフトウェアのお問い合わせについて

- 1 お問い合わせの前にお確かめください。**  
ソフトウェアのインストールや使い方は使用説明書（本書）やソフトウェアのヘルプから調べることができます。
- 2 富士フィルム製品 Q&A・お問い合わせ**  
<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/index.html> をご覧ください。
- 3 巻末のお問い合わせ先に FAX、電話でお問い合わせください。**  
より早く正確な回答のために、下記の情報をご用意ください。
  - ・カメラの機種名
  - ・ソフトウェアのバージョン
  - ・エラーメッセージ
  - ・どのようなときにトラブルが発生しますか？ / トラブルが発生する直前の操作は？ / カメラの状態は？ / トラブルが発生する頻度は？
  - ・ご使用の PC 機種名、OS バージョン、他の接続機器名

ご質問によっては回答するまでに時間を要する場合がありますので、あらかじめご了承ください。  
あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取り扱いについて」をご確認ください。

# アフターサービスについて

## 保証書

- ・保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。
- ・保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または修理サービスセンターにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

## 修理

### ■ 調子が悪いときはまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。使い方の問題か、故障か迷うときは、FinePix サポートセンターへお問い合わせください。電話番号が巻末に記載されています。

### ■ 故障と思われるときは

富士フィルム修理サービスセンターまたは当社サービスステーションに修理をご依頼ください。富士フィルム修理サービスセンター、サービスステーションのご案内が巻末にあります。

### ■ 修理ご依頼に際してのご注意

- ・本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- ・修理料金の見積をご希望の場合には、「修理依頼票」の「見積」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理を進めさせていただきます。なお、見積は有料となります。
- ・落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合もあります。
- ・内蔵メモリー内の画像は、カメラ本体の故障などによりデータが壊れたり、消失することがあります。大切なファイルは別のメディア（ハードディスク、CD-R、CD-RW、DVD-R など）にコピーして、バックアップしてください。修理に出すときには、内蔵メモリー内のデータは消してください。内部の基板交換等した場合、内蔵メモリー内のデータは保証できません。カメラ修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

## ■ 修理部品について

- 本製品の補修用部品は、製造打ち切り後 5 年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品に交換させていただきます場合もあります。
- 本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合があります。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

## 個人情報取り扱いについて

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取り扱います。

1. お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、FinePix サポートセンター等のお問い合わせ先、富士フィルム修理サービスセンターあるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

# 索引

## [アイコン]

- ▶ (再生) ボタン, 27, 71
- ☐ (消去) ボタン, 34
- (セルフタイマー) ボタン, 55
- ⊙ (動画撮影) ボタン, 82
- ⚡ (フラッシュ), 53
- ⬇ (マクロ) ボタン, 52
- ⓧ (露出補正) ボタン, 51
- E-Fn** (拡張ファンクション) ボタン, 56
- Wi-Fi** ボタン, 81
- .....
- 👤 ソフトフォーカス, 37
- 👤 ダイナミックトーン, 37
- 📷 トイカメラ, 37
- 👤 ハイキー, 37
- 👤 パートカラー (レッド), 38
- 👤 パートカラー (オレンジ), 38
- 👤 パートカラー (イエロー), 38
- 👤 パートカラー (グリーン), 38
- 👤 パートカラー (ブルー), 38
- 👤 パートカラー (パープル), 38
- 👤 ポップカラー, 37
- 👤 ミニチュア, 37
- 👤 ローキー, 37
- .....
- 📷 PROVIA/スタンダード, 107
- 📷 Velvia/ビビッド, 107
- 📷 ASTIA/ソフト, 107
- 📷 クラシッククローム, 107
- 📷 モノクロ (フィルターなし), 107
- 📷 モノクロ+Yeフィルター, 107
- 📷 モノクロ+Rフィルター, 107
- 📷 モノクロ+Gフィルター, 107
- 📷 セピア, 107
- .....
- 📷 アドバンストSRオート, 36
- Filter** アドバンストフィルター, 37
- Adv.** アドバンストモード, 38
- 📷 AUTO, 35
- C カスタム, 49
- 📷 ぐるっとパノラマ360, 39

## SP シーンポジション, 44

- 👤 人物, 44
- 🌊 水中, 44
- ❄️ スノー, 44
- 🏃 スポーツ, 44
- 📺 多重露出, 43
- 🎉 パーティー, 44
- ✍️ 花の接写, 44
- 🌸 花火, 44
- 🏖️ ビーチ, 44
- 👤 美肌, 44
- 🌄 風景, 44
- 📷 ほかにコントロール, 41
- 📷 文字の撮影, 44
- 📷 連写重ね撮り, 42
- 🌃 夜景, 44
- 🌃 夜景 (三脚), 44
- 🔥 タ焼け, 44
- .....
- 👤 (赤目軽減オートフラッシュ), 53
- 👤 (赤目軽減+強制発光), 53
- 👤 (赤目軽減+スローシンクロ), 53
- 👤 (強制発光), 53
- 👤 (スローシンクロ), 53
- 👤 (発光禁止), 53
- .....
- !AF** (AF 警告), 32, 152
- !i** (温度警告), 152, 158
- !** (手ブレ警告), 54, 152
- 📷 (内蔵メモリー記録), 13
- F** (フラッシュ発光警告), 54
- 📷 (プレゼント), 71
- 👤 (マナーモード), 130
- .....
- [数字]**
- [A ~ Z]**
- A (絞り優先), 46
- AC パワーアダプター, 24
- Adv. モード, 38
- AE 警告, 12
- AE ブラケットング, 59, 62

- AF モード, 113
- AF/AE ロック, 50
- AF (オートフォーカス), 32, 50
- AF 警告, 12, 32, 152
- AF 補助光, 83, 135
- DPOF 指定, 100
- E-Fn** ボタンカスタム設定, 56, 113
- HDMI ケーブル, 87, 127, 140
- instax SHARE, 118, 138, 140
- ISO (感度), 103
- ISO ブラケットング, 59, 63
- LCD (液晶モニター), 13, 162
- M (マニュアル), 45
- MF アシスト, 113
- MyFinePix Studio, 88
- P (プログラム), 47
- PictBridge (ピクトブリッジ), 97
- PC 保存, 118
- RAW, 106
- RAW FILE CONVERTER, 92
- RAW 現像, 121
- S (シャッター優先), 46
- SDHC メモリーカード, 4, 22
- SDXC メモリーカード, 4, 22
- SD メモリーカード, 4, 22
- USB 接続, 94, 97
- [あ]**
- 赤目現象, 54
- 赤目補正, 53, 123, 134
- 明るさ (画面), 132
- 明るさ (露出補正), 51
- アップロード先設定, 119
- アドバンストフィルター, 37, 103
- アドバンストモード, 38
- アフターサービス (修理), 178
- アベレージ (測光), 112
- アンインストール (ソフトウェア), 91, 93
- 位置情報設定, 131
- 色温度, 109
- 印刷 (プリント), 96

- イメージキャプチャ、93
- インジケータランプ、12
- インストール (ソフトウェア)、88, 92
- インテリジェントブレ防止、37, 111
- 液晶モニター (LCD)、13, 162
- エリア選択 (AF モード)、113
- オートエリア (AF モード)、113
- オート撮影 (📷)、35
- オートパワーオフ (自動電源 OFF)、133
- オートフォーカス (AF)、32, 50
- オートフラッシュ、53
- 音設定、131
- お店プリント、100
- 【か】**
- 海外で使うとき、174
- 顔キレナビ、70, 111
- 拡張ファンクション (E-Fn) ボタン、56
- 画質モード、106
- 合焦マーク、32, 65
- カスタムホワイトバランス、108
- カスタム保存、49, 116
- カスタムリセット、137
- 画像回転、125
- 画像コピー、126
- 画像サイズ、105
- 画面 (明るさの調整)、132
- 画面 (表示の切り換え)、16, 17
- 感度、103
- 逆光、36, 53, 82
- 強制発光、53
- 切り抜く (トリミング)、124
- 記録画素数、159
- ぐるっとパノラマ 360、38, 39, 79
- ぐるっとパノラマ (📷)、40, 79
- 警告表示、152
- 言語選択、28, 129
- 工場出荷設定、103
- コマ NO. (コマナンバー)、136
- コマンドダイヤル、11
- コンティニユアス AF (フォーカスモード)、64
- コンティニユアス (動画フォーカスモード)、116
- コントロールリング、11, 32, 57, 130
- 【さ】**
- 再生音量、131
- 再生画像選択、34, 71
- 再生ズーム、72
- 再生メニュー、117
- 再生モード、27, 34, 71
- 撮影画像表示、132
- 撮影可能範囲、159
- 撮影可能枚数、158
- 撮影情報表示、80
- 撮影メニュー、102
- 撮影モード、35, 165
- シーンアイコン、36, 82
- シーン選択、44, 103
- 自動起動 (ソフトウェア)、89
- 自動追尾 (AF モード)、113
- 自動電源 OFF (オートパワーオフ)、133
- 絞り優先 (撮影モード)、46
- シャッター音、131
- シャッター音量、131
- シャッタースピード、45, 46, 47, 160
- シャッターボタン、33
- シャッター優先 (撮影モード)、46
- 充電、24
- 修理、178
- 消去 (静止画)、34, 74, 118
- 消去 (動画)、85
- 焦点距離、159
- 消費電力設定、133
- 処理前画像記録、136
- シングル AF (フォーカスモード)、64
- スーパーiフラッシュ、53, 54
- ストラップ、3
- スポット (測光)、112
- スライドショー、120
- スローシンクロ、53
- 静止画撮影、30, 50
- 静止画優先、116
- 世界時計、129
- 節電、29, 133
- セットアップメニュー、129
- セルフタイマー、55
- セレクトボタン、9
- 全押し、33
- 前後撮り連写、59, 61
- センター固定 (動画 AF モード)、116
- 操作音量、131
- 測光、112
- 【た】**
- ダイナミックレンジ、106
- ダイナミックレンジ BKT (ブラケティング)、59, 63
- 多重露出、38, 43
- 縦横自動回転再生、132
- 超解像ズーム、135
- デジカメプリント、99, 140
- 手ブレ警告、12, 54, 152
- テレビ接続、87
- 電源、27
- 電子水準器、114, 115
- 動画フォーカスモード、116
- 動画再生、85
- 動画撮影、82
- 動画シーン認識、82
- 動画設定、84, 116
- 動画中静止画撮影、83, 116
- 動画モード、84, 116
- 動画優先、116
- 動作環境 (ソフトウェア)、88, 92
- トリミング (切り抜く)、124
- 【な～は】**
- 内蔵メモリー、13, 20
- 日時設定、28, 129
- 配色設定、132
- ハイパフォーマンス、29, 133
- ハイビジョンテレビ接続、87
- パソコン接続、94
- パソコン接続、53
- バッテリー、3, 15, 19, 141, 163

- バッテリー残量表示、15
- パノラマ再生、79
- パフォーマンス、29, 133
- 半押し、33
- ピクセル、159
- ピクチャーサーチ、76, 118
- ピクトブリッジ (PictBridge)、97
- 日付ありプリント (PictBridge)、98
- 日付あり設定 (プリント予約)、100
- 日付書き込み、137
- 表示設定、132
- 表示比率、127
- ピント、32, 50
- フィルムシミュレーション、107
- フィルムシミュレーション BKT (ブラケ  
ディング)、59, 63
- フォーカスエリア選択、68, 113
- フォーカスチェック、66, 130
- フォーカスモード、64
- フォーマット (初期化)、139
- フォトブックアシスト、77, 126
- 付属品、3
- フラッシュ、53
- フラッシュ発光禁止、54
- プリ AF、112
- プリント予約 (DPOF)、100, 127
- プレ防止モード、134
- フレーミングガイド、114, 132
- プログラム (撮影モード)、47
- プログラムシフト、48
- プロテクト、123
- 別売アクセサリ、141
- ヘルプ (ソフトウェア)、95, 177
- 保存設定、136, 137
- ホワイトバランス、108
- 【ま〜わ】**
- マイクロサムネイル、73
- マクロ撮影、52
- マナーモード、130
- マニュアル (撮影モード)、45
- マニュアル (フォーカスモード)、64,  
65
- マニュアル時モニター露出反映、132
- マルチ再生、73
- マルチ (測光)、112
- 無線 LAN 機能、81
- メモリーカード、4, 20, 158
- モードダイヤル、35
- モニター明るさ、132
- モニター晴天モード、15, 132
- リサイズ、124
- リセット、130
- 連写、59, 111
- 露出インジケータ、45
- 露出補正、51
- ワイヤレス通信、118













## ●本製品に関するお問い合わせは…

※あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

富士フイルムFinePixサポートセンター TEL 050-3786-1060 ご利用いただけない場合は 0228-30-2992  
 月曜日～金曜日 9:30～17:30/  
 土曜日、日曜日、祝日 10:00～17:00 (年末年始を除く) FAX 050-3786-2060 受付時間：24時間 (返信対応は電話の受付時間と同一です)

## ●本製品の関連情報は…

※弊社ホームページ <http://fujifilm.jp/> の自己解決に役立つ「Q&A検索」もご利用ください。

- 修理サービスQ&A 修理依頼方法、紛失した付属品の購入方法など修理に関するよくある質問と回答をまとめて掲載しています。  
<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/index.html>
- 修理納期検索サービス 東京もしくは大阪のサービスステーションおよび富士フイルム修理サービスセンターへ修理依頼品を送付、あるいは持ち込みされた場合、修理完了予定日を検索することができます。  
<http://repairit.fujifilm.co.jp/repair/certificate.jsp>
- 修理料金のご案内 当社サービスステーションに直接修理依頼された場合の目安の修理料金を確認できます。  
<http://repairit.fujifilm.co.jp/estimate/index.php>

## ●修理の受付は…

※詳細は本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。また、あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

- 修理のご相談受付窓口  
富士フイルム修理サービスセンター TEL 050-3786-1040 月曜日～金曜日 9:30～17:30 (日曜日、祝日、  
土曜日 10:00～17:00 年末年始を除く)  
FAX 050-3786-2040 受付時間：24時間 (返信対応は電話の受付時間と同一です)
- 修理品ご送付受付窓口  
富士フイルム修理サービスセンター 〒989-5501 宮城県栗原市若柳字川北中文字95-1/TEL：050-3786-1040  
▶お急ぎの場合は、全国どこからでも **【FinePixクイックリペアサービス】** お預かりからお届け迄が最速3日の宅配修理サービス  
<http://repairit.fujifilm.co.jp/quick/index.php> / TEL：050-3786-1020  
▶お近くのサービスステーション **【サービスステーション一覧】**  
<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/servicestation/index.html>  
サービスステーションにつきましては、弊社ホームページ <http://fujifilm.jp/> または上記の<修理ご相談受付窓口>にてご確認・お問い合わせください。

## ●本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター TEL 050-3786-1711 (月曜日～金曜日 9:00～17:40 / 土曜日 10:00～17:00 ※日・祝日・年末年始を除く)  
 ※各窓口の受付時間、サービス内容は予告なく変更する場合があります。最新の情報は弊社ホームページにてご確認ください。